

# 昭和経済

第63巻2号  
24年3・4月号

国会図書館永久保存書

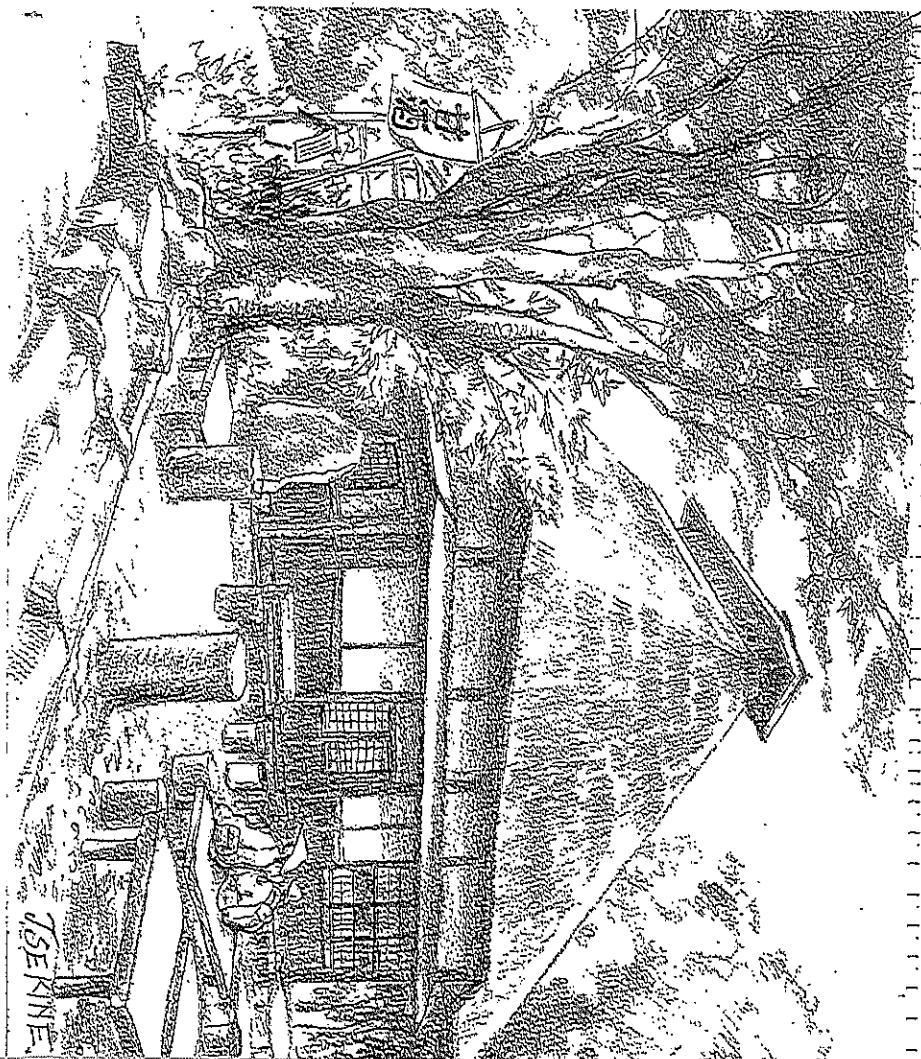
Manager Association of Japan

〔時局論壇〕「私大の多様性が鍵に」

「大危機」には「大戦略」を」

「民主化の実現 第二幕次第」

清家 集  
山内 昌  
藤原 帰



## Showa Economic Study Association

企業家・経営者団体

財務省 本省許可

## 昭和経済会

社団法人  
事務局 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2  
TEL 6820-6000・3271-8846 FAX 3271-3104  
URL <http://www.showa-ec.or.jp/>  
e-mail info@showa-ec.or.jp

|                |                                  |
|----------------|----------------------------------|
| (22) 星野 剛 (64) | 新春の一言一語から                        |
| 中谷 敏 (49)      | 日本再生の道                           |
| 関根 常雄 (20)     | 表紙絵のことば                          |
| 佐々木誠吾 (95)     | 後記隨想                             |
| 藤原 崎一 (45)     | 民主化の実現 第二幕次第                     |
| 遠藤 蘭穂 (86)     | 短歌同人誌「楓の木」主宰の故・都城省吾先生 佐々木誠吾 (90) |
| 山内 昌之 (40)     | 昭経佛壇                             |
| 井浦 康之 (79)     | 物事、難しいことはない                      |
| 篤 (36)         | 「私大の多様性が鍵に」 清家 篤                 |
| ラ・コ岩本 (70)     | サステナブル リレーシヨンシップ                 |
| 堀江 忠男 (66)     | わが回想記 佐々木誠吾 (2)                  |
| 卷頭言            | 三・四月号・目次                         |

## 三・四月号・目次

|                   |  |
|-------------------|--|
| 創立と趣旨             | 人間社会は今まで幾多の歴史的試験を経て、その存続を得てきました。   |
| 法人昭和経済会の案内        | この間、私達は経済社会の生生活の中で、自然科学への洞察が國の「公私経済の発展援助長」と会員相互の連絡並びに親睦を図る」目的で、一九三四年(昭和九年)五月十五日創立され昭和十四年、大臣省から社団法人の許可を受けました。 |
| 主な活動              | 案は驚きを以って、文化科学への触発は閃きを以つて発展をもつてこれに臨み、文化科学の啓発と振興は人間の情操に寄与してきました。科学技術の進歩と開発は人間の英知をもつて、限りなく高めてゆかねばなりません。         |
|                   | 歴史のいかなる発展過程においても、常に人間の尊厳を統が、私達の目的であり実践であります。   |
| ① 会員相互の啓発、親睦、協力   | 昭和経済会は、伝統を重んじ、時代の変化に機敏に対処し、この普遍的な理念のもとに、日常の企業経営と経済活動を通して、さらに公私経済の発展と推進に役立つ啓発、協力、親睦の団体として、その使命を果たしてまいります。     |
| ② 内外の経済、政治、文化、学術  | ③ の定期講演会   |
| ④ 専門委員の法律、税務、経営相談 | ⑤ 海外派遣留学生奨学生基⾦の活用  |
| ⑥ 月刊「昭和経済」の発行     | 社団法人 昭和経済会   |

白雪の降る庭に咲く紅梅にはうふ森氏のもとしの春と東京に咲く近江より立つ少年のこころしこくらんまんまほろばの波乱万丈の世を見つつ威風堂々の仁翁の百瀬の春を迎ふ世の大平の空を眺めりたえまなく百重の波打ちよせてよはひを重ね百歳(もともと)の春うぐひすの高なく庭に白梅のあしたに開く百姓和なる百瀬の森氏に学びけり不動の信と堅たえまなくももの波のうちよせていはひを重ね百歳(もともと)の春この国栄枯盛衰の日本橋室町をゆく森郁一氏はこの意の志

その道難と辛苦に人の立つ時もあらむと思ふ長き百歳の澄めるまなこに情熱の静かにたぎる森氏その人

三月七日 百歳の誕生日の森氏を寿ぐ

### 卷頭言 佐々木誠吾

白雪の琵琶湖の水にはぐくまる森氏のそと近三のビル後王道をゆく豊かなる百姓和なる百歳の春たえまなく百重の波打ちよせてよはひを重ね百歳(もともと)の春うぐひすの高なく庭に白梅のあしたに開く百姓和なる百瀬の森氏に学びけり不動の信と堅たえまなくももの波のうちよせていはひを重ね百歳(もともと)の春この国栄枯盛衰の日本橋室町をゆく森郁一氏はこの意の志

その道難と辛苦に人の立つ時もあらむと思ふ長き百歳の澄めるまなこに情熱の静かにたぎる森氏その人

三月七日 百歳の誕生日の森氏を寿ぐ

三月七日 百歳の春を寿ぐ仁翁の百瀬の姿すが富士の山ともたぐひなき上寿の森氏の充実才氣迫は不動のぎにけり大翁の百瀬を迎へさはやかに尚世の太平を寿ももとの春

大翁の百瀬を迎へさはやかに尚世の太平を寿たぐひなき上寿の森氏の充実才氣迫は不動のぎにけり終戦の朝をむかへて日銀と近三ビルの姿によ焼あと戦災のいたでに耐へて日銀と近三ビルの残る悠然として大翁のお目見えに背すじを伸ばしぐ朝かな仁翁の百瀬の春をさはやかに富士の富嶽を仰比類なき身よ

百歳の春を寿ぐ郁一氏の思ひと信のたぐい人生の王道をゆく大翁の歩み静かに思ひかなきなり現役の社長を勤め朝な夕な陣頭指揮に立てる大翁

日本経済発展に尽くしきて今百歳の春を迎在りしにふ氏柔和なる社長の人柄経営にうつし盤石の近三ふ氏白雪の富士の高嶺を望む今朝森仁翁のまほろまに立つ

平成二十四年三月六日。

東北地方の全地がこうもつた被害は甚大で、第二次大戦の敗戦で蒙つた被害に匹敵するものである。又、被災地復興支援は、現地の人たちによれば九十六%は未だしの感と云う深刻な災害が起きてから、あと三日を以て満一年を迎える。午后二時四十六分、日本全土を震撼させたマグニチュード九・一の大揺れは、巨大な津波を起こし東日本沿岸を襲つた。死者、行方不明者合わせて一万余人の犠牲者となり人目を奪ふ瓦礫の山と目に見えぬセシウム汚染の土壤いまだに鎮魂の思ひあらたに切なるを析る津波に亡くなかったが、ひとび幅拡すると瞬く間にほこなかつたが、ひどい悲惨な被災状況を誤るどろか眞をも思ひ起つた。東京大空襲を体験しながら、この国の指導者は戦況を誤り、誤るどろか眞

災地の民  
+  
一種はその冒頭に詠んだものである。  
私は震憾を覚えながら約百三十二首の和歌に詠みしるし、短歌同人誌・淵にも載せたが、次の大震災と原発事故の発生で、私は3月12日漢詩を受けるに至つた。野暮な指導者に翻弄されその妄想にかかりたて走り、広島、長崎の原爆の洗礼を語らず虚偽隠蔽し、国民を一億総玉砲など聖戦てふ名に暗躍す為政者のあがきに傷むあれ黒焦げの赤児の先に黒焦げの地に伏す母の姿はれぐにつたみに逃げまどひ火炎に叫びかけふ子と母のあはれありけり  
+  
男は大半が戦争の犠牲者となつた。野暮な指導者に翻弄されその過程を進み、此度の天災が引き金となつて独占企業の横暴慣習と隠蔽体質が暴かれ、あげくに奈落へころがりこんだのである。近時のオリンパス然り、大王製紙、AIJの問題然りである。企業経営の統治、倫理の甚だしき欠如である。企業にて良好にめぐつている間は露呈され成長経済の体質は、その後も長く続キ、高度虚偽隠蔽の体質は、その後も長く続キ、高度

東北地方の全地がこうもつた被害は甚大で、第二次大戦の敗戦で蒙つた被害に匹敵するものである。又、被災地復興支援は、現地の人たちによれば九十六%は未だしの感と云う深刻な災害が起きてから、あと三日を以て満一年を迎える。午后二時四十六分、日本全土を震撼させたマグニチュード九・一の大揺れは、巨大な津波を起こし東日本沿岸を襲つた。死者、行方不明者合わせて一万余人の犠牲者となり人目を奪ふ瓦礫の山と目に見えぬセシウム汚染の土壤いまだに鎮魂の思ひあらたに切なるを析る津波に亡くなかったが、ひどい悲惨な被災状況を誤るどろか眞をも思ひ起つた。東京大空襲を体験しながら、この国の指導者は戦況を誤り、誤るどろか眞

災地の民  
+  
男は大半が戦争の犠牲者となつた。野暮な指導者に翻弄されその過程を進み、此度の天災が引き金となつて独占企業の横暴慣習と隠蔽体質が暴かれ、あげくに奈落へころがりこんだのである。近時のオリンパス然り、大王製紙、AIJの問題然りである。企業経営の統治、倫理の甚だしき欠如である。企業にて良好にめぐつている間は露呈され成長経済の体質は、その後も長く続キ、高度虚偽隠蔽の体質は、その後も長く続キ、高度

三月十六日、日本の大震災と原発事故で急落したニューヨーク株式は、その後、米企業の業績改善や、日本の震災の復興需要の期待から回復基調に転じて弱気ムードが後退した。加えてアメリカ景気の回復觀測も追い風となつて、二月十五日のダウ平均は五〇ドル三セント高と週間では三十六ドル円での取引を終えた。明る

千坪に弊社所有の家三棟被災者たちに無償供給を祈りながら、東電の危険のすさん管理にて日本列島に被害を及ぼす。生き物の生命維持の細胞を広く壊死させ滅ぼす。原子炉の漏水のか作業せん人に被曝のなき夜おびへり。放射性物質の土地に拡散す見えざる化物に日本に在りしに。日本の大震災に暴落すニューヨーク市場に水をかぶせし。米企業々頃回復頗著なり市場の高値奪還を期す黒人のオバマ大統領の政策の抜群生かす。オバマ氏の果敢に打ち出す政策の今奏効す。世に拡散す。万物をまたく死にそ至らしむ放射物質の日のもと。人間の生きる細胞を破壊して癌しあたわぬ放射能とは。美しい農地の汚染広がりて今放射能におびゆるこの国。安全でなこの土地に安全を確保せんとす恩氏

おほなると巨大津波に放射能汚染になやむことの國と民。泥沼と化す美しい街あとに散らばる溺死体のかずかず

平成二十三年三月一六日・記

+

此の一年を顧みて現実は未だ、東北の復興は遅々としてなされていないのである。思つに暗然たる気みは解けていないのである。思つに暗然たる気持ちは依然として変わらず被災地の人たちの苦しむことは依然として変わらないのである。思つに暗然たる気持ちはある。

を以て良しとするべきであるうか。

この共通した理念が世界に理解されたことによりである。もどより戦争の悲惨な状況を葬り去れば、闇の中に見た一灯であり唯一の救いであり、立ち上がることも急務である。この世に以て生みを授かつた我々は国を問わず、地域を問わず、命を授かつた我々は國を問わず、その運命を尊び、互いにこれに享受していかなければ何をしましてや宗教を問わず争いをなくし、その運命

経過し。全国から澎湃として起つたボランティア活動は感動的であった。日本国民が史上空前の大災害に直面して、国難を克服すべく一つにまとまり、国民の太いきずなが確認された。前の大災害に直面して、國難を克服すべく一つの人類が共通の目的と意識を以て立ち上がるこののである。内外からも多くの支援がよこされてもどもできた。力強い第一歩を理解するとしてもこれまできた。この一步を理解するにとどまることもまた、國民の太いきずなが確認されたことをきた。

北大震雪を振り返り

屋上でテルに世話をになつて一夜を明かしたが、あけて十一日に事務所に戻り散乱した書類のあど片付けをしていた。古いビルなので頑丈で、建物の壊れた破片が散乱し、天井から水が漏つてしまふかと思ひや、さに非ずあり一画に一画に一人物ではかなう仕事ではなかつたので、取扱い敢えずこの際迫した惨状を前に、わが身の感想を記しておこうと。ソコに向かいインターネットから発信した。次のページに乗せたものには二十三年三月に発刊された昭和経済新聞に合わず、あわてて緊急通信の付録として同封され、私は原発事故の恐るべき瞬間に遭遇して、災発生と原発事故の恐怖を抱いた次第である。

地震の状況を抱載した次第である。鬼気迫る世の中を身に感じながら、一年前の大地震の状況を抱載して原子炉のメルトダウンを予想して、その危機を既に書いていた。私は東北関東を襲つた巨大地震と、巨大津波の被害は甚大であります。

### 東北三陸沖の巨大地震の発生

昨日三月十一日午後二時四十六分三陸沖を震源地とする震度八・八の巨大地震が発生、本邦東日本を襲いました。あとに続いて発生した巨大津波は、高さ一〇メートルにも及ぶもので、多くの犠牲者を出して被災地は恐怖と戦慄の状況となつています。今や、犠牲者を最小限度に留めるべく国を挙げて懸命の救出、救助作戦を開拓すべきであります。一説によると犠牲者は一〇〇〇名以上とも言われておりますが、死者も及ぶのではないかと、自然災害の悲惨な数字を目の当たりにして慄然たる思いであります。状況を見る限り、更に悲惨な、凄惨な数字になります。状況を見るのはいかど心配であります。地震発生後十七時間経過していますが、その間も余震確保に努めてくださるようお願ひ申します。

東電の原発事故の発生は、最大の懸案事項であります。余震もあります。尚、引き続き各位のご注意をお願いし、安全に有難う御座いました。

よつて安全を確認するとしても出来、まづながら懸命の活動を続けることができました。その後の各位からのご連絡にもが、通信手段の不通と混亂によつて、思ふように活動が出来ませんでしたが、時間が追つて回復、平静を取り戻し、及ばずながら懸命の活動を続けることができました。当会は、地震発生後、情報収集に努め、会員各会員各位の安全確認に努力傾注しましたが、留めるべく國を挙げて懸命の救出、救助作戦を展開すべきであります。今や、犠牲者を最小限度を確保すべきであります。巨大津波の被害は甚大であります。

会員各会員各位の安全と安泰を祈つて止みません。理事長 佐々木誠吾 事務局

であつたように、家に帰ることができず、富士大震災のあつた日、私は大方の人たちがそ

\*\*\*\*\*

であつた。狂犬力ダメークと変わらない人物を躍如たる功績の軌跡を迎つてみると、さうした結論に至るのである。大統領が、もしかしたらブッシュだつたらと思うと、身の毛がよだつた。狂犬力ダメークが奏功してきて、一年間の面を得た大局的政策が奏功してきて、一年間の面を思ふに、オバマ、クリントン政治の緩急、適宜を思ふに、ニコヨーク株式市況の回復は頼もし。北アフリカの政治情勢の不安、そして原油高とエネルギーに続きボルトガルの財政問題や、中東戦争にとつては暗いニコスが立て続けである。日本の東北関東の大震災もそうだし、株式市場にとつては暗いニコスが立て続けである。

ニコス満載で祝意を送りたい。

が進んでいたので、七階、九階のものは老朽化とかと思つていて、どうです。このビルはよう始めた由です。文度をして正年には帰宅し始めたばかりです。幸い地下鉄も徐々に始発から動き出しました。自然現象と災害の恐ろしさを身に感じています。時折建物が揺れて気味の悪さを感じます。多くの犠牲者が出ていたではないか、テレビで見つかりました。今まで無事でいたことを知り、私はそのままオヤツと一緒に連絡が取れるといつがきました。何事翌朝の六時でした。一夜の孤立から解放されたのは、あるじへなればと思つて、気持ちがあせり昂ふる澹たる気持ちです。一刻も早く救援の手をさ

しおつてました。被災地の惨状は言語に絶し、ついていますが、仮眠もそこそこにして漸くあります。スクリーンの地震、津波情報に釘付気になつて夜を明かしました。休みなく報道されるテレビを見ながら閉店まで居坐つて、あとは皆に合流した夕食を二階のレストラン、ウインスティアで済ました難場所として使わせてもらつていました。私は入れない人は、階段に寝る人、プロアに復転する人など、お互いに助け合いながら、一時の避難所として使わせてもらつました。私は入ったが、皆静肅に、秩序を以て、ホールにてこしきた人たちに開放してくれました。およそ三、四百人ほどの人たちに席を設けたりしてくれたホテル側は一階二階三階のスペースを避難しましたが、同様の人たちも沢山詰め掛けており、の夜は富士屋ホテルで夜を明かすことになりました。およそ全く動きの取れなくなつてしまつた私は、ここで待つことにしました。

ひとといた喫茶店に行つて事態が落ち着くま

から入らないほうがいいです」と、言うの再びもともといた喫茶店に行つて事態が落ち着くまで待つことにしました。

十一階建てのビルがゆっくらと左右に揺れ動いたでした。向き合つた「実業之日本」の本社の前で、群衆の動きに合わせていてしまいました。私も街路の植え込みのなかに立つ一本の街灯のホールを掴みながら、大地のゆれと、高いビル群の揺れ動いています。まるで聞く間に群集で埋め尽くされてしまひます。どうもないうちに困惑と恐るざりますが、いつの間にか姿を消しました。交通機関は一切動かず、電話も一切通じず、真正孤立状態であります。弊社のある城辺橋ビルに近くであります。いつのまでも続いているが増幅して、一向に止みそうもありません。「携帯電話を交わしていましたが、次第にゆれが大きくなれて遭遇しました。」「ねば大きいね」と会話を交わしていましたが、次第にゆれが増幅して、「さりませんよう」と云つてあたりを見回すと、

座の喫茶店で軽くトーストを注文して食べながら、商用先のA君と携帯電話をしていてときには、またたく間に群集で埋め尽くされてしまひます。このままいつまでも続いているが増幅して、「さりませんよう」と云つてあたりを見回すと、

私は昨日、多忙のため遅い昼食を取るべく銀座の外濠通りを渡つて、有楽町のマクドナルドの喫茶店で軽くトーストを注文して食べながら、日本、当会のある城辺橋ビル、商工中金本店、日本、当会のある城辺橋ビル、商工中金本店、外濠通りには東映本社、ブランク、実業之日本、中心地です。しかし大都會が大きく揺れています。そのため建物が並び建ち、銀座界隈の建物の多くは、何ともいえない不気味さがあります。収まつたかと思うと余震が続いてきて再び動きます。このままでいると不安と恐怖に襲われながら、突然と立ちすくむばかりであります。つづいては、いつのまでも続いているが増幅して、「さりませんよう」と云つてあたりを見回すと、

しております。何かの時には事務局まで、ご連絡にして的確迅速に対処してその安全を確認密にします。

当会では、各地におられる会員諸兄の連絡をます。

て政府、行政の適切な判断と行動を切に要望します。

國民一人ひとりの安全と、懸命な活躍、そし

て先の秩序回復に心してゆかねばなりません。

相は避けられません。我々はこの試験に耐えて、

本列島を走り、暫くは暗中模索の、暗澹たる様

りリストツブ安を演じる始末です。超激震が日

到し、昨日引き続き急落して、全銘柄にわたる

多くの投資家の、絶望的処分売りが株式市場に殺

の長期的観点から状況不安視、悲観視する多

く今日本市場の立会い一日ですが、日本経済

と人命に及ぶ危険なものでです。

けに更なるものがあります。直接、國民の健康

する放射能の恐怖は、目に見えぬ害毒であるだ

のであります。原子炉の炉心破壊によつて飛散

圧迫しかねず、災害は今や國の存亡をかけたも

産業経済に及ぼす影響は甚大で國民の生活をして、秩序回復に努力して貰いたいと思ひます。

あります。しかし、これら早く復帰を促す電が実施されております。地域によつて格差が

ております。さらには又、電力不足から計画停

連絡を試みておりますが、通信が不能で困感して

私は職務上、巨大地震発生以来、会員各位に難に対処していかねばなりません。

艦に對して忍耐と英知を發揮して、未會有の國

限ります。しかし、日本は、いつた緊急の事

から一連の水素爆発の模様を見るためにつけ、な

悲しみの上に、東電の福島原発の燃料棒の損傷

す。多くの我々の友人を失つた今回の大災難で、

限り冷静な思索と態度と行動が肝要であります。

きました。しかしときは、狼狽せず、でさき

長期間に及ぶ慎重な觀察と行動の状態に入つて

多くな國力を喪失した國民は、不幸にして

た、最低の管理、經營振りであります。

物質が周辺に飛散し、横浜上空に通常の一〇倍島原発基地の原子炉から破損によつて放射能居ますが、どれも失敗に終わつていて居ります。日本十五

更なる緊急事態の発生であります。日本十五

午正午あたりのニュースによると、東京電力福

台のうち、稼動したのがたつた一台と言ふ話で

機の冷却装置のために設置してあるポンプ七

どしか思えない点が多くあります。例えは燃料

原発事故深刻な事態に

\*\*\*\*\*

三月十一日、土 午前十一時三十分

神よ、悲劇に直面する我々が民を救ひ給え。

この国難を克服すべく、國民が今や一致団結して戦つていかねばなりません。

と予期せぬ災害の連鎖の起きないことを祈り、

析るばかりです。さらに一次災害や、二次災害

犠牲者の数が、この先増えることないよう

願わくば、この最悪、悲惨な災害が、恐るべ

も激しいようです。

言ながら、原発事故の対応についでは、人災大自然の力の前では、どうしようもないとは思ひます。これは一例にすぎません。すへては後手後手に廻つて、日頃の訓練の成果を發揮すあります。ござと見せ付けられたことですが、不運にもどちらで危険拡散の排除のため色々と手が打たれて居ます。これは二例にすぎません。現場では危険防と、危険拡散の排除のため色々と手が打たれて居ますが、どれも失敗に終わつていて居ります。

日本は危機的状況に遭遇してしまった。

ではどうするといとも出来ない無力なことまでもざまざまと見せ付けられたことですが、不運にも

た。つまり、大きな自然災害は人知、人力では

惧しき事態が、現実のものとなつてしまいまし

た。地震発生と巨大津波の襲来の後、私が最初に危

の放射能が測定されたことの事であります。巨大

車の運行も止まり、間引き運転をし、この先こうした事態が何時まで続くかと心配し、諦めくれました。問題の解決は全て、東電との関係者にかかるといふ切望します。

各位に急報します。

事務局

事件発生後六日がすぎよつとしております。幸い平穏のうちに、世の中は秩序を取り戻しつつあります。東電では、電力不足に対応して関東地方を中心にして各地に適宜、計画停電を実施しております。國民は大所高所から冷静に、秩序を以てこれを守り協力し、全体的に混乱するところなく円滑に行われています。

今朝、自由が丘駅にいた私は、東急東横線がほぼ回復して正常な運転を行つてゐることに驚き、感動しました。不安と危惧のまま、事件発生後の五日間を過ぎてきました。一時は電

泰人の高き思ひを身に覚え音義あるときの春  
若さに

咲むれば巨万の星のちりばみて億兆さきの京  
のなほ果て

蟻ほどの動きのはどにか見えまじき地球を宇  
宙ゆ眺むときだも

ソニーでる名を大世界にひろめし人この席に  
在りてうれしき

惜しきに  
結婚の披露宴でのいさつをソニーのテープ  
の摩訶不思議にも

もうるもるの星の北斗にしだがひてめぐる動き  
に收む遠き日

出井氏を先輩と呼びてはからず社会に尽す  
てがら大なり

緒、ご一報下さい。  
二月十五日  
飲談に出井夫人の朗らかに娘と意氣のかよふ  
ぐる春の夜  
ありがたく出井夫妻と夕食の席に召されて過  
天候のぐづくじの続きしもの夜のため  
常日ごろ申す世界の出井氏と明子に仕える  
ありて過分なりけり  
このとおり明子の世話をなりしことさせます  
席でおもむく  
常日頃うやまふ世界の出井氏と明子につきて  
青春の目の輝きに出井氏の世界を駆ける思ひ  
出井伸之氏、妻と  
清新の気概溢の饗宴、

経済の発展に寄す出井氏の世界に及びこの先  
出井氏の高き思ひにひとため広く世界の木  
出井氏の昔のことをあきらかに語る記憶にう  
なずきにけり  
志高くかかげて比類なき学舎の頃ゆ萌えし  
もし我がはたちの身にて仕ふなば偉人に学び  
出井氏の仁と徳とのおのずから人に知、情、意  
青春のうららにすきてよき人と交はりを得て  
紅梅をちいさき瓶にしおきて春爛漫の夢に  
船中の八策に替え松島の人策を世にふら上げ  
北大人のおもむきにあり信念と高き思ひと固き  
北辰のその座にありて衆星のこれに向かいて  
豪快に樂しき席の出井氏とこの先おれば船上  
八策に  
庭はしつに諸ど若荷とともに今芽をだせる  
諸の臺かな  
わが庭にひとつほじろふ白梅の枝にあまた  
つぼみ持ちおり  
ビヨドリのわれにも慣れで餌をねだりさえず  
出井氏の不動の信とこゝらし学舎の頃ゆ身  
心意氣あふ

早春の深山に入りて行く先にかほりただよふ  
白百合の花  
生卵一つくずして銀めしにかけて昔をしのび  
泰人の思ひに耳をかたむけてあたかも富士を  
仰ぐごとに  
目的を持ち人生にたらむかふ人のながらふ秘  
談なりけり  
この席に出井夫人の白百合に明子のダリアと  
咲くはかしこし  
あたかき出井夫妻のもてなしに若輩の身を  
常日ごろやまひ世界の出井氏と申して眞摯  
に学ぶ明子よ  
二月八日。

も示さる  
国境のなき経済のひろがりに出井思想の世に  
出井氏に似合ふえんじのネクタイをしめて青  
年の意氣燃えかかる  
出井氏の思ひは世界ではたきて青少年に広  
くつがるる  
美しい金目鰯のすがた煮に箸を置くましま  
し眺めり  
出井氏の世界の話を聞き学びこころみして  
すぐる春の夜  
なまたまこゝ一個を頼みてかきませて銀めしに  
かけ食むよきかな  
松島にふたたび行かば生うにとすすきの刺身

用統計が大幅に改善したことを感じて活況を呈し、前日比150ドル82セント高の1万2862ドル23セントで取り引きを終えました。二〇〇八年秋のリーマンショック以来の高値で、アメリカの景気回復の兆候が鮮明になりました。歐州の信用不安で世界経済に動搖が走るなか、力強いアメリカ経済の動向が唯一明るい前途を映し、我々に大きな希望をもたらすものであります。秋に大統選を迎えるオバマ氏の表情にも明るさが戻ってきました。

農業部門の雇用者数が前日比二四万三〇〇〇人増加して市場予想を大きく上回ったことが好感されました。非製造業の景況感指数も上昇し総体的に米国経済活動が一段と拡大しています。個人消費も堅調に終えたクリスマス商戦を機に徐々に回復し、世界の資金が業績面で好調な大手企業に潤沢に向きつります。シゴトの創造的破壊的事件であります。シゴトの創造型を壊して新しき創造への踏み台としてこれ制を壊して新しき創造への一歩を歩むチヤンスをとらえ、新経済構造のフレームを作るとともに、実体経済の構造改革が進んでいくことを期待したいものであります。

二月のニコヨーク株式市場は、注目の米雇用統計が大幅に改善したことを感じて活況を呈し、前日比150ドル82セント高の1万2862ドル23セントで取り引きを終えました。二〇〇八年秋のリーマンショック以来の高値で、アメリカの景気回復の兆候が鮮明になりました。歐州の信用不安で世界経済に動搖が走るなか、力強いアメリカ経済の動向が唯一明るい前途を映し、我々に大きな希望をもたらすものであります。秋に大統選を迎えるオバマ氏の表情にも明るさが戻ってきました。

初春の大地より  
あらたまの空朗々とあけそめて神の恵みにみ  
ある年明けの鐘の音たかく聞るきて夢と希望のひ  
ものごとの成就をねがひ絵馬にかけ湯島が宮  
の梅にかけたり  
この年にはたすしことのあれこれど全てなり  
むと思案するなり

+

## 回復するニコヨーク株式

火曜日、帰宅して夕飯を済まし、祝辞の文として  
私は下記の原稿を披露宴が過ぎて一日後の  
逆も又真なり

\*

一月五日

結婚のうたげに臨み祝福の和歌をたのしく詠  
あほぞらのくまなく澄みて立つ春の星のひざ  
がむ今朝の雪かな  
はるさめの寒くおぼへて夕へより目覚めてな  
どろき聞く  
万軍の兵を率いて目覚れ朝いつくや歎喜のと  
と恵み受くべし  
十字架の主のがひにわれ皆ひとしく愛  
ほろこりでゆく  
立つ春の鐘の音をかく聞こゑきて夢と希望の

この年に果たす仕事のあれこれと全てなさむ  
この梅にかけたり  
ものごとの成就をねがひ絵馬にかき湯島が宮  
のほほえみてたつ  
面差しのわらべにたどへあじけなし觀音菩薩  
て孫のかしじし  
来るたびに言葉を覚えたのしみて所作に示し  
そなへ待ちけり  
今朝はやく愛する孫のふたりきて祝ひの袋を  
立春を迎ふ絶青のけふの空くまなく澄みて光  
豆まきが家  
豆まきに厄を払いて福をよぶ今朝より声の高  
とほく見る春  
多摩川の岸辺に立ちて絶碧の空に富士の嶺  
豆まきと立春

視点を移すべきであります。 一月四日  
るため、徹底的に内容と動きを監視することに  
長させ、逆に反社会的資本割り込みを排除す  
る規委員会は株式の動きを止めることはなく助  
けの役目を發揮させることも重要であります。監  
て投機色の強い銘柄の活躍を利用して、潤滑剤  
たことは大きな弊害であります。市場にまかせ  
すぎて、市場に染しみが生まれにくくなつき  
は官僚的価格統制に似た規制や監視が過剰に  
使命を果していいからです。しかし、最近近  
干投機的手法を導入し、市場の活況を誘導する  
力を判断する特別な役割を果していました。若  
いドする銘柄が立ち会い前に取引されて、市況  
上海、和平不動産、日本郵船といつた業界をリ

市場の活性化に大きく寄与しました。東京  
記憶ですが昔は特定銘柄ポートが設けられ  
れていました。  
たゞに株式の投機色を警戒する余り、過剰な  
方ふさがりの状況は懼嘆の極みであります。い  
うじて水準を保つており、つれ高期待のみで八  
迷の状況です。米株式市場の好調な推移に軽る  
きく下回ったままに推移して、取引も連日停  
止しがちであります。アメリカと比べマシンシ  
が遅れるなか活性に立ち遅れ閉塞感が重くの  
われた二〇年を内包し、加えて株式市場の改革  
顧て日本株式はデフレ脱脚ができぬまま失  
察と云うべきであります。  
これにあると云うこと認識すべきであります。  
いじょうか。株式と株価の役割と使命は、そ

では国家安全と主権を任せている國民は困  
るが、それでいていなかつてはならないが、そ  
くでいいのではないか。それからにしか重要  
項目を見て愛嬌で処理されているが。まあ人間具  
んどん処理されていてる中、防衛大臣の場合は大  
何とも言えないものである。杓子定規で物事がど  
防衛大臣にような答弁をするといともあるから  
を買つている場面があつた。聞いていても田中  
要旨を聞いていたり居眠りしていける闇  
僚が多い。注意されて答弁に立つたが、質問の  
話を戦わしあつていてきたが、結婚の  
事長のは逆で、云つてしまつたことに云つて大  
原稿の棒読みのために使つたのが普通だけど、理  
書きを活字に打ちながら、下書きを打つてこれを  
秘書の中村君が小学生の執筆した乱暴な下書き  
ないわけだから痛し痒しと云つてゐる。でも、会場の人たちはそいまで事情を知つてい  
ある。とつさの事情を汲んでやつた結果だと  
まい、発言者としては思わぬ失墜と云つて

るうし、熱心に聞き入つていてる人もいてさう  
いる人もいるし、イララとしている人もいるだ  
人の話を聞きながら白河夜船を決め込んで  
つとしたが、汗顔の至りに思つたのである。  
で勉強になりましたと書つて下さつたので、ほ  
が、立派なあいさつで感動しました、いお話  
イシをつけたが、しかも何かの好意的紳士諸君  
の祝賀の宴だけなわとなつて、近寄ってきてワ  
笑いになつた。しかしながら、結婚  
つて原稿にするというのも可笑しなもんだと云  
事長のは逆で、云つてしまつたことに云つて大  
原稿の棒読みのために使つたのが普通だけど、理  
書きを活字に打ちながら、下書きを打つてこれを  
秘書の中村君が小学生の執筆した乱暴な下書き  
ないわけだから痛し痒しと云つてゐる。でも、会場の人たちはそいまで事情を知つてい  
ある。とつさの事情を汲んでやつた結果だと  
まい、発言者としては思わぬ失墜と云つて

も時聞のかかりすぎでは相殺勘定になつて  
がおのずと分かつてへる。いや内容が良くて  
ると祝辞を述べるのにどんな時間を要したか  
間違いなく書きとじめることができる。そつす  
なことを云つたかも改めて書いていくとほ  
自分でいつたことはよく覚えていてるし、どん  
してまつたのである。

行けばいいと思つて上記のような内容になつ  
かなければならぬ。会場の雰囲気を見定めて  
ことが鉄則だから、それも予定の中に組んでい  
なければいけない。それでも挨拶は短くという  
いるわけにはいかない。それでもどこに止め  
場合がある。だからと云つていつまでも喋つて  
ので、聞く人にとつては臨場感があつて面白い  
の場で思つていてるところを話すことが多い。  
しゃべると次から次へと話すところが多め。話し  
そもそも挨拶する時は原稿を用意して、それを見て  
興で付け足していくはいいと考えていて。そも

ましたと云つて、予め考へていてたに何か即  
しくださいと耳打ちしてくれたので分かり  
いた時間が余つてしまつて、ゆとりを以て話  
席できないうちが判明したので、予定に組んで  
その時主賓に呼んでいた招待客が事情で出  
てくれたので大助かった。  
説明して今に至つてはお目にかかるたいたい  
司会者が新郎の学歴とその後の身の振り方を  
てもらつたのである。開会の辞で、幸い賢明な  
し、新郎についてはお目にかかるたいたい  
のだが、ほとんどの資料を意されていなかつた  
るF社長から前以て案内があれば話やす  
いかと案じていたからである。新郎の父君であ  
がどれほどどの時間を会場で費やしません、自分  
とを思い浮かべてそのまま書き記したものであ  
ては長すぎたいと反省して、自分でいつた

新郎新婦、結婚おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。先程司会者から新郎新婦の結婚の儀が日枝神社で執事に悉く済みました。これまでの報告を聞き、重ねて祝い申し上げます。

#### 結婚披露宴での祝辞

どうで野田さんの頭の毛も初めのいろから見るのはあります。それでまた任命責任だ、なんだとついたじりじり来てしまいました、そうしたところに、だんだんと薄くなつてしまつと思つ。F社長が突然お見えになつて、大変いい祝辞を

稿を今日の屋休みにパソコンで打つていてから、そしてこの原稿を置いていたのである。そしてこの原稿を改めてかみしめて、皆さんと一緒に祝いと、喜びと、感謝の念を分かち合いたいと願つた次第です。この書き込みは長いからと思いつつ、安堵したのである。それにしても長い祝辭を見えてなつたのである。恐縮したのと、感謝の頂いで有難くお礼に伺つた次第と、わざわざお見えになつたのである。F社長が突然お見えになつて、大変いい祝辞を

新郎の義父、F社長は平成六年に会員として当会にお迎えし、爾来、陰に陽にて支援に懸けます。新郎には前途洋洋たる道を開かれ、尚且つ義父同様に、日韓経済、文化交流を更に拡大促進され、社会的に将来を大きく嘱望された好青年であります。新郎には前途洋洋たる道を開かれ、尚且云々通じた世相であります。吉今東西いづにに於いても其通せば窮屈だ、とかくこの世は住みにくいくて、夏目漱石の小説「草枕」の冒頭には「智に働く角が立つ、情に憚させば流される、意地を云々云つております。古今東西いづにに於いても其通せば鬼ばかりと云う裏返しのことは、渡る世間は鬼ばかりと云ふことです。しかしなかなか道理が通らぬものでございまして、これらが、敷居をまなければ七人の敵であります。渡る世間は鬼ばかりと云ふことです。しかし我が家のために、人のため努力邁進して、渡る世間は鬼ばかりと云ふことです。F社長の事業家としての卓越した手腕素と、F社長の事業道に励んできました。そもそも義父の

豊かな人柄に多大な魅力と尊敬の念を以つて、豊かな人柄は温厚誠実に面倒見よく、当会に於いても人柄は積極明快な経営姿勢と共に、明るく人情を貫き盤石の基礎のもと、会社経営に日夜研鑽を積み、九階の赤坂プラザビルを牙城とし周辺地域にビル事業を開拓して大きな成功をおさめ、立志伝中の方であります。堅実且つ積極的経営方針を頂いております。赤坂に地下一階、地上二階の赤坂プラザビルを牙城とし周辺地域にビル事業を開拓して止まぬ次第であります。

新郎の義父、F社長は平成六年に会員として当会にお迎えし、爾来、陰に陽にて支援に懸けます。新郎には前途洋洋たる道を開かれ、尚且云々通じた世相であります。吉今東西いづにに於いても其通せば窮屈だ、とかくこの世は住みにくいくて、夏目漱石の小説「草枕」の冒頭には「智に働く角が立つ、情に憚させば流される、意地を云々云つております。古今東西いづにに於いても其通せば鬼ばかりと云う裏返しのことは、渡る世間は鬼ばかりと云ふことです。しかし我が家のために、人のため努力邁進して、渡る世間は鬼ばかりと云ふことです。F社長の事業家としての卓越した手腕素と、F社長の事業道に励んできました。そもそも義父の

さわしく希望される情景であります。これにふる目に收めて描かれており、また新春にふるが張られ、今しも初日の出を眺めんとする瞬間にある夫婦岩ですが、男岩、女岩に太いしめ縄婦岩と同じ、伊豆舞鶴半島の三ツ石海岸の沖合昭和経済の一月号の表紙絵は「見ヶ浦の夫人生を実のあるものとし、悔いを残さぬための修業は、実践してゆくと誠に妙にして深みのあることに気がつきます。新郎はそのお手本を嚴父のF社長の後ろ姿を凝視して、ただ邁進してゆくのみではないでしょうか。汗を流して努力あることを念頭において実践することが、人間のスケールを限りなく大きく育んでいくものだと喝破します。

人生を実のあるものとし、悔いを残さぬため自認しております。私は自ら平成の大歌人を云うへくしてなつかね難聞かとも知極めて單純明快で簡単な事柄であります、これを成せ、といつてあります。

そして最後の第五に、人のためによきこと云うへくしてなつかね難聞かとも知念頭において実践することが、人間のスケールを云うへくしてなつかね難聞かとも知れません。しかし大隈侯はこの五ヶ条を常日頃云うへくしてなつかね難聞かとも知極めて單純明快で簡単な事柄であります、

第四に将来に望みを抱け、といつてあります。

第三に恩痴をしてほすな、といつてあります。第三に恩痴をしてほすな、といつてあります。云うことです。云うことです。云うことです。

第一に過去を顧みるな、といつてあります。云うことです。云うことです。云うことです。

さす、人との争いをしないこと。  
第一に、おこるなりあります。短気を起  
実践に心掛けたとしています。

から楽出して、これを自分の日常生活の実行、  
法の実践こそが重大な馬力であると云つていて  
徹が重要であると強調し、わけても精神的健康  
くには肉体的健康と、精神的健康の確立と貫  
明治の元勲大隈重信は人生の目的を貫いて  
これを実現してゆかねばなりません。

には、基本的に健康の二字に徹し、率先して  
難攻不落な城にも似たゆるぎなき信念を持つ  
ことあります。そこで強國主義、高進志  
人間は第一に健康でなければならぬと云う  
することは人生的偉業を成し遂げてゆくには  
ん。理念は各人各様ではあっても、そこで共通  
重信、岩崎弥太郎…と枚挙にいとまがありませ  
勝海舟、坂本龍馬、西郷隆盛、福澤諭吉、大隈  
ヨーク証券取引所に上場を申請しました。実現  
りを作り上げました。自由民権運動の中江兆民、

輩出されて、封建時代から近代国家への足がかり求められます。

日本は幕末、明治維新に傑出した人物が多く  
ます。競争以前に、自分自身の確立と強化が  
なりき道を模索して進んでいかなければなり  
は過格な判断を以つて、真理と正確を求めて誤  
惑するばかりであります。そうした中で私たち  
に、しかも迅速に目に映り、耳に入つてきます  
ことできません。情報はグローバルで広範囲  
もの生活は置かれており、瞬時たりと目を離す  
目に押しです。斯様に情報多過の渦の中に私ど  
ツクスピロアーチ検査と情報通信機器の会社は  
であります。フェイスブック、インスタント  
トに見舞われて良くも悪くも戦々恐々の様相  
いわており、IT産業の業界は莫大なインバウ  
されると、時価総額は七兆六〇〇億円とモ  
ヨーク証券取引所に上場を申請しました。実現  
一昨日フェイスブックがアメリカのニュー

日銀は十四日の金融政策決定会合で、デフレ脱却のための一歩踏み込んだ追加緩和策を決めました。「消費者物価上昇率を一%を目指し、その様相が確実視されるまで強力に緩和策を進めます。」と日銀白川総裁の弁であります。日銀は今まで景気や市況の悪化に受け身に終始して來たきりがありましたが、状況が好転ししないままに袋小路に入り、望ましい決打をうてにぐい状況が続いていました。

ゆく  
士の嶺(ね)  
＊  
夫婦  
嫁ぐ  
て差し上げる所存でございます。  
詠み上げて記し、いれを花婿花嫁にお祝いとし成の大歌人の私共二首、お祝いと喜びの和歌をお祝いとしささげます。又、淵を代表して平ちなんで、一句詠み上げて、これを新郎新婦に

今年一月にアメリカの連邦準備制度理事会のバーナンキ議長が、「今年一月に日本経済の将来的姿、その在で将来をにらんだ日本経済の将来的姿、それを現下の情勢を見るに、期待性が過剰に反映したことが次第に分かってきて、いつ反転して円安に振れていくとも限ります。」とあります。

○円だったことにあります。されど、いかにも保障しよう。しかし、いっし状況がいつまでも保障り方を織り込んでいく期待性であり、短期的に現下の情勢を見るに、期待性が過剰に反映したことを来田元を売ってドルに切り替えしていくことをさらに本欄でいるドル円相場ですが、今までばらくもんでもいいです。76円台でして、私は本欄でも云つておきます。2月に入つて日本でも円売りドル買いの果敢な為替介入を実施しました。日本株式投資についてもるうばい売りを避けて素人としての見解であります、なんぶん買下がりでいいのではないかと、例えば一〇〇円そしてそこのみずほ銀行を勧め

あります。にも拘らず外国がひたら円を買つるな理由はあつたにしても、國家破綻の数字で四倍もの国債残高を持つ国にとつてはいろいろな理由で、対GNP／国内総生産の一・四倍を示すもので、これは最近の予想しない超円高の特徴を示すもので、将来的構造改革を行うちヤンスでも正のきっかけは、たまたま東北大震災と符合するもので、将来の飛躍に備え体質改善、日本経済構造の画期的構造改革を行うちヤンスでもあります。ここにあつたにしても、超円高の特徴を示すもので、将来的飛躍に備え体質改善、日本経済に拍車をかけ、世界経済の成長路線を模索し駆け上がりながらとしている潮流から取り残されるべき目にあつては必定です。成熟社会の軌道修正であるデフレによって、経済成長などにかかる収縮でもあります。現在のこの特徴的、傾向的現象も、その大きな要因の一つであります。少子高齢化の社会は成熟しきった経済社会の裏返しです。デフレ状況は、日本の少子高齢化社会の状況であります。日銀としては勇気ある画期的決断であります。

さて、まず、家計に占める子供の養育費の支出が相対的に少なくなったが、今日の値付けは何と一一五円台であります。つまり人口増加につながつて活性化された社会構造に転換するきっかけを持つからこそ、生産力の構成比率が増加に寄与する好循環となります。人の増加に結び付く以前に消費を刺激し、結果、生産力の構成比率は運、根、鉄です。世の中も同じであります。最後の鉄に注目して世渡りをしてころえて行くと、余り利口過ぎてもいけません。常に視野より始めよう。自らの率先実行が不可欠です。高度な国家的判断がいとも簡単な初步的な理解と分析で全体が大きく動き出すこの真理を、大きな組織、高度な見地から何年たつても実行し得ないものかしさを、いとも簡単に喝破できることができます。つまり常識が決定的必要因を果たすことわかります。

主買主が合意して成立したもので正しいといふことは持らえません。しかしその価格はおおむね完熟者が多いといつて下さい。

政治の世界でも経済の世界でも常識が通じていないような環境に於いては立派な作業を果たすには民意を反映した作業はできません。即ち市場を理解しない結果となってしまいます。世の中では政政策遂行には常識が優先します。常識を度外視していいためには民意をくむことでもきなりし、民意を反映した作業はできません。即ち市場を理

ります。将来の所得の増大の希望が満たされれば、このことで出産率の低下は当然の数値となつて結婚しても子供の養育に自信が持てないといふ家庭単位も縮小を余儀なくされがちです。将来な社会では、子供を持つことに対する期待が持てずには經濟戦略を練ることが出来ないのです。このように必ずしも子供の養育に自信が持てないといふの社会行動を律していくことが自然体のものが人間の社会であります。常識を基準にすべく均衡点であり時点であります。調和のどちらす均衡点に到達できるはずです。調和のどちらの特徴が決定された不動産価格について一つの値段を引き出すことがあります。それも基準に不動産価格が決定され、売買取引が完了するわけではありません。往往にして鑑定士はその結論が正確であります。なかに大きな労力を費やして、結果得られるのは長いか間違つているかを地元の不動産や確認のため訪ねてきます。不動産屋は相場を、通常盛んに取引される事例に従つて、大方の相場をはじき出して答えるでしょう。不動産屋は相場を、価格を決定させたための専門的な調査、分析を以て理論的組み立てを進めていく手立て合わせていません。周辺の客観的な知識は持つべきだ

経済の活性化を目指して本格的に動き出したた  
とともあれ、物価の安定がお題目の日銀が、イ  
ンフレ率一パーセントを目標に今後の金融政  
策を強力かつ持続的に推進していくと宣言し、

われています。言いますし、人の行く裏に道あり花の山ともい  
ていうか。木の葉が沈んで小石が流れるともい  
ていうことは、その貢明さもあつていいのではな  
いといふべきであります。かねない点もあることに注意して、「喜一憂」し  
てライラセぜずおらかに大目に見て、無視しき  
ことですが、市場経済に逆らつた風評と云わ  
れつゝであります。人為的行為の所産であつてみれば当たり前な  
格付会社がこれまで起きており、そろそろ反騰する機会をうかが  
ております。國も株価も厳しい試練にあって鉛ざ  
回されていいる昨今の金融市场ですが、投資家に  
居る格付会社ではありますんが、それによ  
までも放置されではないません。海外で活躍した

しかも中枢を牛耳っている巨大国家です。いつ  
經濟はなんといつても世界の二割強を占めて  
ドルを買つていいくのもいりでしよう。アメリカ  
たりしますが、たとしたら思い切つてこから  
つります。為替も学者は五〇円を予測してい  
〇円すればの十分の一の値段に落ちてしま  
一〇〇円していた株が最近ではなんど一〇  
一二年前も一円、つまりその後の額面変更で  
ては三、四〇〇円していた金融株ですが、つ  
どして私は聞かれると褒めでおりました。私は昨年來  
一千円安に振れたのを好感し輸出関連株に買いました。金融株にもよう  
呈見で今日の東京株式市場は久しぶりに活況を  
と思ひます。昨日の日銀の明確な政策の決断を  
オルトの回避に向けた協議が功を奏すこと  
を見ながらギリシャへの支援策を実行してア

EPIの信用不安は依然として予断を許しま  
せんが、ひとつの収集不能を脱し事態の推移  
はともかく、行き着く核心的選択は一つしかあ  
なればここでも常識の威力を發揮する余地は  
やかましい議論ばかりでなく迅速を旨とする  
法の改正も含めて新しき時代にふさわしい運  
強力な陣容を組むことも必要であります。日銀  
でもありますので、時に政府日銀一体となつて  
よう。日銀の中立性を維持する手立てはいくら  
会の変動に機動力を發揮する体制が必要でし  
している場合ではありません。激変する経済社  
鎖的な威厳維持のための体裁にうつを抜か  
十年前から言われてきたことです。伝統的、閉  
インフレ目標地を設定することの是非は二  
果とくなつてしまします。

の改革改善、前進のために少しも役立たない結

論し、その上国民の血税は無駄になります。世の中  
ない役人が増えてきてしまえば社会的機能は停滞麻  
で、庶民のために国民の公儀に反して、何もし  
か思えません。日銀にかかわらず一般的に言つ  
ることが信頼性につながると錯覚している  
時間が手法はあまりにも遅々として機を逸  
するこれが多すぎます。何にもしないで静觀す  
の役割は大事ですが、役所仕事同様、決断まで  
物価の安定と貨幣価値の維持を務める日銀  
でなければ、常識が生かされてしまうな社会が必要であります。  
ことは、常識が生かされてしまふ多様性を發揮し  
れれます。而して人間社会にとつて一番大切な  
常識に落ち着き收れんされしていくものと思わ  
たりにしても価値觀とか處世感からして平穏な  
なります。仮に複雑な議論や理論を展開していく  
な常識で事を成し遂げていくことが肝要であります  
て引き出すものでなく、平々凡々ありきたり



太平を祈る次第です。  
まずは、陛下の健康回復を一途に、尚、世の  
機会を得る結果となりました。月改まつま  
た捕見を披露して、市井からの方、大所か  
ら正鶴を得た意見、警鐘、主張を発信していき  
ます。

身といじらなる  
被災地をみまへる旅につからず天皇皇后の  
たまへりあざなふなに  
すめらぎのいくにたみの行くすゑをあんじ  
いやすすめらぎの技  
血のすじの狭きをふさぎハイパースに置きかへ  
よろびありへり  
すめらぎの神技に近き外科手術うくる安きに  
がなきかな  
なる皇后のうち  
天皇の血みちの狭き心臓手術をうけてつ  
すめらぎの胸の手術の間にそひていかばかり

+

せん。  
安静に務められて完全な回復を信じてやみ  
に安堵のひとと推察しております。しばらくは  
ます。皇后もひゞい心配などいたつたど、結果

ながら、これらの平靜の大切なこと勉強す  
姿が撮影されてきて「休む相場なり」の俗謡  
動静をうかがつてみると、むしろ本當の事柄と  
口角泡を飛ばすことも控え、専ら静かに世間の  
激動する内外の経済、政治、社会一般のこと  
に合わせ小生もこの欄にて通常の論陣を避け、  
い喜びにたえません。若干控えめな世間の動き  
り」と申すよう陸下の体調は順調なものと思  
きておりませんが、「たよりなきは良き報せな  
後のこ様子について公表や報道は伝わって  
いるものと推察しております。陛下のその  
術後の良好な経過と体力の回復も、快調に進  
強制な心身の力に改めて感動を覚えています。  
歳という高齢にもかわらず、陛下の驚くべき  
ました。四時間に及ぶ大手術でしたが、七八八  
スを形成する手術はさる十八日大成功を收め  
陛下の心臓冠動脈の狭窄を防ぐため、ハイパ  
強制な心身の力に改めて感動を覚えています。  
歲という高齢にもかわらず、陛下の驚くべき  
ました。四時間に及ぶ大手術でしたが、七八八  
スを形成する手術はさる十八日大成功を收め  
陛下の心臓冠動脈の狭窄を防ぐため、ハイパ

### 陛下その後

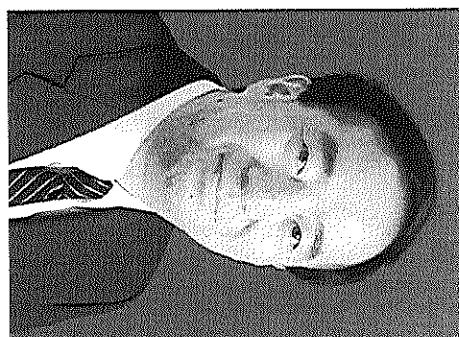
回復を良好に促すことができたしるしであり  
によつて高度の手術を受けられた陛下は術後  
す。順天堂大学と東京大学の連携による医師団  
めることが出来ました。喜ばしき限りであります  
脈の手術を受けられ無事手術を終え、成功を收  
天皇陛下が18日東大病院にて心臓の冠動

### 天皇陛下の冠動脈手術の成功を祝す

あります。一月二十五日。  
に向かつて雲を突き、天空に飛翔したいもので  
夢から逃れ、早い時期に成長路線に搭乗し大空  
して協力して不景気の元凶であるアーフレの悪  
つて困難を脱すべく努力し、我々も一企業家と  
ことは明るいニコースであり、政官財一丸とな

## 私立の多様性が鍵に

慶應義塾大学塾長  
日本私立大学連盟会長  
清家 篤



日本の大学学部学生のほぼ八割は私立大学で学んでいます。私立大学は、日本社会に知的多様性をもたらすため念にのつとり、特色ある教育や研究を行なう私立の「中間層」を送り出す担い手だ。また建学の理給源であり、健全な市民社会を支える「肩の厚い中間層」を送り出す存在でもある。

日本は、日本の高等教育において私立大学が、量的に間違いない。そしてこの役割は、現在の日本がも質的にも大きな役割を果たしていることは間違いない。そしてこの役割は、現在の日本が直面する課題への大学の貢献を考えるとき、さらには国際化。もうひとつは地域の活性化。

留学の質充実

ジヤバニーズスタイルの神髄は、日本でなくしては学べない。国際標準をめぐる競争での日本の「ガラパゴス化」が指摘される。確かに日本でしか通用しないものは国際的な市場性を持ちにくい。しかし同時にカラバゴス諸島の貴重な動植物がそこにに行かなければ見られないように、日本が創り上げたユニークな価値もまた日本に来なければ学べない。そしてそれらについての特徴あれば学べない。私立大学なのは、実は圧倒的に立地をはるかにしのぐ数が存在している。ちなみに市圏にも多いが、それ以外の地域にも、国立大学をはじめ多くの公立大学は四〇〇〇校を数える。そしてそれぞれの地域の文化や二十一には日本のファッショノ、アーティスト等の高齢化先進国としての日本、さらに、あるいは日本文化、日本の経営、日本のものづくり力は、日本でしか学べないことを学べることに一 方で、日本に留学生を呼び寄せる最大の魅

しやすいのである。

多様性に富む私立大学は、海外の大学とも連携の高い国際教育に積極的に取り組んでいる。独自で卒業可能なコースの拡大など、私立大学は質を得が可能な交換留学の拡充や英語による授業もたらす質的貢献である。ダブルディグリーアー取組の七割強は私立大学からである。

逆に協定等にもとづく日本人留学生の送り出し留学生の八割強は私立大学に在学しているし、また国際化という点では、留学生の量的、質的充実が求められている。量的には海外からの留学生に重点を置いており、日本へ留学生の送り出しが多い大学からである。

ます国際化という点では、留学生の量的、質的充実が求められている。量的には海外からの留学生に重点を置いており、日本へ留学生の送り出しが多い大学からである。

各地に根ざす  
地域社会活性化のためにその中核となる  
知識基盤が必要だ。私立大学は人口の多い大都市圏にも多いが、それ以外の地域にも、国立

大学をはるかにしのぐ数が存在している。ちなみに市圏にも多いが、それ以外の地域にも、国立大学をはじめ多くの公立大学は四〇〇〇校を数える。そしてそれぞれの地域の文化や二十一には日本のファッショノ、アーティスト等の高齢化先進国としての日本、さらに、あるいは日本文化、日本の経営、日本のものづくり力は、日本でしか学べないことを学べることに

# 清家鶴

一ズ自体が多様である。ソラアソシテイに大学に入つてみると、その二<sup>二</sup>は柔軟性のある個性的なカリキュラムを組むこと、生きる立場でも地域に通うのは困難な立場で生きる私立大学である。また社会人学生等は、このように国際化、地域活性化、高齢化といふことの意味は大きい。であり、その点でも地域に多様な私立大学がある。繰り返すが鍵はその多様性にある。その多様性の確保と更なる充実が、私立大学の進むべき方向だ。

ささらに高齢化社会への対応として生涯教育を進めるために、私立大学の持つ多様性が貴重をめらされるのでなければ意味がない。國の政策は、個々の建学理念を守り、改革が必要であればそれを自律的に進めていく。國があるべき姿を示し、それに沿つて大学をつくったり変えたりするのは画一性、効率性が求められる発展途上にある。私立大学はとりわけ大きな可能性を持つことになりそうだ。

退後の高齢者などが学問そのものを楽しむために明確な目的を持つたり、あるいは引き継ぎたり、ユニークな分野の勉強をしたいとしたり、社会入学生は、特定の職業能力向上を目指を進めるために、私立大学の持つ多様性が貴重をめらされるのでなければ意味がない。國の政策は、個々の建学理念を守り、改革が必要であればそれを自律的に進めていく。國があるべき姿を示し、それに沿つて大学をつくったり変えたりするのは画一性、効率性が求められる発展途上にある。私立大学はとりわけ大きな可能性を持つことになりそうだ。

学生は大学にとって單なる一時の顧客ではある。将来にわかつて気がありなり、いわば大学家族の一員なのである。そしてそうち一体感を持つことができる。そしてそこには、まさに建学理念を共有する私立大学の教職員と学生、卒業生だ。それが、国際化、地域活性化、生涯学習という場においての持続可能性を高めていかなければならぬといふ。

顧客満足」といつたこともいわれるが、大学は、教育の質を常に向上させ、何よりも学生のためを考えることで実現されよう。よく学生のいうまでもなく、こうした大学の社会的貢献が必須条件だ。それには財政等の経営情報の透明性の向上等に対する公的支出を受ける必要もある。もちろん人材を送り出し、不可欠の知的多様性をもたらすといふ公共的役割に対する公的役割に不可欠だ。その中心は学生からの授業料と卒業生などの寄付である。同時に、社会に人材を送り出し、不可欠の知的多様性をもたらすといふ公共的役割に対する公的役割に不可欠だ。そのためにも私立大学側の財政基盤強化がそのためにも私立大学の自律的な動きを支援し、後押しされるものであつてほしい。

## 「時局論壇」

東京大学教授  
山内昌之

## 『大危機』には『大戦略』を



「大危機」には「大戦略」を

度予算案の閣議決定と重なった。一般会計の歳入に占める国債の割合は四九%に達し、税収を上回った。日本財政規律は国際的にも異常事態といふほかない。

点で新規国債発行(借金)を除く歳入から歳出を引いた日本の財政収支の赤字は、国内総生産(GDP)の一〇%程度と、財政破綻状態にあるギリシャの人々や、イタリアの四%を上回った。また、二〇一一年時点で日本の債務残高はGDP比二三三%で、ギリシャの一六五%や、イタリアの一二一%よりも高い。

国債急落リスクの解消と社会保障財源たため、消費増税への道筋を付けるのは政治家の仕事だ。しかし議員定数や歳費削減、公務員給与の縮減を嫌がる多くの与党政治家は選挙訓に学ぼうとせず、将来世代にシケを回す習性を恐れ、一〇%前後の消費税が当然の歐州の教訓から抜けきれない。この中で野田佳彦首相と民主党が消費税増税を社会保障と税の一体制改革に明記したことは評価できる。

第一は、歐州危機に類似する日本発の信不用語は三つに挙げられる。  
第一は、歐州にまたがる「大戦略」に大胆なりダメ外交による通貨統合の条件を偽ってユーロに加入しない。財赤字二%以内、政府債務残高六〇%以内と不相応の自己過信を国民に抱かせ、GDP比で立以来、歐州で受けってきた特待措置に慣れ國力化を急ぎすぎた点にある。「レネスの國土へ懸念があつたのに、政治の判断で通貨の共通危機の直接原因は、ギリシャなどの財政規律を現実主義と相克から生まれたのである。

ユーロクラット(EU官僚)のように「國家体改革新を早く実施すること。第二は朝鮮半島をめぐる外交安全保障の危機に対応するために、日米関係を強固に再構築し、環太平洋経済連携協定(TPP)のルールづくりに参入すること。

第三は、過去の民主党政権で一人の首相が内政協定(TPP)のルールづくりに参入すること。

シップを早急に發揮していくのである。

た。ギリシャ国民はEUの負債半減に感謝するいう通貨統合の条件を偽ってユーロに加入しない。財赤字二%以内、政府債務残高六〇%以内と不相応の自己過信を国民に抱かせ、GDP比で立以来、歐州で受けてきた特待措置に慣れ國力化を急ぎすぎた点にある。「レネスの國土へ懸念があつたのに、政治の判断で通貨の共通危機の直接原因は、ギリシャなどの財政規律を現実主義と相克から生まれたのである。

ユーロクラット(EU官僚)のように「國家体改革新を早く実施すること。第一は朝鮮半島をめぐる外交安全保障の危機に対応するために、日米関係を強固に再構築し、環太平洋経済連携協定(TPP)のルールづくりに参入すること。

第三は、過去の民主党政権で一人の首相が内政協定(TPP)のルールづくりに参入すること。

シップを早急に發揮していくのである。

| 大戦略を担うリーダーの条件 |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| ①総合力(決断力)     | 内政と外交の全局の統一的決断、事案の一国性と国際性の総合判断   |
| ②胆力           | 安定した国家観と歴史観、情熱的判断力と理性的判断力との融合    |
| ③人心掌握力        | 国民に負担増を納得させる説得力、危機に適材を適所で活用する決断力 |

こうした大戦略を大危機の時代に展開できることを強調した。

（F-T A）に関心を示し始めたのである。

（F-T A）に相当する一八〇万から一〇〇万の難民が生まれる危険である。

外強硬派によるミサイル発射や核実験など軍事挑発の可能性があることだ。第三は、北朝鮮の肅清や権力闘争によつて体制が瓦解し、人口の一割に相当する一八〇万から一〇〇万の難民が外交軍事の関心を中東に置いてきた結果、中国の軍事台頭と北朝鮮の核武装を許し、北東アジアの國際政治力学を変動させたことへの見直しを進めながら、T P Pのルールづくりを展開すべきである。TPP協議は日本に有利なアジア太平洋経済秩序を構築し、日米間の信赖關係強化にもつなげる大戦略を展開すべきである。

民主党政権は、TPP協議を進めるが、TPPのルール改正と同じように、劣等感を持つて考えられる必要はない。現に野田首相がTPP協議に参

第一の要因は、カリスマ性と政治経験を欠く金正恩氏の統治の正当性が軍部の間で盤石でない点である。第二は、二〇一〇年十一月の韓国・延坪島（ヨンピンド）砲撃のように、対日の大危機を複雑化させる北朝鮮動乱の原因である。

ヨンウン氏の権力継承は、多くの不确定要因による想定外の危機を生み出す可能性がある。

韓国、台湾など新政権交代や新政権の選出が予定されている。とはいえ、政治日程で予定された平時のリーダー交代劇は、大危機に直面した北朝鮮の金正日総書記の急死と金正恩ジニアが悪化した国を指した。

ギリシャは事実上の「破綻國家」になつた現実を直視せねばならない。破綻国家といふ言葉は、これまでソマリアなど統治機能が失われた安寧が悪化した國を指した。

どうとか、財政緊縮策や構造改革に反対している。

中国や中国とは経済連携協定（EPA）さえ満足につた。歴史認識で絶えず日本に攻撃をかけた韓

れる国民国家の記憶と枠組みを超えるか、それが経験してきたEUでさえ、歴史や財政に象徴される歐州危機は東アジア共同体なる構想がほとんじ実現不可能なことを示している。アラビア語とイスラームを共有しながら各種の統合段階を進めると岸協力会議（GCC）や、古典文化とキリスト教の共通性を誇り数次の統合段階を経験してきたEUでさえ、歴史や財政に象徴されない。破綻国家が広がりヨーロッパの崩壊をもたらしかねない。

そうなのに国民が財政規律に無自覚な「財政破綻国家」も「治安破綻国家」と同じく世界史でそれが東アジア共同体なる構想がほとんじ実現不可能なことを示している。アラビア語とイスラームを共有しながら各種の統合段階を経験してきたEUでさえ、歴史や財政に象徴される歐州危機は東アジア共同体なる構想がほとんじ実現不可能なことを示している。アラビア語とイスラームを共有しながら各種の統合段階を経験してきたEUでさえ、歴史や財政に象徴されない。破綻国家が広がりヨーロッパの崩壊をもたらしかねない。

これまでに起つた民主化の事例としてこれが重なるが実際にうれしかつた。今回のエジプト政変はそれで、エジプトに行く機会を与えられたことから独裁体制が倒される過程について調べてきましたが崩壊など、時には膨大な群衆の参加を伴いながらに広げるならランアンメリカ諸国の中政崩壊や旧ソ連・東欧地域における共産主義体制のインドネシア（一九八八年）、タイ（一九九一年）、は韓国（一九八七年）、ピニにおけるマルコス政権崩壊以後、アジアで比亚民化に関心があつた。一九八六年のフリーピンに正直に言つた方がいいだらう。以前かもつと正直に言つた方がいいだらう。以前か



## 東京大学教授 藤原帰一 民主化の実現 第二幕次第

### 「時局論壇」

#### ムバラク後のエジプト

正味三日あまりだから大口はたけないが、ムバラク政権崩壊から一年を経たエジプトの現状に触れる機会になつた。

国際交流基金企画でカイロに行つてきた。

総合力とは、内政と外交の全体を見通す力であり、大局觀に通じる。そこには政治的に質の高い対話を、内外問わずに他人と交わせる能力も含まれる。総合力はマネジメントの能力と実務的感覚を持つ決断力と言い換えてよい。首相ともなると、歴史的に長期の展望を持たない相どもなると、個別の選挙や目的の利益導入といった狭い視野によつて目が曇つてしまふ。胆力とは何があつても動じない平常心や冷静沈着な裏胆である。國家観や歴史観を持った人心掌握力は、尖閣諸島沖での中国漁船衝突や東日本大震災といった想定外の危機が起きる時にリーダーの決断を国民に受け入れさせよ。勇氣も必要になる。

向かいかねない現状を國民に丁寧に説明し解決への展望を示す責任を負つていて。首相の大戦略は困難な決断を伴うに違ひない。しかし歴史と文明に目を転じれば幾多の先人がいる。首相の大戦略は決して孤独ではない。

（東大藝術博士。東中東地域センター長）

山内久之

他方、危機のリーダーは消費税増税や給付削減など國民に犠牲を強い場合も納得させると説得力と決断力を持つことが不可欠である。二〇世紀英國のロイド・ジョージ首相は「國民はリーダーシップがある」と述べた。ただし「首相は犠牲の用意がある」と述べたと条件を付けていた。

だが、民主化への失望や無関心が広がつていて、それが違つて決まるからだ。エジプトが第二幕によつて決まるからだ。

第一幕に進み、独裁者の下の暴力から破綻国家の下の暴力に国民党が晒されるにつながつてしまつのか、それらすべては制度構築といつて選挙後のイスラム諸政党と軍との緊張関係が発生している。そのようなアジア諸国における政権の下で権力を保持したインドネシア軍はさらにエジプトに近い事例であり、ここでも政権は弱体化した。スハルト大統領退陣後もハビタード未遂事件が何度も発生し、そのためにはアキノ政権の下でクーデターにおける軍の位置が争点となることは珍しくない。

さて、他国の事例と比較すれば、民主化過程が大勝し、厳格なサラフイー派諸政党を合わせると過半数の議席を占めた。今回会うことで年以上重要なテーマとして議論されてきた。だが、民主化によつて生まれた変化への危惧感じられた。

もちろん民主化研究は政治学でも過去二十年以上アメリカや旧ソ連・東欧の事例を話すのがこれまでエジプトでお話をされた同業者は多いがこれまでエジプトにて議論されてきた。だが、民主化によつて生まれた変化への危惧感じられた。

第一幕が報道される機会は少ないが、政治運動の一幕が意味のある政治の変化を伴うのか、独裁者追放という儀礼の後に伝統的な政治勢力が現実に意味を決めるのは第二幕の方だ。民主化が現実制度形成が第二幕に当たる。第一幕に比べて第二幕によつて決まるからだ。

憲法改正案も定まつていらないのが現状である。旧憲法は停止されたものの、相を議長とする軍最高評議会のもとで暫定政権が続いている。旧憲法は退陣したが、タンタウイ国防軍バラク大統領は退陣したが、ムスリム同胞団を基盤とする自由公正党はムバラク追放から一年後のエジプトはどうまだ移行期が続いているといふほかはない。

か、まずそこに関心があつた。

かはムバラクに置いて革命の熱気が失望と無関心に置き換わるまで半年もかかるなかつた。でフリーピンにおいて革命の熱気が失望と無関係の連続性が認められることが少くない。

主化の後にできあがった制度には旧体制とかを追及し、旧体制を倒したにもかかわらず、民逆に、とつもない数の人々が集まつて独裁者が新たな専制支配を生み出した事例はごく少ない。

過去の大革命の多くは、それまでの専制支配を倒しながら、それを上回るほどの独裁体制を実現することで終わった。だが民主化の場合、新フランス革命、ロシア革命、中国革命など、りどことが違うのか、少しでも知りたかった。

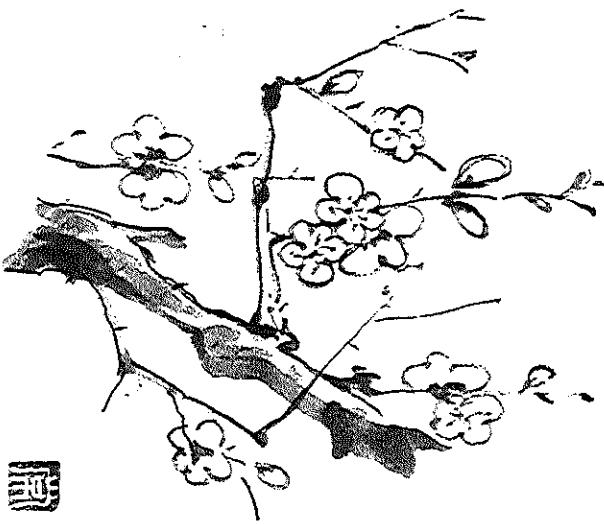
方々は、日本をいかに弱体化させるかといふことにどうやって統治したらいいか。彼の初めの考え方をマッカーサーは、第二次大戦を戦勝して原木飛行場に降り立ち飛行機からおりてきました。日本を見ると、いついう物の者の方に大体ならざつて行きました。そして、戦前は悪い国だったと、我々は道徳的に間違っていたと、結論として大きくなりました。これはやつぱりすばらしいものだといつて、アメリカ的な価値観のほうに軸足をどんどん移してしまった。そして、マッカーサーが仕組んだ東京裁判も引き受けたとアメリカ万歳と、アメリカン・モラルシスーで当然です。そのように同意した我々は、そのあとは国民総意のもとに和平国家に転身して、もう一度と戦争を起してしませんと誓つたのです。そして結局、日本は間違つてから戦後、反省して改心して自らを戒めました。その証拠に日本は國民総意のもとに和平国家に転身して、もう一度と戦争を起してしませんと誓つたのです。そして結局、日本は間違つてから戦後、反省して改心して自らを戒めました。その証拠に日本は國民総意のもとに和平国家に転身して、もう一度と戦争を起してしませんと誓つたのです。



## 資本主義経済は自壊する 日本再生の道

一ツ橋大学教授 中谷 崑

主催 社団法人昭和経済会  
太平洋興発株式会社



藤原 介

(国際政治学者)

裏切られてしまつのか、行方はまだ見えなかつた。

必要があります。古事記は國の成り立ちを書いたうな觀点から見た日本最古の書である古事記のよどにかく、まず日本最古の書である古事記のよちやんと教えなくてはいけないといふ命令を出しているのです。

ところがマッカーサーは日本人に日本の歴史をほとんじ学んでいないのではないか。しかして、歴史の教育といつても、何か歴史らしい歴史とはほどんど変わってないと思いません。皆さん方もそれ制の中で教育を受けたときに、何か歴史らしく思いました。私は戦後教育のなかで育つてきました。小学校一年生になつたころですが、そのころにマッカーサー主導の教育体制に入つてからの教育を受けた人間なので、まるきりマッカーサー体の方やモノの見方について若干の隔たりがあるかと思うことがあります。私は、戦後教育のなかで育つてきましたが、そのころに、思ひます。皆さんも多分私よりも昔いでしょうから、考えたことをまとめ、そしてそれを教育の基本としておいたのです。

ところで、歴史がつかり教えなければいけない強するのが一番早いのです。

り、人間なのかといふことを知るには、神話を勉強するから勉強させてはいけないというで、古事記は教科書カリキュラムから外されてしましました。ですから日本人は自分たちのルーツが何であるか、どういう國の成り立ちで我々はここにいるのかといふことを学ぶ機会を奪われてしましました。

ところが、マッカーサーは、古事記は軍国主義で、いつながらから勉強させてはいけないというで、古事記は教科書カリキュラムから外されてしましました。

す。自分たちといふのはどういふ種類の民族であります。神話でありました。神話が文書化されたのが神話であります。自分で、それが文書化されたのが神話であります。神話をしてるのです。ずっと語り継がれてきたものを色濃くも云いましょうか、民族の氣質といふものが歴史的事実とは違いますが、民族のエトロスとしても学校の教育で教わっています。神話といふのは西洋でいうときりしや神話と一緒にです。歐米の子供たちは、小学生も中学生もみんなギリシヤ神話などがあるでしょうか。ほとんどの方が古事記を読んでいますが、それで皆さんは古事記を読んだことはあります。

生き残つてきた理由のかといふことを理解していりうのは他の国々と違つてじつう点がユニークといつた点に絞られていました。日本の歴史と切り込んでいった歴史教育も、日本人とは何か占領支配下のアメリカが、占領政策の一つでした。

から全部アメリカが目論んでいたところになりました。教科書から学校の教育システムに組みました。教科書を書きかえさせました。そのときに、日本の教科書を書きかえました。そこには全部黒で塗つぱり日教組、左翼とマッカーサーの思惑が一致強いわけです。だから、例えば東大の先生とかしたのです。いいで右と左が結託してしまつたから強います。

それは一つの洗脳教育としてあらわれました。ついばい打ち出してきましたね。

だから占領下の日本に対して、日本弱体化戦略を

うのがマッカーサーの基本的な物の考え方でした。しかし、いつもからいかに弱体化させるかといつたわけです。したがつて、日本人といふのは恐ろしい思想を非常に強く持つて、日本に上陸してきました。日本兵ってすごいなと思ったのです。マッカーサーはどんな思いで見ていたのです。日本兵って見ていたのがマッカーサーで、自身を挺してアメリカ兵と戦っていました。これを目の当たりにして見ていました。これ彈薬もないという状況で、一糸まとわぬ裸同然にいました。兵隊は食うものもない、鉄砲もない、本土からの支援の全くない中で、孤立して戦つて切つてどちらにもならぬいといふ惨憺な状況でした。弾薬もない、食料もない、ひょうたんが全部伸びなんていふのは想像を絶した戦いでしした。日本は士は一糸まとわぬ裸同然でしして、レイテ島の戦いのです。物量作戦のアメリカに對して日本軍の兵は、彼はフィリピンのレイテ島の総司令官だった徹しておりました。マッカーサーが日本に来る前

ついで日本に来てはいけないと指示したのです。日本人は自分たちのルーツを知らない間違になってしまいます。私が冒頭のところでは、軍国主義の前近代的な悪い国だからそういうふうなったんだ、という解釈だけではこれはとんでもない日本は、なぜアメリカに戦つたのかというとまさに、そこには日本はなぜ開戦したのでしょうか。日本は、なぜアメリカに戦つたのかというとまさに、そこに行つて悪いことしかなかったといえば、それはうなづきません。強弁になります。

本質であります。だから、日本軍が中国とか朝鮮これが兵士のモチベーションです。それが戦争のときもやるといつて好きなんようにあります。それで日本軍が中國とか朝鮮を攻撃するとなれば、何でもやるといつて好きなんようにあります。相手方に入つて好きなんようにあります。相手を略奪するためには、それが戦争をするとなれば、どこかといつて好きなんようにあります。これはじぶん戦争でもあります。大体昔から、突があつて、どういひどいことをしたかといふやうな物狂いでやつてるわけだから、現地でどういひうやつぱり戦争で駆り出された兵士は、みんな死の戦争といつのは、そやみなも物ではないうか。で悪いことしかったといつてはあります。

コロンブ以来西洋は世界に対して何をやつてきたかといつて申しあげたのは、そういう大きな歴史的なシナリオのことをまず思い出してくだけたからといつて申しあげたのです。NHKは四本の緻密なドキュメンタリー番組をつくりながら、西洋が数百年の間に世界に対して何をやつてきたか、何を言わないのです。西洋の歴史上の攻撃と侵略はアメリカから始まってアフリカ、インド、中国ときて、最後に日本に来たわけであります。彼らの征服シナリオの最終局面が、日本制圧にあつたのであります。これが歐米の歴史シナリオの終着点ではないでしょうか。

歐米の人たちから見ると、日本は予想外の抵抗をしましたといつてあります。この抵抗した物語は、日露戦争までは大成功してきました。そういうふうな歴史的事実と認識から、司馬遼太郎の「坂の上雲」は大ベストセラーになつたわけです。ふつうにいれを放つておいたら、あつという間に中国といたしましたといつてあります。

カインドみたいな状態になつてしまつてしまつます。

日本人が中國大陸へ行つて、何を中國人に対してはあつたものは認めなければいけません。面としてはそういう殘虐行為は一つの側面しかし、もちろんそういう殘虐行為は一つのみんなはそう思われたのです。残酷な人たちだったのとだらうかと思つていてしまつたから、私たちが小さいとき聞いていたりラジオ放送を聞いてみると、日本軍は鬼みたいないのです。だから、私たちが小さくいつぱりラジオで流してましたといつをしたと、日本兵がやつた殘虐行為をこれの作戦でこんな手ひどいといつをした、こんなひどいことを宣伝し洗脳を図りました。日本がどこで育ててもマッカーサーは、そのほかにもNHKを借りてどつともならないといつといつですが、いずれにしてもマッカーサーは、歴史勉強しないと人間教育上を必修にしました。歴史勉強しないと人間教育上太郎さんの東京都と神奈川県だけが、最近日本史は必修ではないと言つております。唯一、石原慎一でも高校を卒業するのに文科省は、別に日本史教育を日本にしてはいけないと指示したのです。

そういうことでマッカーサーは、本格的な歴史です。校正

勉強はしていますが、一休それが何を意味したかおもしろおかしく年代を覚えるといつ程度の歴史といいます。鎌倉幕府はいは國だと、鳴くよ鳥平安京とか表現したりしています。何かそういう思想があります。皆さんの中に年代が得意な人がいる日本の中にも年代が満ちあふれています。自然に自分の国に愛着を持つようになるのです。歴史を細かく隅々まで勉強しておくと、実はこのとまで勉強しています。

歴史の教科書は分厚くて、物すごく細かい歴史科目の一つになつていています。ロシアを見ますと、歴史教育というのは、国語、算數に並ぶ三大重要なせいで日本以外のほとんどの国ではあります。そのせいで日本においてといつのが歴史的な現実度あるいは消滅していくといつのが歴史的な現実度がないのです。そうすると、そうちた民族は大体にまつたのです。日本人は自分たちのルーツを知ら

うなうとするのは單体であるといつては觀念があります  
いっすぐに足をすくよつなり上げ足を取るより  
日本人は、相手がちよつとすきを見せたから  
以外の国々の人々の基本的な考え方です。

をもつて相手を欺くことを考へるヒ、これが日本  
人は信じてはいけないぞと。常にしたかねり  
と足をすくわれるぞといつてです。そう簡単に  
ら泥棒と思えといふわけです。うからしかでいる  
るよつな歴史の人たちの習性は、人を見た  
る異民族が入ってきて入り乱れて支配しされてい  
ます。必ず性説になります。ですからいつわるがわ  
りうございます。しょつちゅう異民族が入ってきて  
一體どういつが起つのかといつては、といつては、  
たどりう歴史は一回もありません。といつては、  
つてきて、もともといた日本民族を完璧に征服し  
たところが、日本は違います。どこかの民族が入  
の連続の歴史はヨーロッパと同じです。

かれわかりました。だから異民族同士の紛争、戦争  
かしてしました。王朝もそれによつてどんどん入  
だとかいろいろな北方民族がいて、漢民族を常に脅  
た。たとえば匈奴とか、蒙古人とか、女真族  
中國にはいつも北方騎馬民族といつのがいました  
ヨーロッパの歴史をダイナミックに形成している  
民族を征服したといつ話です。この征服の連続が  
な言葉で言つていただけるだけの話で、ある民族が他の  
そついう民族が、他の民族をやつつけたりとか、  
それはマルマソ民族がラテン民族をやつつけたりとか、  
大移動などといつてこれを世界史で学びますが、あ  
とか中国とかいう国々は、長いこと異民族同士が  
入り乱れて殺し合ひをやつてきてきました。民族  
ほのかの国といつのは、特に陸続きのヨーロッパ  
いでじよつか。

の歴史の中で最もユニークだった点の一つではな  
きただといつのです。これが日本が世界

全く他国に征服されないで自分たちだけでやつて  
いるとなる、マカーサーが進駐してくるまでは  
ますと、日本は島国であつて他国に全く征服され  
ので敢えて申し上げませんが、一言だけ付け足し  
つては、わたしは先の木中で結構書ききました  
す。無関係ではないと私は思ひます。そのと  
に就いて正しく説明できなくなつてしまつて  
ないと自分の会社の強さといつむのはどうかって  
ええときたくも、そういうことがきつちんとわかつて  
のいといそ、例えは企業経営といつどを考  
ううと理解しなければなりません。

問といえども生き延びるといつができたのか、とい  
られるてしまつたのに、日本だけが、たゞ短期  
です。中国やイギリスまでがてんばと直ぐにや  
いらう國の力の源泉を、かいま見るといつができるの  
解しなければなりません。つまり、そこに日本と  
それは一体何だったのかといつどをちやんと理  
すい特殊な地位といつのがあるわけでしょう。  
したから。そして世界史の中における日本の物

に行つても、そんな抵抗にも遭わなかつたわけで  
青天の霹靂だつたわけです。それでは西洋の連中からしたら  
が起つたといつてあります。飛んでもないとい  
ち、世界の五大国の一等国の一角を占めるよ  
いていつたら何と、日清戦争に勝ち、日露戦争に勝  
ても取り入れるといつてでした。いうなれば文  
西洋が持つていてる技術で、日本で使えるものは何  
やつていますが、明治維新になつたときにはそ  
は、幕末には開国か攘夷か争いながら、がたがた  
いか必死になつて考え方行動したのです。それまで  
明治維新の若い人々は必死になつて抵抗しま  
といつるが、それまでに貯めてきた力を利用して  
本などすぐやられておおかしくなつたのです。  
かかつて簡單にやられてしまつたわから、日本  
中國とかイギリスといった大国で、西歐の牙に

一枚舌ですが、もう正面に顔に出てしまふ、考へ  
とがでまるのです。これが三枚舌です。日本人は  
これがそれで互いに独立して自立的に動かすこと  
いふこと、心のうちなど、顔の表情があつて、  
舌といふのは何かといふこと、言葉に出して言つて  
中国人は、私は三枚舌だと言つております。三枚舌  
でも、中国人は、もつとしたかです。そこで  
彼らの言つておもひしたかなるのがあります。  
があつて、そつ簡単に彼も人も信しないもの  
がつかわっていました。西洋人は非常にきれいな  
分離といふことになつて、りうかば政教  
挿みませんといふことになつて。私たちには口を  
ません。わかりました。私たちには政治には口を  
悪いと言わなければいけないのが宗教なのでしょ  
たりしてはいけないので。悪いものはいぢつても  
なければならぬのです、そんなものを引き受け  
大きな正義といふ、大きな愛の中に包み込まな

キリスト教といふのは、そんなことを乗り越えた  
あなた方をやんと生かしておくれといふのです。  
あらうといふことです。そのかわりおれたちも、  
教の教えと違つてやつて文句を言つてはな  
して認めますが、あなた方はローマ皇帝がキリスト  
とまとめるために必要だから、これを入れて国教と  
の皇帝が契約を結びました。キリスト教はローマ帝  
のです。そのときにキリスト教の法王ヒローマ帝國とい  
いは別のものだといふのです。ローマ帝國とい  
ふことです。一枚舌といふのは政治と正義、  
私はよく書くのは、西洋人といふのは一枚舌だ  
えいといふことです。

まだまされるなんんといふのは、これは子供としか思  
ありません。いなんおれの何かにひつかつてぐ  
まれるほらが悪いといふのです。それにも一理  
と、あいつらあはだから騙されるのであって、だ  
企業はどれだけたまされたか。中国人に言わせ  
どんどんされました。この二年間ぐらいで日本

いつも同じ考え方だふつと思つておつたら、どん  
に進出するときに、同じ漢字を使つてから、い  
くと、すぐやられてしまいます。日本企業は中國  
なのです。一枚舌の世界は、グローバルに出て  
言つてみれば一枚舌ではなくて、一枚舌の世界  
切りなどといふのはならわけです。  
基本的には、嘸然として天を仰ぎ見るような大裏  
そねは常にあるのは当然です。しかしの社会は  
つたからです。社会ですから小さないかいは、  
聞にひつくり返されるといふことが一回もなか  
まり、裏切る人間が外から入ってきます。あつとい  
人間同士のつき合ひが長期にわたるからです。  
しい生き方だと、いうう道徳が生まれたのは、  
実一路で生きろといふわけです。それが人間の正  
だまされるといふのです。だから、騙すぐらいな  
の最も基本的な觀念です。だから、そんな理  
と、そんな卑怯なことはするなといふのが武士道  
せたところを切り込むなんといふのは恥ずかしい  
ます。武士同士の果たし合いで、相手が後ろを見

死になつて勉強してこれを吸収して、まさにそのうの類にちがいないと言つていたのですが、だんだんとアメリカの自動車技術を日本の技術者が必死でいる美意識が出てきたといふことであります。なつて笑をあらわしたものでした。日本人が持つうちに組み込まれていて、それが商品という形に消すことができないDNAといふのが、我々民族一生懸命頑張つたといふ程度の話ではありません。これは歴史がつぶつたものです。じきの企業がういう自分で日本製品を見ようになつて、世界中の人がそ連いなしただといつてなつて、これは品質間チヤイナでなくしてよかつたといふことになるので、少しあるかもしれないけれど、これは品質間・ド・マイ・ジ・ジャパンだと納得してメイド・バイ・ド・マイ・ジ・ジャパンと書いてある日本の商品は、海外に行つて消費者が手に取つて見ると、メイド・マイ・ジ・ジャパンと書いてあるわざであります。したがつて今や、メが、そういうことが積み重なつて日本の経済力とですから、それは一つのほんとに小さな例です

功したわけです。

上をいくような品質のものをひへり込むことによっても成

私は昔、自動車会社のサラリーマンをしていました。それには二十一年ぐらいから始めたが、日本の車は故障しないといふことがアメリカ車にちがつてきました。初めてのうち人消費者にもわかつてきました。初めのうちは日本の車なんて、どちらも安かる悪かるが、日本の車は故障しないといふことがアメリカ車にちがつてきました。それには二十一年ぐらいから始めたが、日本の車は物凄くいいぞいやううよう、たくさん品物を緻密に積み上げなければいけないものになればなるほど、結果的に見えるのは職人根性、いろいろなものが自動車といそつ長い間培われた歴史的な日本人の意識、さら、技術者も全然ないな時期でした。しかし結局通産省は日本は自動車産業でアメリカに太刀打ちく競争力がない、そういう技術の低い国でした。車会社なんかアメリカの歯牙にものからない、全から判りますけど、四十五年前には、日本の自動車王國といつものができ上がつたわけです。私も言わせれば、そういうふうな意氣で車といつも

車王國といつものができ上がつたわけです。そういうことが積み重なつて日本の自動車会社なんですが、日本車は発売後すぐでも全然故障しないますが、日本車は発売後すぐでも全然故障してしまいます。アメリカの車は、例えば新車から、そういうことで作つていても、すぐに故障します。しかし故障といつのはラバームに起きますので、それでも一〇〇%起きたりだのとこにならないの部品、部品を見ると一応品質検査も通つていて結果になつたわけです。アメリカの車などは、それでもかとババババの裏側まで磨く心意気でつくり込んであるから、故障率が極めて低いといつてはいけないといつてあります。自動車といつは、車に一〇一ぱー、一五〇%を目標に丁寧にもつと丁寧に一〇一ぱーと故障してしまつのです。とにかく、みんな一の終結果ですから、一ひとつもりい加減につくつてあります。自動車といつは三万点の部品もそれますが、みんな一〇〇%完品をもつとつくります。バババの裏側ではお客様から見えない

側まで磨く心意気、いづれも心地よい意氣で車といつも。私が言つたのですが、ほんとど理屈になつております。でも答えて窮屈してその人は、その留学生などです。お客様に汚いものを渡せますかといつてあります。裏も磨くのが当たり前ではないかと思つたからです。技術員はその質問を受けて、逆に唖然見えないといつておられます。そんなこと考えたことがありませんでした。技術員はその質問を受けて、何でお客べんばといつて下さい。いらっしゃるにコストをかけて何で磨動車会社はバババの裏側を磨いているぞと。お客様に見えもしらないといつておられます。日本の自動車会社はバババの裏側を磨つたのです。日本の自動車会社はバババの裏側まで磨くのです。アメリカの自動車会社を見学して歩いていました。アメリカの自動車会社が、日本の自動車会社と比べます。中国人の留学生が、日本の自動車会社と研究して変わることに気がついたのです。日本の自動車会社はバババの裏側を磨いているぞと。お客様に見えないといつてあります。車の裏側まで磨くことで

めなんだと言つてしてますですが、一體どうが駄  
いります。だから何があると、だから日本はだ  
けでしまつていてるのです。身にしみついてしまつて  
のときには教え込まれたものが、ここの中にはそん  
です。自分たちは間違つていていたと、マサカーサー  
日本はだからだめなんだとか、そういう物の言ひ  
わけか日本人はすぐにならぬにかわらず、どういっ  
かり波きやすいといつて、いう発想になつていて  
いります。空氣もいし、設備もい  
海へ飛んでいくと、これが一番月曜日の朝一番に上  
安心なものを食べて、そして月曜日の朝一番に上  
道でもいいのですが遊覧して、それでうまいもの、  
らって、金曜日の夕方に東京に来て、そして北海  
中国の金持ちのあいがれは、日本のお嬢さんをも  
しれないのです。中国の食料から始まって、中  
國人がつくらものは大体駄目だと思います。

ありますから、中国製のものとなるとほど信用  
中國人も金持ちらたちは、自分の國のもので  
るものなのでしょう。  
り日本ブランドの信用力の絶大さを物語つていて  
は五倍でも安いといつてないのです。これはや  
ります。そういうつて全部トータルに考えた  
我々は蒸直に信じじができるといつてやつてくれると  
の会社が絶対にやりましたと云うのであれば、アフ  
ターサービスも管理もちゃんとやつてくれると  
使いていられないといらのです。しかし日本の財閥系  
フターサービスをやりましたけれど、全く信  
ければならぬいし、このコストを計算したらずつ  
だとすると全く信用できぬいのですと見ていな  
を何本抜かれるとかわからぬいし、中国のメーカー  
日本を運ばなければいけないと云うのです。鉄骨  
あるマシンショント、たゞ値段が五分の一で  
あるたと云つのです。中国のメーカーが作つて  
確かに日本はアメリカとの戦争に負けました。  
確實に日本はアメリカとの戦争に負けました。  
一九四五年で、世界ナンバーワンになりました  
敗戦から、世界のナンバーワンになるまでに戻つた  
いました。日本が世界ナンバーワンの経済大国に  
きました。しかし、そのあとすぐまた蘇つてしま  
原爆まで落とされました。壊滅的なところまでい  
ました。しかし、そのあとすぐまた蘇つてしま  
敗戦から、世界のナンバーワンになりました。機争に負けた  
た二十三年しかたつていません。機争に負けた  
本中の都会が灰となつてしまつたのです。生産設  
備はゼロになつてしましました。そこからたつた  
一九六八年です。一九六八年で。一九四五年的  
返り咲いたのは、一九六八年です。一九四五年的  
確かに日本はアメリカとの戦争に負けました。  
目的ですかと聞い返したい問題であります。

からも頼まれてると、マイナス面にもつなか  
ていています。やはり、の実直さといふか、そこから  
りの力といつものい、日本の競争力の源泉であ  
はなくてサービスの面においても同じであります。  
中国に三井不動産という会社がありますが、最  
近マンション販売を始めました。施工から販売、  
アフターサービスまで一貫体制を敷いています。  
三井不動産の岩沙さんといふ会長さんがいらっしゃ  
るマシンションの販売価格が、中国人がつぶつて  
同じ場所で同じぐらいの面積で企画制作して作  
られるマシンションの五倍もする値段だといふのです。  
それをねのに自分たちの作ったマシンショのほうがあ  
だるかといつてていろいろ中国人に聞いてみ  
飛ぶように売れてしまつといつてでした。なぜ  
それなりに自分でいろいろ中国人に聞いてみ  
たら、それはまず日本製だからといふのです。  
それから何といつててやめてから三井だ  
から何といつててやめてから三井だ

私も何回も取られました。あの時はフランスのリヨンといらっしゃるからパリに汽車に乗ったときのことで。普通はスーツケースを網棚などに載せると、そのときにボッシュにてか現金とか、スポーツなど大切なものは全部入れてしましますので、つい足元に置かないとあんしんであります。それが思いました。それですぐに警察に言つたら、おどりながらスーツケースがもうないのです。やられました。そんなの日常茶飯事なんだ。ずっとあるな。それは狙われていたに違ひない。でも置くときはスーツケースを足で踏んづけておかないと、いきなりいる人間からかすめ取るといふのが彼の人たちもどちらの人は、隙あらば上層階級の人間の置かないといと言わされました。それはどちらも置かないといとは事実でした。だから、そんな小さな流階級の寛大さなのです。だから、そんな小さな職事なのです。かすめ取らせるというのが上流階級だけ、そういうことを実感して過していました。これが日本に旅行に来ると、ちょうど東京とか、京都とか、札幌とかに来て、街を歩いたり飯を食つたりタクシーにいると、間違いありません。外国人の人が日本に旅行に来ると、日本人はいかにも安心したり、清潔だしくて、警察に何しに来たのはあんたといふ感じです。それは彼らの社会が昔から戦争ばかりやっていたので、戦争に負けた民族は奴隸階級になつたのです。その階層が近代になつて下層階級になつたのです。今でもすごい階級意識があります。この人は全くやる気がないといつています。この人は、うした階級意識が強烈な国では、下層階級の人たちは、全くやる気がないといつています。この人は、まだ、アメリカの経営戦略を勉強するのではありません。つまりは何か悪いことしてやるがいいと思つていています。今でもすごい階級意識があります。だから、アメリカの経営戦略を勉強するのではありません。つまりは何か悪いことしてやるがいいと思つていています。この人は、現場にいる人たちの当事者意識、自分たちの責任で自分の職場でいつまでも工場の現場で働いている人は、現場の改善能力、わたしたしは当事者意識と言つています。欠陥商品が出来たら何とかそれを直そうと懸命で、前回のところでは、西洋や中国では全くありません。だから、それと何とかコントロールしようと思つて、それには、西洋や中国では全くありません。だから、それには要らないのです。次号に続く

あなたといつ間にすぐ置き引きに遭つたりします。これは事実でしょう。国外を歩いていたらあります。規則だし、そういうことを実感して過していました。街を歩いていても安心だし、清潔だし、すます。そんなとこへ入りやすくなります。だから、すぐで犯罪といふのは犯罪に入らないのです、あるいは。それがにしたって、たつた一十二年で麻城から復活してしません。したという、驚異的な事実は驚きと叫ほしかねません。今まで日本は、見ても駄目だ、だめの大合唱です。しかし七十六円、七十七円の対ドル為替レートが正しいかどうか別にしても、しかし見ると日本は今、再びトットラスです。この為替レートで見ると、おそらく一人当たり GDP が五百円と七十五円のときでは、えらい違いであります。トットラスにはないかもしませんが、トットラスにいることは間違いありません。外国人の人が日本に旅行に来ると、日本はあれども安らぎがあります。これが日本の為替レートで働くものなのです。百二十円見ると日本は今、再びトットラスです。この為替レートが正しいかどうか別にしても、しかし見ると日本は今、再びトットラスです。この為替レートが正しいかどうか別にしても、しかし今たつて日本はどう見ても駄目だ、だめの大合唱です。

わる中で感じるのは「いまが海外の人々の改め  
て日本を知つてもらうチャンスだ」ということ。  
実際、多くの人の関心を集めチヤリティーに  
は必ず、N.Y.の人々が日本ならではの文化を楽  
しめる仕掛けがあります。全国の日本酒蔵元や  
輸入業者、和食レストランが集結したイベント  
は立錐の余地もない大盛況となりました。アーチ  
ティストの村上隆さんや奈良美智さんが出品  
したオーナショソは、予想を大きく超える六億  
八〇〇〇万円を集めました。

昨年、日本文学研究者のドナルド・キーン氏  
と会う機会に恵まれました。東日本大震災を機  
会に日本国籍を取得し、残りの人生を日本で過ご  
すといふ彼に「日本は政治にも経済にも行き詰  
つてしまっています。いま何が必要ですか?」と問いか  
れて良さは日本人そのもの。そして日本文化です。  
そのことに自信を持つて世界の人々とつきあ  
つてほしい。少し目頭が熱くなりました。

テレビマンとして、またボランティアとして開  
拓をN.Y.で確立し、今や様々な資本がラーメン  
トにも使えるラーメンダンジョン「風堂」はデー  
リーマンになりました。ラーメンチエーン「風堂」はデー  
N.Y.のタクシ一は、日産が独占するにとなる  
わい。また「エローキヤブ」の名で知られる  
ロ」が五番街に巨大店舗をオープンし連日の賑  
はな分野で「ニッポン」が存在感を示しています。  
いまN.Y.ではチヤリティーだけではなく様々  
な地域で「ニッポン」が存在感を示しています。  
ついで前述の「日本の良さ」を研ぎ澄ますことは  
感します。震災を経て苦闘を続ける今の日本に  
とつて前述の「日本の良さ」を研ぎ澄ますことは  
感します。震災を経て苦闘を続ける今の日本に  
海外に生きる日本人としていま何をすべき  
か?、大震災は自分の立ち位置を改めて見つめ  
直す機会となりました。今年もN.Y.から日本を  
元気付け刺激するようなニュースを届けると  
ともに、N.Y.で奮闘する日本人たちを文字通り  
ネットワークしながら活動を継続していく  
の「メディア=繋ぐ者」としてバツクアツづ  
ともに、N.Y.で奮闘する日本人たちを文字通り  
ネットワークしながら活動を継続していく  
り多い年になることを心から祈っています。

一月五日

新春のニューイヤーから  
テレビ東京アメリカ  
星野剛

は立錐の余地もない大盛況となりました。アーチ  
ティストの村上隆さんや奈良美智さんが出品  
したオーナショソは、予想を大きく超える六億  
八〇〇〇万円を集めました。

昨年、日本文学研究者のドナルド・キーン氏  
と会う機会に恵まれました。東日本大震災を機  
会に日本国籍を取得し、残りの人生を日本で過ご  
すといふ彼に「日本は政治にも経済にも行き詰  
つてしまっています。いま何が必要ですか?」と問いか  
れて良さは日本人そのもの。そして日本文化です。  
そのことに自信を持つて世界の人々とつきあ  
つてほしい。少し目頭が熱くなりました。

テレビマンとして、またボランティアとして開  
拓をN.Y.で確立し、今や様々な資本がラーメン

店経営に参入する「N.Y.ラーメン戦争」の様相  
を呈しています。どの成功例にも共通するのは、  
本の良さ」を海外での競争力として最大限発揮  
するところですが、今こそ求められている感があります。  
また昨年は日本欧ともにリーマンショック  
後の回復基調から、一転してネガティブなベクトルで激動する年となりました。歐州の債務危  
機、初の米国債格下げ、そして東日本大震災など  
新興国の成長減速も含め先行きを不透明感が漂います。  
どうした中で日々ニュース製作に携わる者  
として感じるのは、アメリカ経済の底堅さです。  
行き場を求める世界マネーは再度N.Y.市場に  
回帰しつつあります。アメリカ発の新規ビジネス  
スを取材するにつけ、この国の進取の気性、起  
業家精神がしたたかに復活していることでも実

## わが回想記

アメリカ人気質

(一九八一年三月十六日記)

早稲田大学名誉教授

堀江 忠男

ひどくイララしていた。自分で照れくさかつたとみて、  
「イララしてもはじまらないんだが、アメリカ人に  
は斐ア(公正)でない」という感情論を燃や  
くらう性分だから、昨年の対日貿易赤字百  
八十億ドル、失業者数は九百五十万人になり、  
レーガン大統領の経済のカジ取りは安心できな  
い。こんな不満と不安が秋の中間選挙を控え「日  
本は斐ア(公正)でない」という感想論を燃  
え立たせているようだ。

「日本は米国の大統領の対日輸出を數十億ドル増やす具  
体策を六月初めまでに示すべきだ。それができ  
なければガット(関税貿易一般協定)に抗訴す  
る。」といきまた。だがガットは自由貿易維持・推  
進のための国際機関だ。ダニエル事務局長は、  
いまの米国の焦りムードには合うのかも知れ  
ない。だが秋になつて選挙でも済めば、空氣は  
一変して徳川家康の処世論あたりがベストセラ  
ーとなるかも知れない。その一節を予めアメリ  
カ人に捧げておく。

「堪忍(Patience)は無事長久の基、勝つこと  
を知りて負ぐるを知らざれば善その身にいた  
る。及ばざるは過ぎたるより勝れり。」

米国のあるホテルに泊まつた日本人の一行為  
かかった。フロントに文句を言つたら「それなら  
バスを頼んだら、バスは来たが運転手つきでな  
い。バスと運転手を頼むとなぜいわなかつたのだ  
う國柄だから、的確な反論を正々堂々と展開し  
ておくべきだらう。

（一九八一年三月十六日記）

日本機の羽田空港着陸失敗、フィリピン機の  
パイロットの不時着が続けて起きた。ことに日  
航機の方は、死者二十四人、重軽傷百五十人の  
大惨事だった。

敵を斬りふせる時は一度と起てないようによ  
れただとのこと。無用のこととはいさいまするが  
訊が、「経営者の指針」として十二万部も売  
れてこれまで最近米国で宮本武蔵『五輪書』の英  
語を軽食されたといふ話がある。そういう  
バスを頼んだら、バスは来たが運転手つきでな  
い。バスと運転手を頼むとなぜいわなかつたのだ  
とかつた。バスを頼んだら、バスは来たが運転手つきでな  
い。バスと運転手を頼むとなぜいわなかつたのだ  
う國柄だから、的確な反論を正々堂々と展開し  
ておくべきだらう。



「目のドアの鍵をかけ忘れていたんです！」私は一瞬ぞっとしたが、彼女の顔も青ざめている。一番目のドアが開いたら、私は墜落、いや気圧の急変で飛行機自体が墜落したかも知れない。た。「一度目は一九七六年七月、ニューヨークからリオネンバイロ行きの米国機に乗ったときだ。空港出発後、一時間余り経つたとき、「エジンジャー不調でニューヨークへ引き返す。」と機長のアナウンスがあった。

「それを開けたら飛行機の外です！私が一番走ってきて私をドアから引きもどしました。つまり突いたりしていい。突然スチュワーデスがまた一つドアがある。それが開きにくくて押しちで、ブタ。ストカラウインへ向かった。途中、数日後、ハノガリ航空の小さなプロペラ機がありぬけた。

「それを見て私はドアから引きもどしました。突然スチュワーデスが開きにくくして押しちで、ブタ。ストカラウインへ向かっていった。途中、数日後、ハノガリ航空の小さなプロペラ機は眼をつぶりたい気持ちだったが、無事に山をつづアルプスの傾斜にそって機が急上昇したとき事故が相次いで、いやす気分だった。

「一回目は一九六六年五月、ヨーロッパにいたときだ。エジプト機が北アフリカで墜落、スイスでエール・スイス機が山腹に衝突した、と事があるのだ。

「七十七回だらう。それでも一度ヒヤリとしたことが戦後、飛行機旅行をした回数はせいぜい六、七回だらう。それでも一度ヒヤリとしたことがあるのだ。

すれば、飛行機に乗つて死ぬ確率は非常に小さい。会社にはぜひ事故の絶滅を期してもらいたいが航空会社にはせひ安心できるものではない。航空の多い着陸のときには、心のなかで無事を祈ることの性質上、確率ゼロはありえない。こんな感じ飛行機に乗るとときにも、いちばん事故が多い対策で、あとは運を天に任せることはかなう。

「酸素マスクの使い方の説明をまじめに聞き、脱出口を確かめておく。個人としてはこれがせんじで、上空ではスチュワーデスの救命胴衣の着け率の多い着陸のときには、心のなかで無事を祈ることの性質上、確率ゼロはありえない。

だが、それで安心できるものではない。航空

い。されば、飛行機に乗つて死ぬ確率は非常に小さ

皆さん、  
貴社の「ダイバーシティ・セレブレーション」イベントにいらっしゃって参加させて頂き心から  
感謝いたしました。  
カ人の言動の裏にあるものは?」の探求により  
つかれて生きてきた人生体験談をこの様な舞  
台でお話しある機会に恵まれ、私がどれほど光  
栄に思つてゐるか、は到底言葉では言い表すこ  
とは出来ません。

貴社のコンファレンスのテーマ「Diversity  
Celebration」は私の好奇心をかき立てます。  
私はとにかく「自然の法則」と信じ、支持する者  
です。私は自然界から多く学びました。生きと  
し生けるもの——人間を含め、花も鳥も魚もも  
う個としてどれひとつ「同じ」ものはありません。  
エテイ」を意味します。そして私は心底「バラ  
イにとつて「ダイバーシティ」とは「バイ

スピーチとして備わった生きる為の能力も  
個としてどれひとつ「同じ」ものはありません。  
たがるので、和訳してみました。  
これは先日アメリカで、米大手企業が「日本  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
す。日本の友人たちが「何を話した」のか知り  
たがるのですが、和訳してみました。

これは「先日アメリカで、米大手企業が「日本  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
すから私は政治のあり方としてのデモクラ  
シーの支持者です。デモクラシーは、あらゆ  
る人間——それぞれ異なる見解、意見、希望、  
習慣に基づくやり方を固執する人々——が  
参加するシステムですから混迷(messy)など  
に実施されれば、私達の生活を豊かにし、個人  
としても社会としても円熟に成長するこことを  
可能とする制度だと思います。  
日常生活から例をあげてみましょう。  
私の父と兄は背広を着て、朝通勤先に出  
かけました。でも夜帰宅すると、着物に着替え  
たりラックするのが常でした。  
ひとりで人生といふ人間の旅路で、三段階からなる体験  
をじる体験談の話です。  
かいつまんで、人間としての、そしてコミュニケーション  
をさせていく、私の人生体験の話となります。  
してきました。  
私は永年、同胞の日本人に、異文化の人達と  
付き合う時、より良きコミュニケーションの為  
に、そしてより良き相互理解をもたらす為に、  
「頭の中」でも和洋折衷を心掛けていると獎勵  
されましたが、人生の旅路で、三段階からなる体験  
をじる体験談の話です。

私は日本人は、西洋料理ならナイフとフォークを、  
中国料理や和食ならお箸を使います。  
これが「和洋折衷」です。西と東の生活様式  
を、料理だけではなく、衣類、家具、建築などの  
分野で実施して、生活を便利で豊かにしている  
わけです。  
私は永年、同胞の日本人に、異文化の人達と  
付き合う時、より良きコミュニケーションの為  
に、そしてより良き相互理解をもたらす為に、  
「頭の中」でも和洋折衷を心掛けていると獎勵  
されましたが、人生の旅路で、三段階からなる体験  
をじる体験談の話です。

日本では、フレンチ、イタリアン、中国メ  
キシカン、モンゴリアン、そして勿論アメリカ  
ンと、ありとあらゆる世界のお料理をエスジヨ  
カけました。でも夜帰宅すると、着物に着替え  
たりラックするのが常でした。  
日常生活から例をあげてみましょう。  
ひとりで人生といふ人間の旅路で、三段階からなる体験  
をじる体験談の話です。  
かいつまんで、人間としての、そしてコミュニケーション  
をさせていく、私の人生体験の話となります。  
してきました。  
私は永年、同胞の日本人に、異文化の人達と  
付き合う時、より良きコミュニケーションの為  
に、そしてより良き相互理解をもたらす為に、  
「頭の中」でも和洋折衷を心掛けていると獎勵  
されましたが、人生の旅路で、三段階からなる体験  
をじる体験談の話です。

サステナブルリーンショーシップ

ラムコ岩本  
(米国ジヤーナリスト)

サステナブルリーンショーシップ

これは先日アメリカで、米大手企業が「日本  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
す。日本の友人たちが「何を話した」のか知り  
たがるので、和訳してみました。  
スピーチは、「人間関係を維持するには」、  
テーマの「サステナブル・リーンショーシップ」  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
す。日本の友人たちが「何を話した」のか知り  
たがるので、和訳してみました。

スピーチは、「人間関係を維持するには」、  
テーマの「サステナブル・リーンショーシップ」  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
す。日本の友人たちが「何を話した」のか知り  
たがるので、和訳してみました。

スピーチは、「人間関係を維持するには」、  
テーマの「サステナブル・リーンショーシップ」  
をテーマにしたイベントを催した際、キーノー  
ト・スピーカー(基調講演者)の大役をお任せ  
つけた私がしたスピーチです。二〇〇人はど  
の出席者はアメリカ人ですから、勿論英語で  
す。日本の友人たちが「何を話した」のか知り  
たがるので、和訳してみました。

1. アメリカでの留学学生時代

次代の日本を背負うことになる若者だった私は、「これから日本はどうなるのだろうか?」と悩み心配しました。繰り返しその事を質問していた或る日、世界は一つに分かれること自由圏とソビエトを長とする国家統制主義圏に一と閃きました。それで当然のこと、「日本はどちらに就くだらうか?」と自問したら、答えは「勿論、自由圏!」でした。

でも、どうやって、アメリカに行へといが出うになるのは・・・?  
どちらや、となつた。アメリカに行つて、彼らの思考の流れで、ならば、アメリカに行かしたら、この答えも明瞭で、「出来ない!」  
でも日本は自由圏の長である「アメリカ」とコニクートできるだらうか?」と次ぎに自問  
とコニクートでしるなればならない・・・。そうすれば、将来、両者の意思疎通に少しでも貢献出来るよ  
うになれるのは・・・?  
大変なショックを受けたに違いない父だったが、「これまで独りでやつたRankoは行く権利がある」と祝福してくれた。

心の重荷となりません。ですからどうぞ、私の門  
くの教会――の要請に応え「日本」について  
スピーチをしました。正直のところ嫌々でした。  
それので、それよりは、どう理由からでした。  
他の諸国からの留学生も、彼らの国について  
話を来て欲しいと要請された。でも、時間がな  
いと断るケースが多かつたようです。彼らは断  
り上手だった。私達留学生は宿題をこなすとい  
や生活費稼ぎで、それは疲れていたのです。  
私は「貸す学生で、疲れ果てました。睡眠

時間は三時間や良くて五時間というスケジュ  
ーと、私は初めて親に逆らうことになりました。駄目と言われる  
ことを知らせる手紙を渡しました。駄目とは、「今まで私は親の言いつけに逆らわぬ良  
い子でした。あと一週間で日本を出ます。駄目  
社で詠んで下さい」と朝、彼に、初めて留学の  
横浜から一週間に出来たとつて、父に「会」  
で乗り越え、六ヶ月後、愈々出発となつた。  
航費も米大学の手続きも船の予約も――渡  
航全く奇跡的に次々と現れる難関を――渡  
りにはいかか・・・。  
式に道は開ける筈だ。そのことの実験にもなる  
にになつてゐるなら、「叩きあ、さらば開かれんと  
にした。若し本当に自分がアメリカに行くこと  
それで、父には内緒で、全て自分でやるとい  
んでもない!  
か。つい最近まで敵国だったアメリカに?と  
つた。「駄目!」と即答されるのが解つていて  
来るだろ?か? 父に相談するにいはしなか  
れました。若し本当に自分がアメリカに行くこと  
にした。それで、父には内緒で、全て自分でやるとい  
んでもない!

しめた。  
境内に混乱していました。心理的不安も相当で  
で全てが破壊された日本では、食料危機でお米  
戦後の日本社会は混沌としていました。戦争  
するに比、と思つたからです。  
異なるアメリカの若者達が体験するにとどめ共に  
果的アプローチは、将来この国を背負つことに  
アメリカ人の考え方・やり方を知る最も効  
年昭和二十二年でした。  
留学生としてアメリカに来たのは一九五六

## 1. 留学生時代

### CIO時代

3. 独立してRANKO International社の

2. 米大手広報エージェンシーに勤め、日米

摩擦(貿易、経済、文化)に関与した時代

3. 独立してRANKO International社の

2. 米大手広報エージェンシーに勤め、日米

エージェンシー、ルーダー＆フィン社 広報業  
といふわけで、私はこのニューヨークの広報  
人間を探していくところ、と説明しました。  
リースを書いたり、日本メディアと対でくる  
え、日本とアメリカの両方を熟知し、英文でリ  
日本館の広報をするにとになつた、など付け加  
九六五年に開催されるニューヨーク世界博の一  
だ、と私は告げました。さらに一九六四年の一  
ン論、「日本人の微笑の裏にあるもの」を読ん  
誌に掲載された、異文化間のコミュニケーション  
宿題で書いた、そしてForeign Service Journal  
アに売り込む「将来のジャーナリストとしての  
彼は早口で、私が院生時代に「書いてメディア  
ここで、帰国準備中でした。

リズムを専攻し、一九六三年六月に卒業したと  
たことが、私の入社の切っ掛けとなりました。  
時上席副社長がニューヨークから電話してき  
かれて、私はスントン大学の大学院でジャーナ  
かれた。恥を避けてその場しのぎのい加減な  
正に「Defining Moment」(定義する瞬間)右か  
左か、自己の正体がはつきりする分かれ目  
のビジネスマン達の集会でした。英語で言うと  
あります。日本についてです。五〇人はど  
ある時、壇上の私が質問に答えられないこと  
つたと思います。

に祖國「日本」について無知であるか、を身に  
達が如何に相互にことを知らないか、を知る切  
その理由は、「質疑応答」(Q&A)で、私  
といふことです。

たが、今振り返って思うのは、やつて良かった  
と嫌々ながらも引き受けたスピーチ活動でし  
いいるのだ」と長たらしい説教をされるよりは、  
人々があなたの国のことを探りたいと言つて

され、ついで結果的にいつと十四年過すことに  
エジエンシーにとつて、初めての外国人として雇用  
促進のために初めて雇つたアメリカの広報エジ  
日本政府筋が海外で日本の輸出とビジネス  
2. 大手広報エージェンシー時代

仲良くならぬいほうはないと思ひます。  
「自己」と一緒にです。そういう「自己」と最も  
己のペスト・フレンドにななる努力となりまし  
ます。私達は生まれた時から死ぬ時まで、常に  
「自己」を大事にするは、置き換えると「自  
をおいてつて下さい」と付け足しました。  
しかしこれを後日お送りしましたから名刺  
する方を選んだことになります。  
とを白状する「と」を選びました。自己を大事に  
か。。。の決断を強いらされた私は、知らないう  
を明記した宣誓書にサインしなければならな  
海外で換金用に高価なもの迷つて貰わない  
「どんなに困つても親に送金をして貰わない。  
更に日本銀行でテストがあり、パスすると  
精一杯、とお役人さんが説明しました。  
留学をしたい学生に回す外貨はなく、二〇ドルが  
生産したものを海外で売らねば生きていかれ  
しで、先ず産業向け原料を輸入せねばならない。  
しない理由は、戦争に負けた日本は経済立て直  
つた。外貨制限で二〇ドルしか持ち出しを許可  
trade to live】(輸出せねば生きられず)だ  
でした。日本の当時のモットーは、「We have to  
ドル(当時の一万八〇〇円)新卒の月給のみ  
府が私達私学生に持ち出しを許したのは、三〇  
一ルでした。留学した一九五六年当時、日本政

「あなた達留学生は小さな『大使』である。  
かつた。

と明記した宣誓書にサインしなければならな  
海外で換金用に高価なもの迷つて貰わない  
「どんなに困つても親に送金をして貰わない。  
更に日本銀行でテストがあり、パスすると  
精一杯、とお役人さんが説明しました。  
留学をしたい学生に回す外貨はなく、二〇ドルが  
生産したものを海外で売らねば生きていかれ  
しで、先ず産業向け原料を輸入せねばならない。  
しない理由は、戦争に負けた日本は経済立て直  
つた。外貨制限で二〇ドルしか持ち出しを許可  
trade to live】(輸出せねば生きられず)だ  
でした。日本の当時のモットーは、「We have to  
ドル(当時の一万八〇〇円)新卒の月給のみ  
府が私達私学生に持ち出しを許したのは、三〇  
一ルでした。留学した一九五六年当時、日本政

いモデルになる」とよりも、「生き残る」為了をこの個人的「行動基準」は、日本人として良いなりましょう。

リカでもなく、日米間の理解の架け橋つくりと、自分の忠誠のタグツトは、日本でもアメリカのミシヨンに専念する、を具体的に言う人間の煩惱や社会のしがらみを取り取つてます。

思付いたのは、自然の成り行きだった気がします。自分で課す「行動基準」を作成することを溢れる家庭で育ちましたから、数年後アメリカとは出来ませんでした。でも、武士道の文化がな様子で、どんな言動をするか、を自ら知る歳頃他界したので、私は生きたサムライがどんどん大きくなりたいでした。でも祖父は私が三代で、祖父はサムライでした。でも祖父は私が三代たまたま私は家系的に、十一代目か十二代目日々研鑽努力をするといです。

高いレベルを目指して、武であれ学であれ忠誠を基礎とし、個人的には、人間としてより

「武士道」は、マスター（主人公）への完全なことが必要と信じて作成した行動基準でした。或る意味では「武士道」と大変似ています。悩ぶどの各種しがらみを取り取り、「自由」と作りである。それに専念する為には、人間の煩愁の為、自由に行き来できる架け橋——互恩の為、解の架け橋——両者が尊敬の念を持つて相成しました。基本的にそれは、「透明」になして生き抜く為の、自分向け「行動基準」をというわけで、良い日本人モデルとなる為のだ。。。

立派なモデルにならなければならぬの的に大変だ！となつた。私は日本・日本人のどちらもわけです。といまで考えてきて、気分意見の良し悪しを左右する「モデル」（見本）は以後の彼らの「日本」に関する意識、見解や「生きた日本人」でしょ。といふことは、私は

アメリカ人にとつて、自分は多く初めて出会う（）のエージェンシーで働く約四〇〇人のア段はコニニケーション、と定義しました。

象としての良い関係づくりで、そのツール手書こう広報とは？」は、自分以外の全ての人を対

す。すると、「サバイブ」（生き残り）する為です。

だ。何の為の武装か？「ハフオーム」（実行を誕生させ、それで武装する）になりました。

自分に課すべき「行動基準」（Code of Behavior）として自分流の広報とは？」の結論に達し、

その意味するところを中心的に色々考えました。が始めて雇つた外国人であり、日本人でした。

先に申ましたが、私はこのエージェンシーとは何か」、そして「そのやり方は？」です。

「何が何で」「自分に出来る」と、やるべきことは、私に色々考える」とを強制しました。この、学生からプロの社会人への立場の急変

の不安感でした。

で「お金を払って貰つ」ことになる。。。からでしたが、これからは、自分のサービスに対し、今まで「学费を払つて教えて貰う」学生や、と初めて眞面目に考えだしたからです。また。漠然としか知らないかった「広報」とは何ぞ九月が近づくにつれ、不安感がつのつてしましました。さすがで、学生気分が抜けぬ能天氣な私でしたが、更し、九月から出勤と話が決まりました。

こうしてあつという間に私の帰国予定は変わつたわけでした。 分となり、「Why not」（いいじやない）などから東京に帰る道程にあるニユーヨークなのですが、もう一つの理由は、このエージェンシーをやりながら学ぶチャンスと思つたからです。ボストンのやつ方を学べるし、広報という新分野のこになつたのです。理由は、アメリカ流ビジネス界で成長率最高、サインズ四位（）に入社すること

したシステムになつてからほんとに構えて  
がらなくとも、給料は同じだったのだが、どう  
以前は無愛想な応対をしていたも、売上が上  
多い。

いうのは、いつ社員を募集しているどが  
けである。新聞の求人欄で「マネキン募集」と  
個人の売上成績に応じて給料が支払われるわ  
歩合給のところが増えていくようだ。いやゆる  
最近、デパートや大手のスーパーなどでも、

問題は単純になる  
相手の目的をつかめば、

## 井浦 康之

### 物事、難しいことはない

だから私は、どちらに味方すれば自分の為に  
と解らせよ。あなたの給料を払っているのは誰  
日本人だから、我々の立場が解る筈だ』(味方  
兼ねない。両者からです。日本側は「あなたは  
戦場さながらの職場で、私は人つ裂きになり  
わけですから、これはただ事ではありません。  
ネスの促進をアメリカのエージェントがする  
国際舞台で、日本の輸出貿易と各種分野のビ  
ジネスのやり合いながら、これまで複雑極まりない  
や信念、やり方、重視する関心事——などが  
の対極的に異なる文化——コセンブト、意見  
込めて」と意識していただけます。ひとつ  
働くべくは、「ウオーソー」(戦場)に踏み  
イエントとするアメリカのエージェントで  
重視していた様です。日本の政府や官庁をクラ

(くらう)  
た。  
それまでに積み上げた体験と能力を両者間の  
一として、そして上席副社長になつていた私は、  
摩擦を減らすことに生かしたからでした。  
するどいつも、時には「貿易戦争」の模様を呈  
つた理由は、日米間の貿易・経済摩擦、改善  
入社当時の予定「二年間滞在」が十四年とな  
ったからです。ジャパン・ディスクのディレクタ  
ーとして、そして上席副社長になつていた私は、  
どちらかから、時には「貿易戦争」の模様を呈  
現したこと、と意識していましたからです。ひとつ  
のでした。

け橋うへりのシシヨンに徹することにした  
日本でもアメリカでもなく、ただただ理解の架  
なる(自益となる)判断思考を破棄し、忠誠は

つています。それに他のデザイナードと流行にな  
るものですから、少々流行遅れといつてた  
お品は、デザイナーのOOさんか、昨年出した  
デザイナをしてたのは、あのOOさんで、ほかで  
たとえば、「このお品は、お高いですか？」  
る。あるいは、高くても一点のものでなければ客  
即座につかむことができるといふがでける人間  
えば、もちろん、客の求めているものを的確に、  
客に評判のいい店員とはどういう人間かと言  
わる。

といつた悪評は、人から人にあつと言ふ間に伝  
ならないものである。「あいは感じが悪い」  
である。特に女性客の口コロビラの馬鹿に  
ばかりはいられない。客の側も店員を選ぶから

くないといつておれば、その希望を認めました。それは、出世をしなくてもいかにから転勤はした。されど、会社での進路を選ばせると転勤を作った。最近、松下電器が、本人に自分の目的を決めていたのである。

かかるにいた。だから自分の人生の標準をそなへる。彼は自分の求めめるものが何なのかがよくわかった。地位を得ようなどとは考えていらないのである。彼は、何よりも野良仕事が好きだから、それで金を売つて、どこで転勤しよう、そしてお金を稼ぐわけだ。

くる、転勤があると、野良仕事ができなくなると欲のない人だと思つたのだが、よく聞く聞いてみるとわけがわかった。彼は、広い田んぼで地位も名譽もお金もいらなくはないけれど、い、課長職といふ名譽もほしくないと言つのだ。していくから、少しばかりの課長手当でいいんだと言う。今まで、給料はなんだか上がつ

相手の目的がどこにあるのかをつかめば、難である。でももなるといつう気持ちでしまつたのをつかんで、夢をかきたてて、お金なんか目的にしてしまつたのである。見事に相手の目的こゝ湖と山を強調するやうりとりが何回か続いたら湖も高いよ」「でも、湖と山があります」と、湖と山がありませ「したしかに、でにはいけません」。といふ客に、「さうですか」と、口に言つただけ。価格のことは、喰くよつて買つてしまえば、なんとかなるもあつたりと高いといふと認めた彼は、その後、いかに買えないといつう結論になつてしまつ。高いでは客は、値段が高いうちはかりに気をとります。多分は勉強をするといふ言ひた

聞いてみると、彼は課長になりたくないのだら平社員のままでいるのだとと思えないと。言動もきちんととしていて、能力がいいからなつていていいのではなくいかと思える人が社員の中に混じつて、どう見ても課長ぐらに演会に行つたときのことだった。大勢の若い平單純になり、迷いのない人生を送るといふができます。たとえば、数年前、NTTの職員対象の講演は何なのかが、的確にわかっていると、問題は自分が生きていへ上でも、自分のしたいこと

難問も簡単になる。自分の人生をじうじいのか考へると

いることを印象づけるだけ。どの店員のやり方でいけば、相手の目的としてそれさえつかめば、ひとは簡単である。さしづかがつていて、お金のかなが、お金を欲しがつていて、お金のかなが、相手が何を聞きはじめてやへなるのである。相手が何

下手なセールスマンはすべに価格の交渉にはだけじ高いのではなく、「か」と言つてある。ただけで山の見えるところがいいといつうで、客はすかに氣に入つて価格を聞いた。要はどおりの物件が見つかったといつうだった。要は山の見えるところがいいといつうだが、客に別荘を売つとした。客の要望は、マサが、これまである。アメリカのあるセールスでられない結果になる。

方をするのである。これが逆にぶついたら目も当てられない。言つまでもなく、値段を気にしない客ではある。言つまでもなく、結論めいた話が印象づけられるからではなく、相手の言つてことを全部聞いているわけ止め方は全然違う。

買い物だと思います」と言つたのは、客の受け止めるところでありませんから、お得な關係なく、永く間着られますが、一年で着られ

マラソンの瀬古選手が、自分のマラソン人生に疑問を感じて悩んでいたとき、コーチだった中村監督が、桜の花にたとえて彼を励ましたといふ話がある。桜の花は、毎年入学式のころになると、満開に花を咲かせる。桜の下での入学式はだれの胸にも懐かしい思い出として残っている。人々は、そのときだけは桜の花をめで、花見酒に浮かれているといるものもあるからだ。元で暮らしたいといふ理由で、出世よりも、地元で暮らしたいといふ理由で、出世よりも、中村監督は、人が見ていよいといまいと、自分で精神をよく用意していることがわかるはずだ。

企業がこれから増えていくのではないかのだろうで、それに沿った遇し方をしようとしている企業で、元で暮らしたいといふ社員はいるはずだ。そういふ意味で、社員が何を求めているかをつかんでもういい。企業が病身だとかいう理由で、出世よりも、中村監督は、馬鹿にしても同じことが言えると言つ一杯花を咲かせようとしているのである。中村監督は、馬鹿が見ていよいといまいと、自分で精神をよく用意していることがわかるはずだ。

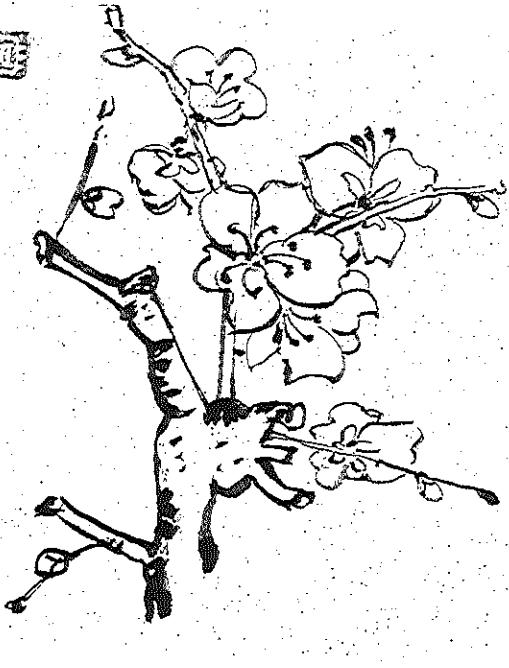
なんばれ「とか」精神力をもつときたえろ、きみにはそれがあが足りないのだ」「などといふ言い方をすると、説教臭くもなるし、使つ言葉も厳しくなる。それを、花にたどるとして、中村監督によれば「精神力をもつときたえろ、きみにはそれがあが足りないのだ」といふことだ。

物事の本質は、それが何であれ変わらないものである。前項目で例に挙げた「チャレンジ」の庭師にも同じことが言える。彼は、経済のけ統領にしていてるのである。庭師として得た深い知識は、経済にも一脈通じるものがあつたからである。だから、造園術にてえた話を生きただけだ。

生きるからだらう。植木屋は、植木屋の仕事に"本質は変わらない"という原理が、何にでもいわれるといふ自信が持てるといつのは、このひとつひどいので、プロの域に達すれば、何で

ば、記録をもつとじめらるといじがでまることと言つたのである。これが、「あと少し頑張れ」と言ふ。そこから、見えてくるものがあるいはするために、自分の花を咲かせるといふのを考える。そこで、自分の花を咲かせるといふのを考努力をしてみたらいい。誰のためにもないうつらう。それならば、桜の花のように精一杯の花をしてみたいといふ。見てもらいたいといふ。君たつて人にとってマラソンをやつていて思つてはいけない。君たつて人にとって咲いているわけではない。君たつて人にとって咲くとも、人に見てもらいたい

生懸命練習をし、走らなければならぬ。」のなのだと言つた。花を咲かせるためには、必ず花を咲かせる準備をしないように、マラソンも人知れせる準備をしていて、花を咲かせる准备をしていて、花を咲かせる准备をしていては、何にしたり、記録を意識して萎縮していくは、何で瀬古選手を励ました。人が見ていふことを気



作品 関根常雄

そのとき、花をたてて、その母親を説得した。子どもの中、おもいからうな子どもがいる。勉強できることもある。みんなが花の話をするとき、花の大きいもの、花の大好きな子などすらも、もし、子供がみんな、チヨーリップだとすると、つづつたら、優劣はつけられられない。しかし、違う花だけつづつたら、優劣はつけられられるかもしれない。しかし、違う花だけつづつたら、優劣はつけられられない。だから、花の大きいもの、花の大好きな子などすらも、もし、子供がみんな、チヨーリップだとすると、花に咲いているからである。

私が「とにかく言い方をする。それも、たとえ話と同じで、難しいことをやさしく表現し、單純化するための方便と言えるのではないか」というふうである。

私が、営業マンを相手に講演をするときによく、「私は、よく『平たく言えば』とか『早い花にたとえると言えば、花園監督とは違う意味で、相手を納得させた人がいる。心理セラピストとして、多くの問題児を相手に活躍している人だが、あるとき、勉強できないわが子の言葉には、顧客のところを訪ねたときなどに、相手の言いつどを鵜呑みにしてはいけないといふ」というふうである。なぜそういうことを言つのか、

この大切さを言つための最適の例だと思つ。違う。それも、視点を変えてるものを見つけることもある。右と左では、全然見えるものが違う。違う方角を見なさいなどといつては、あるいは、電車に乗つたら、行きと帰りではよりわからずへなること思つのである。よく話をするわけだ。すつといつて、問題を聞くときは、一步退いて、真正面からだけではなく、裏面から覗くことでも大事であるといつて、言つていいのかもしれない。だから相手の話を聞くときは、このボタンの中のどれかを押してくれてみると、数字のボタンがついていて。まず裏面を見せて、はじめてから見つめるといつて、手もとに携帯電話を持っていたら、それを見せるわけだ。そういうときには、「早い話が」と身近なわかるなんど、あまり対応ができないからだ。本当に言つたいことは何なのかといふことを

ことを嘆く母親に会つた。常業マンにならぬのはないだらうか。植木屋が常業の仕事をしとしても一級の年に余裕も出て、楽しくなる。そして、それに合った松だなどと考えれば、それだけ気持ちいいところがりのところがあるから、枝の曲がりくねつた切り口も思いつくといつてある。だから、植木屋が常業の仕事をしとつても、中村監督とは違う意匠を咲く母親に会つた。

それは、ほかのひとたとえば、人の上に立つよくななどと、常業で顧客を回らなければならぬといふなどと、常業で使えるのだ。植木にたとえれば、この人はまだなにとも使えるのだ。植木にたとえれば、なにともつかないから、花園監督だからこそ気持ちはつた松だなどと考えれば、それだけ気持ちいいことを知つていい。

を一本切るにも、その木にあつた切り方があるなら何でもわかつていいといつて自食がある。木誇りを持って取り組んでいたから、植木の

女子高生バレーランタインの日の多弁

そのむかし鳥海山目指し白鳥来

緑子

鳥海山や海にはみ出る雪の裾

寒林の山なみ望みつ下山かな

○五百羅漢明けて五百の雪達磨

年の瀬の夕餉たのしや幼き日

素粒子の如き雪来る宇宙かな

月冴えて空に駆走を感じけり

葱煙殿にハーレーダビットソン

歳の瀬の斜陽の山なみわびしかり

冬銀河戦なくなる時来るや

剣太郎

みかん狩りふるさとへ行く口実に

春雷は雲の広場に遊びをり

○入日映ゆ希望に燃ゆる初冠雪

水温む遊びごころの途中下車

ヘルベル

たんばばや大切の渡しビルの影

春の雪ロマン・ロランを読み返し

神官の鳥帽子を飛ばし春一番

豆まきにあとから声をかける妻

○晚鐘の大和畦焼く煙かな

○独楽の紐解きて自由を知る身かな

○永住を決めし一人の農具市

初夢や七福神の船に乗り

漁師小屋余寒の風のすする音

教会のイブは東北救援隊

早春や帰る木精の谷何処

錦らんの帯と袴の七五三

悟風

○東北の雪に再起の余震あり

三郎 春の虹孫の手をとり消ゆるまで

選者遠藤蘆穂

昭経俳壇

- 春限定銘菓のひたすら誇ひ言  
立ち往生吹雪く比叡の修業僧  
○芝を焼く烟りに浮かぶ法隆寺  
ひさかたの陸前高田よしまく雪  
植木市ひとり値切れば一人買ひ  
竹林の奥を手さぐり冬の月  
冒貴男○復興のすすまぬ被災地より賀状  
鴨川の音絶えがちや雪しぐれ  
宇治川を下る屋形の雪しぐれ  
寒修業根本中堂の僧裸  
菜の花や畠に浮かぶ桜島  
春の虹わたる噴煙桜島  
中・高生五人の孫の賀状手にどぐり  
鏡餅でんと構へし武家屋敷  
鉄橋に三日月冬の夜汽車かな  
笛鳴きに泊まる一夜の竹生かな  
○石井氏の武将の門や冬櫻  
一族の久しぶりなり雑煮膳  
一億の預金通帳副笑ひ  
短日や覓のしづく鳴りやまず  
千両や障子一つの侘住まひ  
○寒鮎のまなこ澄みたる夕陽かな  
畦を焼く烟舐めゆく野づらかな  
寒鮎の料理揃えし奥座敷

るさまは言語を絶するものにて地獄の様相なりて、一首々々を詠み通したり。火炎の、その惨憺なる和歌を、ふと無難作に本をめぐりたること三月十日の東京大空襲の無残なるさまを詠みた

きじこの上にしたと申しまつり候なり。  
しに、余は以て汗顔の至りに存じ、されどうされ  
一票投ぜしものと、甚だ惜しきかきり」と申され  
申すに「この一首汝が詠まれし和歌なれば師の  
り。会合にて推されし我が和歌を都筑師のちに  
同志の福井雅雄も浅見師かく申せしと云い伝え  
り、これを万葉調なりと賞讃せることは受けしに、  
和歌につきては授業ありし文芸論の浅見淵教授よ  
函館に向う途中にて詠みし歌なり。もとより我が  
早く函館に着く便なり。一首は船上にて青森より  
青函連絡船にて青森港を発ち夜を明かし、翌朝  
に覚えしなり。

かは学院の文芸雑誌に載りしこと、ほのかな記憶  
れ詠みしうたにて百首程ありけり。じうち幾つ

るを覚えたり。水を打ちたる静けさは、この時のみ  
ふが如きに、いよいよ内容濃厚にして妖艶の趣きあ  
にあらず、吟味するが如き口調にて宮の生活を追  
にはじかと源氏物語の手本を持ちたれど、心ここ  
との、雲の流れるさきを眺むるまじ、されど手  
てひみじく思ふときあり。風のそよぎを見るひと  
外を眺めつつ物語りなさるさま、いとじ身にしみ  
りげなく、わがいとのみに思ひみけりて時折窓の  
きじと覚ゆるごとたびたびなりし。都筑先生さ  
生の物語るをきかんとする風情にて、いとをかし  
がしき教室なれど皆口とざし耳をそばだて、先  
たりて特筆すべき内容なりき。都筑省吾先生の講

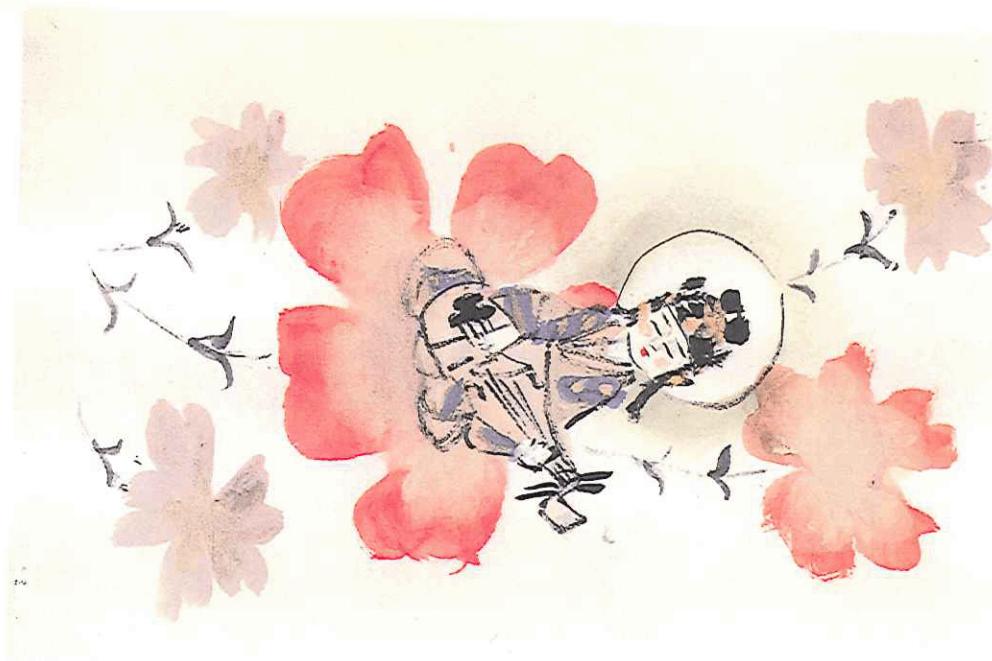
道道南地方を修学旅行といいて旅せるに、つれづ  
ひとふたりありけり。我が和歌は、その春、北海  
読みて味わひ吟味したり。我が和歌を推したる  
かるのち推されたる人の数の多き順に従ひて歌を  
かかる席にて茶、茶菓子などしたしなみたれば、し  
れなく覚えし。今は皆鬼籍に入りし人はかりなり。  
木村時雄先生などなど多彩な顔ぶれ居りしこと忘  
のころいまだ若き植田重雄先生、藤田赤一先生、  
たるに我よりもなへて上の多く見受けたり。こ  
選びてこれを評しあふものなりき。一堂を見回し  
歌を一首づつ出し合ひのち好みの歌を一首づつ  
席に同人ら十五、六名おりしに、それぞれ持ち  
ことあり。

み、師が居住せる文京区雑司が谷の庵に招かれし  
余は師の意を汲みとること能はずしてただ一度の  
木なる会に参加するを推められしに、未熟なる  
或る折、我是教授が主宰せる短歌同人誌「櫻の  
にて、あとは驛々しき時を多くすこせる思ひ出な  
りき。

格帶びたる都筑老教授の授業は、余にとりて満ち  
く覚ゆるぞかし。かかるありさまで、年高く風  
ぎしに雜木を透きぬけてきたる風またすがすがし  
蒸し暑き頃なれば、窓悉く開け放ちて暑さをしの  
りて寒きこと甚だしくも致しがたし。夏、矢鱈と  
冬、木造校舎のそじに隙間に寒風の吹き入  
く、畏敬すべき教師のひとりなり。

まざまに、余が学習の時代にありしこと思ひ出深  
されし講師なり。思ふに脳裏に往き来することと  
学生年の国文学の授業の折に源氏物語を読みて注釈  
生に接し給へり。我が家が高等学院在学中にて第三  
じに早稲田が誇る古典文学者、歌人の都筑省吾先  
われ早稲田中學より早稲田高等學院に入學侍り

あふせ東北の地を念じゆかひ  
翁心悲況にほんの秋寒色にすも



これが人なしたる所業と聞けば、以て人道に反たり。余が学院を終へ一十有余年のちに手にいたり。またま上石神井に移りし高等学院を訪ねしに、所要終へて教員室に立ち寄りし時のことと思ゆ。教員室に部筑省吾先生がをられし。恩師の遠藤嘉徳先生とも久しう会へしなり。本間武先生もあり得てそれぞれ懐かしきお姿に接し、にはかに会ひ得る車にて出向ければ夕方近くにかけて雪が降り出すに、じこと互ひに喜び盛んなりを覚ゆ。その日、私はみる見る積もる気配なりて、雪の中を帰らんとする都筑省吾先生を見つけて、不自由なるさまを助けんとて車に招きいれ、たやすきことと上石神井より文京区難波司が谷の宅に先生を送り給ひし。

三月十日東京大空襲のその時、父のみ東京浅草に事踏まへしに直ちに詠みしものなり。  
伏してり」と、戦火の火炎の中を逃げまどひしに「黒焦げの赤子のさきを黒焦げの母の姿の地にすることおびただしき。我も亦こころ觸れしままどまりて我らはかららの水戸に疎開しをれば、百余キロ離れたるとじろり、空の大半が真紅にそまるひに駆けのがれ、言間橋を渡り向島の中嶋神社にはよひのがれしに、火炎の長き舌は墨田の川面をはひ陸をなめ、熱風叩きつけ来て熱きじてからがたをのがれたし。まことに奇蹟の業なり。神ぼどけの救ひの手に授かりし身なりと、常々申しける。

その東京大空襲のありさまを詠みてうたひし歌のつづり「入日」は、師の佳作を収めたるものなに、雪しんしんと降りやまとざるを見、なほ激しくし、しばし歡談に花がさき時の過ぎるも覚え得じ茶、菓子などを出されしに余は遠慮なくこれをお食本を賜りし。それが『入日』なり。

炎

火に追はれ逃げ行く道にあひし爺遠く銃執る子の上を言ふ  
火となりし家棄て来れば明けそめし朝空に垂れ咲く櫻花  
火の中に一々夜ありしわれ櫻花咲く下に来てむすびをもらふ  
明るくも春の日の照り焼け残る電信棒の折れて火を噴ぐ  
これだけになりましたよと背の包み顧み老婆笑みて過ぎ行く  
如處に復ねむと來れば夕空に花咲き亂れ道の火を吐く  
照明弾高く漂ひ焼夷弾亂れ落落ち来る黄赤緑  
燒夷弾はら撒かれたり空おほひ火の亂れ降り笛鳴り騒ぐ  
火に追はれ逃げ出し入ら眞夜中のいの裏町を埋めひしめへ  
逃げ行くとひしめぐ入ら道を埋め炎の迫る頭の上に  
これの道行かば危しと再びを戻り來れる赤き火の中  
子を背負ひ火中來る入用水上駆け寄り水を背の子にあびす  
悲しくも火に圍まれし人々や駆け來駆け行く駆く駆け廻る  
火の中に包まれたりと知りし時あはれや我の胸さやき出づ  
嬉しくも見出でし木立下蔭に我が走せ寄れば梢火を噴ぐ

## 浅草と隅田川

後記隨想

佐々木誠吾

同期会などから最近よく誘いがかかる。お前さんが来ないと席が華式みたいになつた。それで出でては面白がれ込みで入らむとせぬ。時代は戦前戦後にわかつていていたので、毎日が空襲、空襲の連続で小学校を転々としていたので、宿にもう一泊して翌日あたりを限なく散策し、勉強らしい勉強は殆どしてこなかつた。みんな神的には随分厳えられてきていたと思つていい。飲まず食わずの日もあつたが、樂しい思い出ばかりである。とは言ひながら、その都度付き合つてゐる大変なのが、しかし今日付き合つてゐるといふ。思ひ出を手縫り寄せて帰つてくるといふが、富士小学校のクラブス会である。さすがに下町だ。一番達者に活動を続けて來ていいのが浅草である。

設げてにぎやかに行つといつになつていて。出席を務めて企画してくれるので感謝しているが、年に人情味があつて世話を焼く人が毎年幹事を務めたりする。富士小学校のクラブス会である。さすがに下町だ。一番達者に活動を続けて來ていいのが浅草である。宿には懐かしい思い出がたくさんあって、一泊旅行では飽き足らず仲間に誘われて近くの温泉会は震えてきたりする。そんなことをよく覚えていたり、ントボを追いかけて走りして遊んだ友達と会うのはうれしいが、あつた途端、お前は誰だが震つたけ、なんて聞い返されたりすると心臓の毛があった。メダカを捕つたり、カエルを捕まえたりしたりしたけど、ガキ大将にはそれなりの責任がない。ガキ大将になつて見たり、降ろされて

もえ狂ふ炎もえ去りぬ我が胸の炎もえ出でよ狂へもえ狂へ  
東京のなり行く果てを目に見むとひとりもの言ふ炎の中  
燒き盡し家悉く焼き拂へ失せ去りぬへき入ならんくに  
背負はれて壕に來し婆燈のともる中覗き込み這入らむとせぬ  
炎の中來て汽車に乗り空おほふ炎の中に降り立ちぬ  
幸じて火中に生きしは昨夜なりきこの眞夜中を火に迫はれ行く  
子を背負ひこと傳へ來し隣り家の刀自子と共にその夜焼かれぬ  
宿直より歸りて來れば昨夜の火に妻と子となしあの人がそれ  
妻と子と昨夜焼きし人避難民群れ坐す中に來り行き來す  
この町の防空壕に三百人の人の逃げ入り焼け死にぬ皆  
焼け果てひとつとなりし牛込臺眷日きらめき行く道長し  
生きたりと大き息つき炎え果てして街の中によろめき出でぬ  
炎去りよろめき立てば焼け死にて入じるがれりうしるにかたへに  
もえ狂ふ炎の中に立ちて諸手を上げて聲絞る人  
逃げおくれ炎の中に臥せる父子の狂ひ出で父を罵る  
刺子姿よれよれの薪火の中臥しものうげに我にもの言ふ  
こをもて炎ふせげと洗面器火中に賜ひ二入連れの少女  
火の中にひとつ立ちちたる石の扉下にかたまり人の腹這う

浅草復興には大きな力を注いでいた。その証にから雷神の仁王が收められていてる朱色の堂々たる正門である。通り抜けで行くと参道の左右に昔かつた松下さんのお宝蔵門今までの道のりに統い霧雨氣でその先の宝蔵門をくぐると仲見世通りに店を張つて商売をしている。今年は浅草三社祭の渡七百周年に当たり、一昨日には三基の神輿の渡御祭が隅田川で華麗に営まれた。この渡御祭と猿若町の町会長をしていた高坂さんについがそろつていて。高木新一郎君もそのひとりでドフロ会と云う名の集まりで、達者な連中である。ドフロ会を初めとして友達のことについでは後日語るとして戦前戦後の思い出の生活少しづれてみたいと思う。

私は大谷米太郎さんの魅力いっぱいを感じた。大谷米太郎と云う偉人にあえることで繋んにその大谷さんを紹介してもらつたことが重工業を以て巨万の富を築いた人物である。亦子供心に面白い印象を持つていて。戦後大谷テルニユ！オーダーの創立者であった。高坂さんによれば幸之助さんも浅草復興に大いに活躍した人であり、松下幸之助さんもこのことであつた。大谷さんも高坂さんも浅草復興に大きな犠牲を払つてわがふるさとも焼失せし達もいた。すべて三月十日の東京大空襲を逃れた。澄んだ水の隅田川では魚取りをして遊んだこともあった。川を泳ぎ渡つていく勇敢な友つた公園でトンボとりに興じたことを思い出された。小さな儀式を私つてわがふるさとも焼失せし田川で何万人も人が焼死体、溺死体で亡くなつて水戸に疎開する前の話である。無謀な戦争は自然の状態が続いたのである。淀んだきりどぶ川生じ、まさに死の川であつた。長い間、生活排水と、工場廃水が野放図に垂れ流されていてきて、政治に反映されてくるようになつた。大都市東京のその後の下水道の普及で、さらには荒川から綺麗な水を取水して浄化作市民の危機に対する意識は徐々に盛り上がるにつけてきた。高坂さんは当時猿若町の町会長もこれがある。高坂さんは案内されて大谷さんのお橋場の屋敷に赴いたことがある。一方で今も藤浪といふ歌舞伎、芸能の如いた。

社さまが建立された。

戦を試みたりしてその功も成し、半世紀以上を過ぎてようやく今のような状態に復帰することができた。空に高くそびえたつ東京スカイツリーカラーライトが朝日新聞の夕刊の一画面を飾つていた。まさに平成の復興を果たした新旧合体したカラーライトが、隅田川を下つていく二艘の船に三基の神輿が祀られていく姿が、重ね合わさりの感覚と、隅田川を下つていく二艘の船を映し出されていた。昨年は東北震災のため五月の浅草三社祭は開催が見送られたが、今は東北地方の力強い復興を祈願して、東京の下町浅草に再び豪華絢爛の三社祭りの時がめぐつてきたのである。

浅草觀光連盟の会長を務めた高坂公一さんには案内されて大谷さんのお橋場の屋敷に赴いたことある。高坂さんは当時猿若町の町会長もこれがある。一方で今も藤浪といふ歌舞伎、芸能の如いた。

かかる記憶があるが、町内の表通りでラジオ体操が毎朝あつて、早くいくと壇上に島本老先生が直立不動の姿勢でみんなが皆が集まつてくるのを待つてゐるのである。準備が整うとラジオ体操が始まると前に直立不動の姿勢を取つて皇居巡回を行するのである。小学校でもそうであった。全校生徒は授業が始まる前に校庭に集まつてから皇居巡回をして「天皇陛下に敬礼」と校長が言うと、皆がそれに従つて敬礼の姿勢を取つて野鼠を食ひながら生き延びて救出された小野田さんではないが、敬礼の姿勢は今まで手前で野鼠を食ひながら生き延びて救出された小野田さんではなないが、敬礼の姿勢は今はでも上手である。自衛隊の若造諸君にも負けないだらう。

がつた。憲兵登署と云つていたかと思う。こちがれてしまつくりいである。現行犯で射殺である。拾つて、近在の市川や練馬、杉並などから百姓が各家庭から糞尿を集めに来た際に、集めておいた馬の糞などを足してやると大根一本多くなります。下磨水のなかつた時、代だつたし、化學肥料のかつた時代で、人糞は家畜同様の大事な農作物の肥料だったのです。今いえは農作物の有機栽培だつたのである。しかし糞尿にある寄生虫が湧いて子供のころよく栽培に近い耕作だから昔のようないことはなく駆除剤を飲まされたことがあつた。今では清浄につき、体内に寄生虫が湧いて子供のころよくある。しかし糞尿にあります寄生虫がついて作物である。しかし糞尿にあります寄生虫がついて作物である。家庭はもとより教育の場から職場まで天皇中身となつた。国民総動員の号令下にあつたから、行列に参加しないものは國賊であり、凶わの心の皇國の荒廃の一戦にありで、徹底した洗脳を受け常に臨戦態勢で言論統制下にあつたのである。

國日本を掲げて大東亜共榮圏をぶち上げたまでは良かつたが、國アメリカを敵に回し、世界は良かつたが、皇國の皇軍はいいで、神理大臣をつとめ、東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。東条英機陸軍大臣が内閣總理大臣をつかつた。島本塾を開いていた教育に老侯の風貌を記憶しているが島本竜太郎とある。高坂さんの中に町会長をつとめた偉人前では落ち書き払つて人に聞かせる雄弁家だつた。私はそんなんどころに父を尊敬していく副会長として高坂さんの後は父がその職にいふつくことになつていて。だから父も多くの人の雄弁は人そのものであることが判る。父はと練磨、鍛錬されてきたものであつたのに違いないが、そればかりでなく長い修行の中でのずでもないし、雄弁術を中心得ていたのかもしれないが、高坂さんは父もそうであつたが、人前で挨拶をさせると役者のよくな風格を以てなべて当時の商人は父もそうであつたが、人前風格であつたことが今でも忘れられない。押して、挨拶をするときなどはどつりした立派なである。その高坂さんは長身白髪の紳士であつて、小道具を扱う老舗があるし、宮木太鼓店も健在者だつた。

て済んでいた。

戦場で使う武器の製造に事欠くようになつて進んでこれを申し出た。しまいには銅金の類まで余分なものも差し出すようになつた。隠匿を図るものがなかつた。男は常にゲートルを鉢巻姿であつた。敵軍に立ち向かうために槍突き活動しやすい服装だったし、女はもんぺ姿で防空演習には防空頭巾をかぶつた。防空訓練に従事して常に陸上の報告を流してB29が高度一万メートルの上空から親子焼夷弾を何百万発と投下して東京下町を火の海に化粧化し、バケツを持ち立ちらがつた国民党は、こんなあたりさまでから、東京大空襲にはみんなあつという間に焼け死んでしまつた。盾

B29から膨大な量の機銃掃射を受けたのである。巨大な長距離爆撃機B29はそうして日本軍の爆撃開始していつたのである。日を追つて戦況の悪化は目に見えていた。大本營発表は情報統制に徹して、国民党に対して常に陸上の報告を流していた。ついで竹やりを突き付けて叫んでみても気蓮かつて、B29に向かいじみていた。味方の小さな機影が雲を突いて敵機に向かって行くが途中で落ちてきてしまつて始末である。編隊を組んで悠然と飛んでいくB29から敵機に向かって飛んでいくB29に向かいじみていた。さすに済んだのである。気運い妄想の馬鹿な指導者に遭遇した国民党こそ天命とは言えめぐらしく落ちてくる焼夷弾の火炎に向かってバケツで水をかけてもむなしかつた。一度避難したはず途中で破裂している。すべてが駄目であつた。密集地に墜落、炎上している。対空砲火も届かない。誰もみしながらおつりつけて民家の東京大空襲と水戸の大空襲

ころう。誰もみしがらおつりつけて民家の東京大空襲と水戸の大空襲  
には一家が手をつなぎ合つて命からがら逃げ込みで助けられたのである。思えば、空襲警報、警戒警報の解除が出て一度避難したはずの戸の中 心地と思しき五軒小学校から突然轟音とともに大きな火柱が上がつた。巨体を以て何十機と云う敵機が昔もなく上空を旋回して爆撃の隙をうかがつていつたのである。なんといふ信じられないことだつた。五軒小学校に上がつた火の手は、瞬く上空を火の海と化した。同時に島の玉砕は聖戦を以て軍神化されだが、あの時隠伏していれば多くの多くの犠牲をもたらすは推して知るべしである。餓死寸前の体で重量砲火のなかに抜け出していったのである。アシルス戦に備えたものであることは言え、丸腰同様であつたから、補給を絶された外地の前線の苦闘があったが、息ができなかつた。無差別攻撃の最たるもので先から戻ってきて一休みした瞬間であつた。本土一方人の死者をだした大量虐殺であつた。本土原となつて累々たる焼死体で悪臭が充満して焼夷弾攻撃に見舞われ、東京下町は一面焼け野原の教育指導を以て千軍万馬の荒野に駆り立てられ、举句に大規模物量作戦によるアメリカの焼きができなかつた。大海に目葉である。国民党は虚偽で水をかけてもむなしかつた。二階から目葉どく落ちてくる焼夷弾の火炎に向かってバケツで水をかけてもむなしかつた。一度避難したはずの教育指導を以て千軍万馬の荒野に駆り立てられたが、これがあつという間に焼夷弾の火炎に向かってバケツで水をかけてもむなしかつた。

東京大空襲のときは水戸千波湖のそばにある洞窟で焼け死ぬことだけは免れ、水戸の焼夷弾攻撃には一家が手をつなぎ合つて命からがら逃げ込みで助けられたのである。思えば、空襲警報、警戒警報の解除が出て一度避難したはずの戸の中 心地と思しき五軒小学校から突然轟音とともに大きな火柱が上がつた。巨体を以て何十機と云う敵機が昔もなく上空を旋回して爆撃の隙をうかがつていつたのである。なんといふ信じられないことだつた。五軒小学校に上がつた火の手は、瞬く上空を火の海と化した。同時に島の玉砕は聖戦を以て軍神化されだが、あの時隠伏していれば多くの犠牲をもたらすは推して知るべしである。餓死寸前の体で重量砲火のなかに抜け出していったのである。アシルス戦に備えたものであることは言え、丸腰同様であつたから、補給を絶された外地の前線の苦闘があつたが、息ができなかつた。無差別攻撃の最たるもので先から戻ってきて一休みした瞬間であつた。本土一方人の死者をだした大量虐殺であつた。本土原となつて累々たる焼死体で悪臭が充満して焼夷弾攻撃に見舞われ、東京下町は一面焼け野原の教育指導を以て千軍万馬の荒野に駆り立てられたが、これがあつという間に焼夷弾の火炎に向かってバケツで水をかけてもむなしかつた。二階から目葉どく落ちてくる焼夷弾の火炎に向かってバケツで水をかけてもむなしかつた。

問題であった。それなのに戦局の見通しを誤つた

大資源国アメリカの軍門に下るのは時間の無能な指導者たち

で誘導されたもので軍国主義の恐ろしさを如実に示すものある。

上官から絶対的命令であり、洗脳と強制的な敵艦をめがけて体当たりを敢行していつたのである。これは既に戦いではない、戦闘でもない。窓から飛び出して最後の奉公と信念し、巨大な爆弾を渡された兵隊は、お國のために万歳と云つて自害していった。極め付とは、神風特攻隊の若者たちである。学徒動員を誇りに思つて学生から飛び出していくつた。しかし、この悪夢は、そのやがて無差別攻撃であり人道にはいえ、そのやがて無差別攻撃であり人道に

するよう予告のビラが何回も撒かれていたが、人道に反する無差別爆撃は幾ら事前に避難の規模と称されて、悲惨さは比へ物にならないであつた。父が遭遇した東京大空襲はこの百倍まで、南北は借薬園、石川町までが一面の焼野原つた。南北に細長い形の街だが、北は水戸の駅を覚えたのである。街なかは一面に焼野原であなつた死体が転がつていて悲惨な情況に戦慄立ち上り煙つていてが、硝煙の中に練り焦げにして坂道を登つていくといふところで煙がしか思えなかつたのである。水戸の街中を目指のも、この時ばかりは神仏の救いによるものとは嘘のようになつた。家族六人が無事助かつたのは青さが殊の外青々として輝いて昨夜の悪夢の悪臭が立ち始めた洞窟を出た時には、千波湖た。そこで助かつたと思つた。

睡魔に襲われて動くこともまたなかつた。自分が覚めたときはうつすらと空が明るんできめていた。逃げ出していく人もいたが、もやは

見えってきた。夏の盛りで洞窟は蒸暑さが立ち込める轟音も少くなつて敵の爆撃は止んだように懸命について行つたのである。じをひだ走り、先頭の父について我が家はもどり後からついてくる人たちも沢山いて、迷わず間をついて泉町から天王町を抜けて石崎町をひだ走り、先頭の父について我が家はもどり東京大空襲を助かつて逃げた父はここでも焼夷弾攻撃に出会つてしまつたが、戦火を体験した父がいたからこそ助かつたのかもしれないと思つた。火炎にひるむことなくその隙に懸命に従つて後に立つたのである。

みんなは誰だか知らないが、兎に角して手を一喝して手を挙げながら励まし誘導したがら家族の手を引き、狼狽して茫然自然失の人たちは度胆を抜かれて仰天した。飛来する敵機にB29の銀色の機体が一寸目に映つたときである。火炎の中を轟音を立て低空で飛ぶ巨大な弾が火を噴きながら落ちてくるのが見えたのがつて、既に火の海で逃げ場を遮られて身動きに周囲を包囲されたように猛火の壁が立ち上

る焼夷弾の熾烈な爆発を見ながら、死にもの狂う走つたかわからなかつたが、あたりに落下滑り後からついてくる人たちも沢山いて、迷わず間をついて泉町から天王町を抜けて石崎町をひだ走り、先頭の父について我が家はもどり東京大空襲を助かつて逃げた父はここでも焼夷弾攻撃に出会つてしまつたが、戦火を命に従つて後について立つたのである。

みんなは誰だか知らないが、兎に角して手を一喝して手を挙げながら励まし誘導したがら家族の手を引き、狼狽して茫然自然失の人たちは度胆を抜かれて仰天した。飛来する敵機にB29の銀色の機体が一寸目に映つたときである。火炎の中を轟音を立て低空で飛ぶ巨大な弾が火を噴きながら落ちてくるのが見えたのがつて、既に火の海で逃げ場を遮られて身動きに周囲を包囲されたように猛火の壁が立ち上

た結果と相成ったのである。高度成長期を突っ走  
をたどつていつたが、ハブルに走つて先に述べ  
勝ちみ続け、民間企業の設備投資も拡大の一途  
の拡充をはじめ巨大公共事業によつて経済は  
はなかつた。東京オリソビックのあと新幹線網  
十歩百歩の進いで国民の期待に応えるもので  
で自公と民主の政権交代があつたにしても五  
散と汚染の被害であつた。その間、政治の世界  
東電の事故による原発基地の破壊と放射能拡  
岸一帯を襲つた史上最大の地震と巨大津波と  
がついていたのである。そこに起きたのが東北沿  
ら先進国から脱落して魅力のない国になり下  
の身を過ぎて行つたのである。気が付いてみた  
で有効な政策が打ち出せなかつた。無駄に時間  
二十有余年が立つてゐる。経済金融政策の劣化  
滞から脱却できず、デフレацияに陥つて  
であつた。ハブル崩壊で日本経済は長いこと停  
戦後経済の複合的悪循環が重なつて犯した結果  
独占と隠蔽体質を悪用し最悪の結果であり  
一ト受験である。これで田中角栄が失脚した。

企業が加担して巨大に作り上げてきた構造が、  
となつた。しかも政、官が癒着した構造の中では  
故であり、日本の産業構造を根底から覆すもの  
同じような状態であつた。しかも今は日本の不<sup>安</sup>  
と、汚染に悩む東北の被災地の人たちの不安と  
今の東電の原発事故による放射線物質の拡散  
治療不能のまま命をおとしていくのである。  
苦しむ人と放射能被曝に苦しむ人が後を絶た  
つた。広島、長崎の原爆投下ではケロイド症に  
が発生した。空気の汚染、水の汚染は各地に基  
が発生した。それにつれて原因不明の公害病  
的に広まつた。各種の公害が発生した。隅田川は悪臭を放ち生  
物はいかつた。産業廃棄物の垂れ流しが全国  
た。狂った経済の汚物はそればかりではない。  
検察が威信をかけて戦つた見事な時代があつ  
て畜い立たせてくれぶが、これ以上の悲惨はと  
どは一面、正しい人間の情操を正義に向かつ  
ている。歴史的事件を劇場的に映像的に見る  
広げられて多くの市民が痛ましい犠牲にあつ  
と勝利、悲惨と歡喜の裏表を混乱のうちに繰り  
きいているのはまさに悲惨と云うほかない。敗北  
そうした思想的行動が、今アラブ中東地区に起  
ど、狂気に満ちて煽情的なものはない。日本の  
これが当たり前であつた。国家による思想教育は  
が、日本人の美意識がそこまでそうさせ、そ  
一職してしまうほど馬鹿馬鹿しい話である  
人物になるかと、合理的な欧米人は一笑に付して  
いいつたのである。人の命と桜の花と一体比べ  
ツ島の日本軍兵士の墓碑が、日本人の心を桜の  
花にたどえ、潔く散っていく姿に重ねて美化し  
た指導者は、利権に翻弄されて軍部と連携し丸

来て、汚職が絶えなかつた。極め付きはロッキ  
内に政官民の癒着が助成され腐敗する段階に  
賈して経済発展に努めてきた。その間、知らず  
もどり平和主義、自由主義、民主主義を掲げ一  
あつたかもしない。戦後、日本は平和憲法の人  
人の誇大妄想狂の国家主義の最大の茶番劇で  
つてのけ物議をかわしたが、あれがきっと日本  
夫が自説が通らなかつたとして割腹自殺をや  
仮に自衛隊市ヶ谷駐屯地で、小説家三島由紀  
経済復興に一路猛進の果て

の日本にも長く残つたのである。  
する一派があつて、そうした思想の残骸は戦後  
が大きすぎた。いまだに旧思想を維持しようと  
ぎた。独裁政治を打ち倒すにはあまりにも幼稚にす  
たが、因果報應と云うにはあまりにも幼稚にす  
つた連中だが、いざれも無残に惨殺されたりし  
に国民を慣らし、闇のうちに搾取して顧みなか  
裁政治を以て国民を牛馬のごとく使い、文盲下  
た犠牲と、そのあと勝利は劇的であった。独

制国家の横暴と革命的転覆事件で人民が負  
思つかはないだろう。アラブ、中東に起きた専  
て畜い立たせてくれぶが、これ以上の悲惨はと  
どは一面、正しい人間の情操を正義に向かつ  
ている。歴史的事件を劇場的に映像的に見る  
広げられて多くの市民が痛ましい犠牲にあつ  
と勝利、悲惨と歡喜の裏表を混乱のうちに繰り  
きいているのはまさに悲惨と云うほかない。敗北  
そうした思想的行動が、今アラブ中東地区に起  
ど、狂気に満ちて煽情的なものはない。日本の  
これが当たり前であつた。国家による思想教育は  
が、日本人の美意識がそこまでそうさせ、そ  
一職してしまうほど馬鹿馬鹿しい話である  
人物になるかと、合理的な欧米人は一笑に付して  
いいつたのである。人の命と桜の花と一体比べ  
ツ島の日本軍兵士の墓碑が、日本人の心を桜の  
花にたどえ、潔く散っていく姿に重ねて美化し  
た指導者は、利権に翻弄されて軍部と連携し丸

難しいから取りの中である。そのなかでの消費者目標値一パーセントを決めるくらいに日銀によるテフレ脱却の金融政策も、インフレ目標値一パーセントを目的であつて、それ以上の消費税の値上げが目的であつて、それ以上の車両がないと云えればもはやこれ以上の一体制改革などといつても中身はさつぱりわからない。改革といつても經濟にも明るさが射しきるトあればたゞそれで、一般にはじつはなんだと云いたい。消費税の五パーセントや六パーセントの増加などといつても日本の国債はどうなんだと云ふ。個人資産一兆四千億といつし、統計上、つたらこの先一休どうなつてしまつたのだが聞が増えてきて、それに國の借金一千億と云ふるうちに身を滅ぼすことになる。そんな人気が悪くなつて仕事にあふれあらからして今まで普通に使う言葉になつてしまつた。景

役を果たすことがあり、この大きな効果をなく、株式の上昇が景気の回復を促す栄養剤通り、株式は景気動向の結果を示すばかりで経済の情勢が株式市場の状況ひとつで分かる万円の大合乗せも期待が持てそうである。経市場もよつやく前向きな動きが出てきて、ニユーヨークのダウの上昇で日本の株式と思つていい。

回復に水を差す結果にならなければいいが、てきた昨今、日本の消費税の値上げが景気のの當み、スキームが大切である。ニユーヨークの株の値上がりで經濟にも明るさが射しきる。常識が豊かに生かされていくよつ社会がありながらこれらをやり押していくといつていう魂胆である。常識的見てもわかるといつてから手の付けられると、國は尻に火がついているか受け入れやすいけれど、景気を良くしてからなら受けかることである。景気を悪くしてからは、子供でも分費税の値上げがいいか悪いかは、子供でも分

務者という聞きなれない言葉が出てきたが、らけの鼻つまみの男に多いのである。多重債務者が悪く、飲む、打つ、買うの性分で、隙だち同様の投資に目がくらんだり、昔から身持であれば自分が派手に振る舞つたり、ばく自身自殺をする人が多い。借金も前向きなもの多くは借金の苦痛から逃れたい一心で投社会の様々な複合事象が原因である。

家族の悩みを抱えた原因、借金の返済に窮して選んだ道、冷静になつて考える余裕もないみから逃れたいとしたいただらうが、病気や、ししまつのだらう。自ら命を絶つて絶望の苦しさいろいろな苦勞と悩みがあつて、行く先を悲観らべつの表現を使つていい。自殺する人はいつ殺が一件発生しましたのでとも云えないからだった。人身事故は、昔でいうと飛び込み自殺である。ダイヤの報道に、まさか飛び込み自殺

下鉄日比谷線ばかりでなく周辺のライジングがある。今日も東横線で人身事故があつて、地いたるか、年々自殺者が増えていくようではめてもの教いである。社会に不安が多いせられるわけではないが、人を道連れにしないのが思か者がない。別に冷やかな云い方をするべき点もあるが自分で息の根を止めてしまだから粗末に扱つてはいけないのに、同情す人間の一生は一度しか経験できないもの

### 成熟しきつた社会の奢侈

てきた。ハブル崩壊の大音響が聞こえの序曲であつた。ハブル崩壊の大音響が聞こえうを打つて崩れ落ちて行った。正にハブル終焉に舵を切った政策に高価掴みの投資家は雪崩一齊に始まつたのである。緊縮財政に一大転換であった。市場にだぶついた金の吸い上げがまつた日銀による総量規制は、金融政策の大転換であり、拝金主義が横行した。一九九〇年に始つていつた先にはハブル経済が絶頂期に差し

て消費に回したって平気なわけである。老後から将来に不安を残すことなく所得をすべくトだが、国民の医療費や教育費などはタダだ出されると、デジマーケットの場合五バーセンとこれで外国の税率の高さが引き合いでいる。分雇用喪失にもつながつてくるからである。活用化に努め海外流出を止めなければ、その活性化に努力して企業の競争力を落としつつある。孔子の言葉である。税金は安い越しにありて衆星これに向かって行くが、とし」と才覚が問われてくれる。北辰のその所にありますくないとするのが人情である。税金は国民のための投資である。にいに指導者の力量を以てすれば最大幸福をもたらすことがわかるわけで、果実を見込みながら政治に税金は払われるわけである。立派行動に移すといふ。立派なことを考へると、現状は厳しく多重債務者にとっては家計に響くこと甚だしいに違いない。四億円の不動産購入資金で小沢さんは今いってもやられている。天下に違いない。日本のことを考えるとき、現状は厳しく多重債務者にとつては家計に響くこと甚だしい問題である。

日本のことを考えると、現状は厳しく多重債務者にとつては家計に響くこと甚だしい問題である。

導者は己を律し国民のためにいかなる手法で政者は専念しなければならぬ。特に指揮の中の均衡のとれた発展を促して行くが、ようしきを得て如何にこれを持続させて世である。経済に成長政策を講じながら、緩急ある手法を行なへべきで、それが本当の政治世の中を明くるには世の中を明くるすが奪われて、発想に健全性がないからである。過性のもので持続性がない。且先のことにより手取り早い増税路線の効果は大体が一

り居眠りこくのは国公議員だけである。この少子高齢化に歯止めかかる。寝ている猫たてつて飛び起きるかもしれない。慣習をむさぼる方は歳費カット定数削減で、勤労意欲を培つていかねばならない。且先のことにより

してハッパをかけるだらう。受けた社員は気強するだらう。社長は鉢巻古め現場に復帰けて立つ生徒だつて刺激を受けて大いに勉強をするかは、その上やる気だつて出てくる。人が金を見せれば病気が治つてしまふ人だつてある。笑顔になつて気分的に明るさが戻つて来るかもしれませんし、温泉旅行に出かけようとするかも知れない。否、確信的にするはずである。笑顔がその分増えてくれば、ハッパで買いたい物

産がその分増えてくれば、ハッパで買いたい物状況も同じである。持ち株が上がり個人資本をしやすくなり設備投資も活発に促される。大なり小なりの差はあるても日本の達をしやすくなり設備投資も活発に促される。これが消費に直接つながつてくれる。企業も資金調達をしやすくなり設備投資も活発に促される。見誤つてはならない。アメリカでは個人資産に占める株式の比率が高い。したがつて株高

つていて、富士ビューマンションの部屋からは奥深い神秘的な原生林である。私が持ったものだ。富士山の麓には広大な青木が原の原生林がある。一歩踏み誤れば出でて死に場所を考え少なくとも昔は場所を選んで死に場所を考えるのである。自殺にロマンなど考えられないが、巻いて、飛び込んだ人の死体が上がつてない太平洋の荒波が岸壁に衝突して、底深い淵に溺れなくなつてしまつた。落ちて行つた先は熱海の錦ヶ浦から飛び降りて自殺する人は最後青々とした太平洋を望み、断崖絶壁の名勝地。

な進歩、変化を遂げていることだらう。  
ないと疑われるのがおちである。さほどにタ  
もそれは北朝鮮のことだらうとしか受け止  
められないし、話している奴は気狂いに違  
はず食わずの時代を今の若い人たちに話して  
るはグット・バイの自殺である。戦後の飲ま  
早く満たされる。自信を失うと行き着くとい

うと欲的など、衝撃的など、剝離的など、衝  
あの中にはくるくな情報しか入っていない。目  
つてしまつた。電車に乗つてみると皆スマ  
世の中に出てくるといつた雰囲気はなくなり  
文化もまたれていくだらう。高い志を掲げて  
馬とか勝海舟も出でてない。所詮日本固有の  
い着想、大胆な発想も湧いてこないじ坂本龍  
めに悪いことをする連中ばかりである。私もた  
まに出てきたものがあるとすれば私欲のた  
は会社は意欲欠如で発展するわけがない。た  
どいう結果が沢山あるといつことだ。これで  
来社長にならうとする社員が統計上ゼロだ  
する不平不満の数々だらう。最近の調査で将  
上司に対する愚痴ばかりだらうし、会社に對  
これまで誰もかれもが安価な居酒屋みたいなと  
ころで飲んでいってはせいぜい出たところで  
某者衆を呼ぶ座敷がすたれくれば、さり

### 桶屋が儲かれば

差ができるといった。  
昔はタイムラグの間を縋つて人は能  
力を十二分に發揮して活動し儲けるチャン  
スがあった。昔はタイムラグの人には能力の  
代ではない。風が吹いて桶屋がもうかる時  
じかし今はそのタイムラグがなくなつてしまつた。昔は因果関係に大きな時間が与えられていた。  
普及が急速に進んで知識と行動が一般化さ  
くれた。規制が厳しく社会が柔軟に対応しきれ  
ないところの立志伝の人はいなくなつてしま  
うとしている。世代の違いから今は昔でい  
で財を成した人々である。そしたら人たちは  
助 大谷太郎、山崎種一然りである。一代

くさんあるだらう。傑出した怪物に松下幸之  
た人は多いし、以て教訓とすべきところはた  
つた。しかしそれなりに苦労を積んで出征し  
人は帽を收めてわかるといつことわざがあ  
必ずしも成功したかどうかは価値觀にもよるが、  
習つて昔の人は皆財を成して成功したので  
貯蓄の精神はまさにそれであつた。それを見  
ましたものである。二宮金次郎の教えもそ  
まります」と答えたそつである。ハカラ質問  
真面目くさつて質問したら「使わなければ  
人に「どうしたら金が貯まるのですか」と、  
去る経済講演会の講師の金儲けの極意の  
芸は身を助くとはまことにいのうだらう。  
香代を稼いできて支払つたといふ話がある。  
で芸を一つ、太鼓持ちの役を見事に演じて線  
気前よく飲んでいる隣りの座敷に乗り込ん  
しもう座敷があつた。足が出たとみた株渠は

昭和二十年のころ全てに欠乏し、飲まず食わぬひもじい思いをしながら、B29の昼夜兼行の轟爆から逃げまくっていた時には自殺した原因が高血圧や心臓病、糖尿病、癌もそうであるが、肥満体に起きる疾患だが年々増加傾向にある。日本中がひもじい思いをしていていた時代である。それでも難妨はからだら身体に肉がついていたのである。食へたくとも食へられない。日本人がそつとした趣向と好みでわくわけがない。日本人がそつとした趣向と好みでわくわけではない。日本社会に歐米の民主主義と自由主義思文化様式が大変化を遂げたのである。そこで我々は想と豊かな食事内容が伝わってきて俄かに生きていたのである。戦後、敗れてしまつた時代のことで、これが歴史的に長く続いたからである。だから広い土地を買つていく結果になつた。いつ思うに至つたのである。そつした憧れが長いと尾を引いて煙を作り鶏を飼う土地が欲しきらには田園生活を夢にまで見て、早稲田中学に入学つて当たり前にあつた音楽の時間に最初に聞いたへートーンの田園交響曲にひかれ思ひは募るばかりであった。社会に出てから長い時代であつた。そこは先祖伝來の浅草の二東三文のものだつた。赤坂、浅谷、新宿、戦後野原になつた下町の土地は今から思え等はがさやぶだつた。親父が先祖伝來の浅草の土地を売つてそつた土地を買つていら其他の孫さんなど問題にならなかつたらう。大谷米太郎は、浅草の橋場に屋敷を持つていた。その孫さんがどうしてホテルニコーオータニ米太郎を建てる土地をあの場所に持つていたのかといふことであつた。小学生に入ればかなりだけれど、それはまず土地を手に入れないと近いといふことであつた。これが第一に不可能に近いと思つた。それには食へ物には不自由しないことであつた。百姓になつていれば食へ物には不自由して卵を食べて樂しく過ごしていと思想つたのでだけに将来は百姓になつて畑を耕し鶏を飼つて生きてきたのである。食べるために死と向き合つた状況だつた。あの方には朝えていた級軍人、戦争商人は兎も角として、日本国内にいながら正直な日本人はみな死と向き合つた時代であつた。そうした時でも高級官僚や、上の時代に食へ物に不足するといつ變な不思議な称しても可笑しくない時代で、それがたりまるであつた。田舎に疎闊しても畠がたくさんあればいい聞いたことがなかつた。文字通り食糧飢餓となり聞いたことがなかつた。昔は栄養欠乏症の結果豊かな社会になつて高カロリー食物を食へ

見当がつかない。その時の経験がその後もずっとあります。百姓になつていれば食へ物には不自由して卵を食べて樂しく過ごしていと思想つたのでだけに将来は百姓になつて畠を耕し鶏を飼つて生きてきたのである。食べるために死と向き合つた時代であつた。そうした状況だつた。あの方には朝えていた級軍人、戦争商人は兎も角として、日本国内にいながら正直な日本人はみな死と向き合つた時代であつた。そこは立札が建つて立派な魔のさきやきに暮かれて行つてしまつて運悪魔のさきやきに暮かれて行つてしまつて経済基盤の極限に至る、死に至る病に転げ落ちて神ぬいて、とにかくそれを打開できなくなつて神さりとて相談する人もないまま、純真に悩みがその理由であつた。自殺する人は気が小さく、が上がらないといつらし、見つからないといつらが上がらないといつらしてしまつた。いづれの場所も死体が少くなくなつてしまつた。しか最近はそこを死に場に選ぶ人が多い。しかもぐれど再び出てくることは不可能と云われるように眠められる。裾野には青木が原の原生林一帯が含まれて、遠望するに氣宇壯大である。原生林を一歩踏み入れると世間と全く遮断された静寂幽玄の世界が広がつていて、方角を取るように眺められる。裾野には青木が原の原生林一帯が含まれて、遠望するに氣宇壯大である。原生林を一歩踏み入れると世間と全く遮断立つたわけではないが、そう書いてあるそつだ。

### 金儲けの醍醐味

昭和二十年のころ全てに欠乏し、飲まず食わぬひもじい思いをしながら、B29の昼夜兼行の轟爆から逃げまくっていた時には自殺した原因が高血圧や心臓病、糖尿病、癌もそうであるが、肥満体に起きる疾患だが年々増加傾向にある。日本中がひもじい思いをしていていた時代である。それでも難妨はからだら身体に肉がついていたのである。食へたくとも食へられない。日本人がそつとした趣向と好みでわくわけがない。日本人がそつとした趣向と好みでわくわけではない。日本社会に歐米の民主主義と自由主義思文化様式が大変化を遂げたのである。そこで我々は想と豊かな食事内容が伝わってきて俄かに生きていたのである。戦後、敗れてしまつた時代のことで、これが歴史的に長く続いたからである。だから広い土地を買つていく結果になつた。いつ思うに至つたのである。そつした憧れが長い

ないだらう。罪の贖いを以てこの世に愛と救い真理である。純になつて従うしかない。純になことは、任せた先はわからぬが、言葉の意はければならないだらう。運を天に任せるとどう云つて投げやりになつて放り出すわけにはいかない。しがみついて行くといふでいかない世は住みにくくいと云つていい。住みにくくから流れられる、急地を通せば窮屈だ、とにかくにの

いが、知に働き角が立つ、情に竿を差せば夏目漱石が小説草枕の冒頭に苦情を述べて人間と信仰の道

神は人間に臨んでくる。には従わざるを得ては確信するのである。絶対的権威と権力を以てどいつた漠然としたものでない。クリスチヤンの救いを実証されたのである。そうだとわかれれば残酷非情のこの世の闇に一縷の光明が射してこんでくるよくな気がしてくる。気がしてくるのは自ら命を絶つて無知文盲の罪深い人間の罪を許すために、自らの命を差し出してこの世トは自ら命を絶つて無知文盲の罪深い人間の痛を体験しなければならない。十字架のキリストでに人間はありとあらゆる苦悩と悲しみと苦対的研究の局面は、死である。死を通過するまに人間はたたかれて生きていが、その絶であるから死には勝てない。いろいろな苦しみが築いてこの世に君臨しても、所詮いつかは訪れたれた子羊を見捨てるにとはない。巨万の富を教いの手を差し伸べないわけがない。荒野に放つて戸惑つている姿を見てイエスキリストが

が求められて、規則なり法律が必要になつて舞うことはできなし、秩序を保つための制限がある。主張の限度も生じてきて、一方的に振るわれて主張する権利も広く含まれてくるわけでも与えられてくる。人間らしく尊厳さを併えら從つて責任も生じてくる。もちろん生きる権利ずから制約された生活を強いる義務があるし、合つて共同生活をしていわなければならない、おの

活しているわけではないので、おたがいに依存する。そこで我々は生きている間は一人で生に精一杯に命のあることを実感し満喫すべく生き人間全体の抹殺である。だから生きているものは区別なく、他人も身體の区別なく、いいうなれるときである。金持ちも貧乏人も、上も下も殺されて存在を否定され、意識も肉体も埋没しさの極めつけは人間がこの世から完全に抹いでいく身である。生きている間に遭遇する恐ろんに立つた検証が必要である。人間も所謂死んじたりしていると円形になつて、すべてが実體と見る水平線はわずかに円形の影をとどめている。像と運動は円である。直線的運動は円運動の一力を持つて地球の表面に張り付いていることが宇宙船の中で浮遊しながら水滴を追い回しの不思議は、なぜはなんぞうか。宇宙飛行士が宇宙船の中に浮遊したことがあるが、水が、例えば人間全体の抹殺である。だから生きているものは区別なく、他人も身體の区別なく、いいうなれるときである。金持ちも貧乏人も、上も下も殺されて存在を否定され、意識も肉体も埋没しさの極めつけは人間がこの世から完全に抹いでいく身である。生きている間に遭遇する恐ろんに立つた検証が必要である。それも所謂死んじたりしていると円形になつて、すべてが実體と見る水平線はわずかに円形の影をとどめている。像と運動は円である。直線的運動は円運動の一

バケツにおいた液体を空中に散らばすとばらいている光景を見たことがあるが、水が、例えば力を持つて地球の表面に張り付いていることある。あの太平洋の海水が散らばらないで一定の物体に生じる力にはひきつけるもののが実在する水平線はわざかに円形の影をとどめている。像と運動は円である。直線的運動は円運動の一端部と考えられる。岩頭に立つて茫茫として眺めたりしていると圓形になつて、すべてが実體と見られないと。横から見たり斜から見たり逆さまに見れば真実を掴むことはできないといふとかも見える。世の中の現象をまとめて見ていたのでは代財を成した怪物である。新聞紙を逆さまに見ていた人が、優れた先見性を持つていたことばかりの商人が商売に徹し、大谷重工業を立ててまだにわからないでいる。土俵を務めた力士上

途方もない意味不明の話をしでいても仕方  
ない人の悲劇

しれない。シンドンと云つてカリストの再臨が示現する時かも  
念仏が聞こえてくるような気がするし、アーメン  
う。その時こそ南無阿弥陀佛無妙法蓮華經の中だが、無限に膨張していくはずがない。いつ  
かはビッグバンの闇に消えるときがあるだろ  
う。中行けば所詮いつかは破裂する。風船ばかりでは  
が窺えてくるのである。風船も膨らまし続けてい  
る。大きい言えは宇宙たって膨張している最  
だ。寿命を終えた後に新しい芽が吹くようなもの  
で木が倒れた後に新しい芽が吹くのである。寿命を終え  
はめ創造的破壊と称したのである。寿命を終え  
るが、シアン。一タバこれを以て企業に当た  
て本が得したいのである。死に突き当たつて破裂した時が  
知るのである。壁に突き当たり、それが限界とい  
けばいつかは壁に突き当たり、それが限界と

る。商売も、企業も無論に拡大にひた走りして  
も人間の知恵である。所詮人間は欲望の塊であ  
る。いい加減にしてやめておくといふ  
い結果になつた。同じことで失敗した人々は沢山  
い、気が狂つたり、自分自身を殺めたりする結  
論は云つていなはずである。あまり深く切り込  
んでいたので結局はわからなくなつてしま  
は云つていい。同じことで奇抜なこと  
はサルトルやニイチエたつてこんな奇抜なこと  
来るに人間の意志を表明していく、計画を立て、未  
だ未知の世界である。一寸先は闇だと去る人も  
生きるといつことは即ち長短の別はあるても未  
來を目指してと云つてどちらもあり死をも含ん  
に生きる喜びも湧いてくる。明日に向かって生  
自ら編み出して、うまく立ち回っていくといふ  
消滅の繰り返しだ。万物流転の心得の術を  
く心地も持たなければならぬ。万物は生成と  
觀を求めて、積極的に未知の世界を開拓していく

困る。現世をいかに生きていくかに多くの価値  
にばかり考えすぎて現世のことを見失っても  
べを全得したいのである。しかし死後の世界の  
まれてくる。死の恐怖から何としても逃れるする  
的恐怖があるのであるから、全ての人に対する信心が生  
きている人間の希望である。死して極樂淨土に参るといふ  
間の知恵である。死して極樂淨土に参るといふ  
力に通じて己に打ち返す心得である。そこは人  
もある。南無阿弥陀佛と念佛を唱え、仏の念  
なるならば、怖いもの知らずで強く生きいく術  
いいくことはやる瀬ない。しかしそれが悟りであ  
無常觀から仏の慈悲にすがつて細々と生きて  
い、短い人生を無常と諦めさせられても困る。  
しみを挙げて。これらを総称して八苦と云  
苦、求不得苦、愛別離苦、怨憎会  
ことの苦しみをあげて更に、愛別離苦、怨憎会  
り老いていくことの苦しみ、病の苦しみ、死ぬ  
ある。四苦を以て生まれた時から苦しみが始ま  
諦観的にこの世を達觀して生きていく方法も

れを以て無常と称している。四苦八苦の人生と  
つて生まれたら必ず死ぬといつ定めがある。こ  
仏教の教えでも人間にはそもそも八苦があ  
ぞれに生きていいくべきではないだろうか。  
走つるこの道。」の一首に触発され道それ  
どともに生きるわが身に迷いなし夢と希望に  
て明るく生きている姿に魅せられていく。「主  
のようを中心に述べて、わたしは日々を充実し  
くことができるだろう。ある著名な人格者は次  
大きな日々の恵みと癒しを確信して生きてい  
う信じるといつて信じない人よりもより  
を絶つて生きる喜びと希望が授かっている。そ  
のである。信するといつてよつて信じない人によ  
くしみから救い出していくべきださることなつた  
ある。つまり死して永遠の命を授かつて我々には絶望  
の世に再臨される約束をなさつたとのことで  
泉に下り三日目にして蘇り天に昇つて再びこ  
り、罪の贖いを以て十字架につけられ死して黄  
をもたらし人類の救済を約束してこの世に下

てきた。世界が日本の動向を見ている。  
ない。脱原発は現実の問題として大きく浮上していく。パーセントでしかも国連の基準に参加していく  
わずか四パーセントである。中国、米国が四〇〇  
べきである。日本に豊富な石炭の使用をもつと推進す  
ある。日本で脱原発の排出基準は世界の  
硫技術の手法も高度に進んできており有望で  
炭の使用も二酸化炭素の排出規制があるが脱  
更に太陽光、地熱、風力、水力、藻類など有力  
ある。しばらくは火力発電を幕開けに過ぎないと  
能な再生エネルギーを求めて努力する必要があり  
た。ここで脱原発のエネルギー源として持続可  
能な再生エネルギーを求めて努力する必要があり  
る。電力不足を切り抜けしていく自信がついて  
他の発電で電力供給はどうにか維持されていて  
今日は原発がゼロに近い状態ながら、その  
たてば身動きできない事態になるといふ。  
である。事故を起してさなぐともあくまでも  
解決するには数百年から千年もかかるといふ

ず、今すぐに原発を止めてもこの問題が完全に  
ことになつていてが処分上の立地が見つか  
三〇〇メートル以深の地層に埋めて処分する  
棄物は、これを五十年ほど冷却保存したあと、  
によると今原発を止めても高レベル放射性廢  
まい、捨て場がないのが現実である。ある識者  
ていないので、核廃棄物はどんどん溜まつして  
増殖炉がどこの国でも事故続きで役を果たした  
いう想定に立つていていたのであるが、肝心の高速  
それで核燃料を繰り返し使えることができると  
ができます。原発の利点はひとびとが想像するこ  
トである。原発の利点はひとびとが想像するこ  
トであるが、専門家がいまだに原子炉のメ  
トルダッシュの状態を確認したらであります。  
福島第一原発基地では、早くから想定してい  
原発建設に不適格な地域であり、国である。  
がいる。火山国日本である。地震を想定したら  
たが、まだその神話を保持しようとする人たち  
たる。原発が事故を起さないという神話は崩れ

稼働し続けてきたのだから、むづ鉄砲な話であ  
ない。しかもこの原発基地が五十四基もあつて  
的被害を蒙つて一度と立ち上がるることはでき  
る。一発の事故でこれら他の原発基地であ  
がなである。被害額は軽く百兆円はゆくであ  
業に従事する人たちの被害と生活は言わずも  
かるが見当がつかない。もとより農漁業や観光事  
作物や近海の魚介類の汚染はいつ平常値に戻  
被害は予想もつかない天文學的規模であり、農  
原発事故で直接亡くなつた人はいないとは  
け止めて、将来の展望を図つていくべきである。  
遇した我々の以て授かった教訓と前進的に受  
まれに大きすぎるが、史上最大の大災に遭  
いくかも知れず、そつした様態が速く暴かれた  
されていた場合に、どれほどの損害を蒙つて  
の特殊性を以てこの先日本経済を牽引し支配

つて白日の下にあがりだされただである。こ  
の横暴な経営ぶりが原発事故がきっかけとなる  
ではない。気が付いたことは電力会社の今まで  
に關連した企業や関係者が原発推進を云うほ  
きをしないでいくしかないが、電力会社や、それ  
を克服し、少しでも代替エネルギーを以て当座  
わけにもいかない。電力不足は何とかしてこれ  
が、現実に此れだけの被害をこうむつている國  
が、原発の存廃をめぐって意見が対立している  
い。原発が行く手を阻んでいるので如何ともしがた  
ので、忸怩たる思いである。それ以上に原発事  
たれると、政治と行政がこれについていかない  
遅々として進んでいないのは嘆かわしい。勇ま  
度一年が過ぎた。紅余曲折もあって復興計画が  
ない。三月十一日の東北大地震に見舞われて丁  
がない。明日の命のことも心配しなければなら  
じしく立ち上がる現地の人たちの姿には胸が打  
たれるが、政治と行政がこれについていかない  
で、忸怩たる思いである。それ以上に原発事  
じく立ち上がる現地の人たちの姿には胸が打  
たれると、政治と行政がこれについていかない  
度一年が過ぎた。紅余曲折もあって復興計画が  
ない。明日の命のことも心配しなければなら  
つて白日の下にあがりだされただである。こ

表紙絵のことば

### 新築の甘酒茶屋

### 関根 常雄

「特集 箱根魅力のひとり旅」その時に城山  
三郎が記した箱根旧道の甘酒屋を拝見させて  
頂きました。現代の当主で十三代目だそうです。  
若主人の名セリフに「箱根の歴史は道の歴史で  
ある」とあります。セリフの通り東海道一号線  
箱根新道、スカイライナー・ハイウェイと、箱  
根の変貌は著しいものがあります。そしてその  
度慶に筋に盛衰が繰り返されたこととして  
が、「箱根旧街道」は今では一番のメインスト  
リートです。文明開化の恩恵をうける事のない  
なかで、この甘酒屋が十三代目を迎えて居  
るの本當に素晴らしいと思ひます。来歴によ  
りますと、創業年月日はつきりしませんが、  
三百年以上たつといわれております。箱根関  
所が設けられ、東海道が箱根越えの唯一のルート  
に指定されたのは、元和元年(一六一八年)  
に遡りして、題を買って帰るのが常で  
かかりました。そんな事から、甘酒屋と云う名を聞くだけ  
の私の家は、代々お酒の飲めない家系ですが、し  
かし祖母は甘酒造りが得意でした。小学校の帰  
り道に遠回りして、題を買って帰るが常で  
連れられてその茶屋に行くのが唯一の楽しみ  
でした。云う青友屋がありました。小供の頃に祖父に  
私の生家から八キロほど町に「五鶴茶屋」  
で参りました。

今月の表紙絵は新築された箱根甘酒茶屋を  
描きました。茅葺きのたつまは、昔ながら  
の日本文化を彷彿させる茅葺らしい姿になつ  
て参りました。この町に「五鶴茶屋」  
と云う青友屋がありました。小供の頃に祖父に  
私の生家から八キロほど町に「五鶴茶屋」  
で参りました。

それで、今でも郷愁を誦うのです。上京して間も  
なく、山の中の一軒家でしたが、最寄りの畠  
宿から、箱根町からも四十分の距離です。こ  
の山中での出来事が今に伝わって、「赤穂士  
の一人、神崎与五郎の話」について歴史に語り  
継がれています。神崎が馬子の丑五郎に喧嘩を  
売られましたが、大事の前の小事と辛抱し、詫  
証を書きました。それが甘酒茶屋の前であつた  
といふ話です。事実は神崎ではなく大高源吾で  
あります。今ではこの様な史実がわかつていませんが、  
あり、場所もさだかではないともいわれています。  
赤穂義士の詫証文は、箱根旧街道・甘酒茶屋の  
神崎与五郎と丑五郎の物語として、地域の人々  
にも旧街道をハイキングする人々にも親しまれています。

詫証文は箱根町考古館に収められ、現在は旧  
街道資料館にてのコピーが保管されてあります。  
http://www.shōwa-ecc.or.jp/  
e-mail:mifogashowwa-ecc@jp.  
FAX(3317) 3110四番  
〒250-0868 箱根中央駅八重路二十一  
事務局 平成二十四年三月十五日発行  
昭和経済会議 第六十二卷  
印刷所 日本国印刷株式会社  
発行所 著者 佐々木誠吾  
編集委員会 佐々木誠吾  
http://www.shōwa-ecc.or.jp/

月刊誌掲載者・昭和経済論文(敬称略)

|      |                 |      |      |      |       |      |       |      |             |      |           |       |      |       |      |           |      |           |       |    |     |              |       |             |     |              |      |       |      |       |      |         |       |     |      |             |      |         |      |          |     |        |      |               |      |             |      |     |      |          |      |          |     |         |     |        |      |             |      |      |     |          |      |          |
|------|-----------------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------------|------|-----------|-------|------|-------|------|-----------|------|-----------|-------|----|-----|--------------|-------|-------------|-----|--------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|-------------|------|---------|------|----------|-----|--------|------|---------------|------|-------------|------|-----|------|----------|------|----------|-----|---------|-----|--------|------|-------------|------|------|-----|----------|------|----------|
| 大内義一 | 早稲田大学名誉教授(巻頭隨筆) | 豊田雅孝 | 当会顧問 | 牛場信彦 | 外務省顧問 | 庄瀬嘉夫 | 参議院議長 | 岡原伯永 | 株日本経済社 日経専務 | 山田勝久 | 通産省産業政策課長 | 山村祐三郎 | 豊原兼一 | 参議院議員 | 宮本四郎 | 通産省産業政策局長 | 糸川英夫 | 組織工学研究所所長 | 寺島祥五郎 | 画家 | 安井謙 | 当会顧問 自民党最高顧問 | 大来佐武郎 | 対外経済関係 政府代表 | 黒田眞 | 通商産業省 通商政策局長 | 前川春雄 | 衆議院議員 | 河野洋平 | 参議院議員 | 堺江忠男 | 大月短期大学長 | 中曾根康弘 | 元首相 | 水谷研治 | 東海総合研究所 理事長 | 鈴木俊一 | NHK解説委員 | 吉田和男 | 慶應義塾大学教授 | 吉川洋 | 東京銀行会長 | 行天豊雄 | 東京銀行政務取締役調査部長 | 中山泰平 | 日本興業銀行 特別顧問 | 鈴木俊一 | 元首相 | 山田伸一 | 慶應義塾大学教授 | 竹中平蔵 | 慶應義塾大学教授 | 加藤寛 | 千葉商科大学長 | 石井明 | 東京大学教授 | 原田和明 | 二和綜合研究所 理事長 | 伊藤裕章 | 朝日新聞 | 鴨武彦 | 東京国際大学教授 | 大山昊人 | 元NHK解説委員 |
|------|-----------------|------|------|------|-------|------|-------|------|-------------|------|-----------|-------|------|-------|------|-----------|------|-----------|-------|----|-----|--------------|-------|-------------|-----|--------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|-------------|------|---------|------|----------|-----|--------|------|---------------|------|-------------|------|-----|------|----------|------|----------|-----|---------|-----|--------|------|-------------|------|------|-----|----------|------|----------|

|      |       |      |           |       |              |      |             |      |       |      |       |      |         |       |     |      |               |     |              |      |       |      |       |      |         |       |     |      |             |      |         |      |          |     |        |      |               |      |             |      |     |      |          |      |          |     |         |     |        |      |             |      |      |     |          |      |          |
|------|-------|------|-----------|-------|--------------|------|-------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|---------------|-----|--------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|-------------|------|---------|------|----------|-----|--------|------|---------------|------|-------------|------|-----|------|----------|------|----------|-----|---------|-----|--------|------|-------------|------|------|-----|----------|------|----------|
| 福田赳夫 | 衆議院議員 | 井浦康之 | 企業コノサルタント | 斎藤榮三郎 | 商学博士法学博士文学博士 | 水谷研治 | 東海総合研究所 理事長 | 前川春雄 | 衆議院議員 | 河野洋平 | 衆議院議員 | 堺江忠男 | 大月短期大学長 | 中曾根康弘 | 元首相 | 水谷研治 | 東海銀行常務取締役調査部長 | 黒田眞 | 通商産業省 通商政策局長 | 前川春雄 | 衆議院議員 | 河野洋平 | 衆議院議員 | 堺江忠男 | 大月短期大学長 | 中曾根康弘 | 元首相 | 水谷研治 | 東海総合研究所 理事長 | 鈴木俊一 | NHK解説委員 | 吉田和男 | 慶應義塾大学教授 | 吉川洋 | 東京銀行会長 | 行天豊雄 | 東京銀行政務取締役調査部長 | 中山泰平 | 日本興業銀行 特別顧問 | 鈴木俊一 | 元首相 | 山田伸一 | 慶應義塾大学教授 | 竹中平蔵 | 慶應義塾大学教授 | 加藤寛 | 千葉商科大学長 | 石井明 | 東京大学教授 | 原田和明 | 二和綜合研究所 理事長 | 伊藤裕章 | 朝日新聞 | 鴨武彦 | 東京国際大学教授 | 大山昊人 | 元NHK解説委員 |
|------|-------|------|-----------|-------|--------------|------|-------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|---------------|-----|--------------|------|-------|------|-------|------|---------|-------|-----|------|-------------|------|---------|------|----------|-----|--------|------|---------------|------|-------------|------|-----|------|----------|------|----------|-----|---------|-----|--------|------|-------------|------|------|-----|----------|------|----------|

|       |          |       |          |      |          |       |         |      |          |      |           |       |       |      |          |      |        |     |         |      |        |      |            |     |                  |      |       |            |       |             |           |           |     |             |      |         |         |               |      |        |      |            |      |            |             |        |       |     |            |        |       |            |      |            |      |          |     |        |      |         |         |         |      |      |       |         |        |         |      |          |      |        |     |           |     |            |      |        |
|-------|----------|-------|----------|------|----------|-------|---------|------|----------|------|-----------|-------|-------|------|----------|------|--------|-----|---------|------|--------|------|------------|-----|------------------|------|-------|------------|-------|-------------|-----------|-----------|-----|-------------|------|---------|---------|---------------|------|--------|------|------------|------|------------|-------------|--------|-------|-----|------------|--------|-------|------------|------|------------|------|----------|-----|--------|------|---------|---------|---------|------|------|-------|---------|--------|---------|------|----------|------|--------|-----|-----------|-----|------------|------|--------|
| 北岡伸一  | 東京大学名譽教授 | 小宮隆太郎 | 東京大学名譽教授 | 島田晴雄 | 慶應義塾大学教授 | 橋口廣太郎 | アサヒビル会長 | 山口光恒 | 慶應義塾大学教授 | 福川伸次 | 電通総研研究所所長 | 橋本大二郎 | 高知県知事 | 山日光恒 | 慶應義塾大学教授 | 清水啓典 | 一橋大学教授 | 中谷巖 | 立命館大学教授 | 佐和隆光 | 京都大学教授 | 吉田和男 | 京都大学医科学研究所 | 林光夫 | ナショナル日系博物館ヘリテージセ | 山本清治 | 経済評論家 | ハワード・H・ペイカ | 駐日米大使 | 前ナザレン神学大学学長 | 中央教育審議会会長 | 日系プレス基金理事 | 福江等 | 前ナザレン神学大学学長 | 大田弘子 | 経済財政担当相 | 井深記念聖エイ | アルビン&ハイディ・トフラ | 伊藤元重 | 東京大学教授 | 公文俊平 | 多摩大学情報学部教授 | 山口義二 | 立教大学経済学部教授 | スティーブン・ゴマノル | 駐日英國大使 | 中尾根康弘 | 元首相 | ハワード・H・ペイカ | 前駐日米大使 | 高木新一郎 | 前産業再生機構委員長 | 國部直明 | 日本経済新聞論説主幹 | 竹森俊平 | 慶應義塾大学教授 | 中西寛 | 東京大学教授 | 平野雅章 | 早稲田大学教授 | 米未来社全学者 | 米未来社全学者 | 伊藤昌之 | 山内昌之 | 若田部昌澄 | 早稲田大学教授 | 東京大学教授 | 東京大学准教授 | 野村詮義 | 千葉商科大学学長 | 山口光恒 | 常京大学教授 | 齊藤博 | 産業再生機構前社長 | 入江昭 | ハバード大学名譽教授 | 渡辺智之 | 一橋大学教授 |
| 小宮隆太郎 | 東京大学名譽教授 | 北岡伸一  | 東京大学名譽教授 | 島田晴雄 | 慶應義塾大学教授 | 橋口廣太郎 | アサヒビル会長 | 山口光恒 | 慶應義塾大学教授 | 福川伸次 | 電通総研研究所所長 | 橋本大二郎 | 高知県知事 | 山日光恒 | 慶應義塾大学教授 | 清水啓典 | 一橋大学教授 | 中谷巖 | 立命館大学教授 | 佐和隆光 | 京都大学教授 | 吉田和男 | 京都大学医科学研究所 | 林光夫 | ナショナル日系博物館ヘリテージセ | 山本清治 | 経済評論家 | ハワード・H・ペイカ | 駐日米大使 | 前ナザレン神学大学学長 | 中央教育審議会会長 | 日系プレス基金理事 | 福江等 | 前ナザレン神学大学学長 | 大田弘子 | 経済財政担当相 | 井深記念聖エイ | アルビン&ハイディ・トフラ | 伊藤元重 | 東京大学教授 | 公文俊平 | 多摩大学情報学部教授 | 山口義二 | 立教大学経済学部教授 | スティーブン・ゴマノル | 駐日英國大使 | 中尾根康弘 | 元首相 | ハワード・H・ペイカ | 前駐日米大使 | 高木新一郎 | 前産業再生機構委員長 | 國部直明 | 日本経済新聞論説主幹 | 竹森俊平 | 慶應義塾大学教授 | 中西寛 | 東京大学教授 | 平野雅章 | 早稲田大学教授 | 米未来社全学者 | 米未来社全学者 | 伊藤昌之 | 山内昌之 | 若田部昌澄 | 早稲田大学教授 | 東京大学教授 | 東京大学准教授 | 野村詮義 | 千葉商科大学学長 | 山口光恒 | 常京大学教授 | 齊藤博 | 産業再生機構前社長 | 入江昭 | ハバード大学名譽教授 | 渡辺智之 | 一橋大学教授 |
| 小宮隆太郎 | 東京大学名譽教授 | 北岡伸一  | 東京大学名譽教授 | 島田晴雄 | 慶應義塾大学教授 | 橋口廣太郎 | アサヒビル会長 | 山口光恒 | 慶應義塾大学教授 | 福川伸次 | 電通総研研究所所長 | 橋本大二郎 | 高知県知事 | 山日光恒 | 慶應義塾大学教授 | 清水啓典 | 一橋大学教授 | 中谷巖 | 立命館大学教授 | 佐和隆光 | 京都大学教授 | 吉田和男 | 京都大学医科学研究所 | 林光夫 | ナショナル日系博物館ヘリテージセ | 山本清治 | 経済評論家 | ハワード・H・ペイカ | 駐日米大使 | 前ナザレン神学大学学長 | 中央教育審議会会長 | 日系プレス基金理事 | 福江等 | 前ナザレン神学大学学長 | 大田弘子 | 経済財政担当相 | 井深記念聖エイ | アルビン&ハイディ・トフラ | 伊藤元重 | 東京大学教授 | 公文俊平 | 多摩大学情報学部教授 | 山口義二 | 立教大学経済学部教授 | スティーブン・ゴマノル | 駐日英國大使 | 中尾根康弘 | 元首相 | ハワード・H・ペイカ | 前駐日米大使 | 高木新一郎 | 前産業再生機構委員長 | 國部直明 | 日本経済新聞論説主幹 | 竹森俊平 | 慶應義塾大学教授 | 中西寛 | 東京大学教授 | 平野雅章 | 早稲田大学教授 | 米未来社全学者 | 米未来社全学者 | 伊藤昌之 | 山内昌之 | 若田部昌澄 | 早稲田大学教授 | 東京大学教授 | 東京大学准教授 | 野村詮義 | 千葉商科大学学長 | 山口光恒 | 常京大学教授 | 齊藤博 | 産業再生機構前社長 | 入江昭 | ハバード大学名譽教授 | 渡辺智之 | 一橋大学教授 |
| 小宮隆太郎 | 東京大学名譽教授 | 北岡伸一  | 東京大学名譽教授 | 島田晴雄 | 慶應義塾大学教授 | 橋口廣太郎 | アサヒビル会長 | 山口光恒 | 慶應義塾大学教授 | 福川伸次 | 電通総研研究所所長 | 橋本大二郎 | 高知県知事 | 山日光恒 | 慶應義塾大学教授 | 清水啓典 | 一橋大学教授 | 中谷巖 | 立命館大学教授 | 佐和隆光 | 京都大学教授 | 吉田和男 | 京都大学医科学研究所 | 林光夫 | ナショナル日系博物館ヘリテージセ | 山本清治 | 経済評論家 | ハワード・H・ペイカ | 駐日米大使 | 前ナザレン神学大学学長 | 中央教育審議会会長 | 日系プレス基金理事 | 福江等 | 前ナザレン神学大学学長 | 大田弘子 | 経済財政担当相 | 井深記念聖エイ | アルビン&ハイディ・トフラ | 伊藤元重 | 東京大学教授 | 公文俊平 | 多摩大学情報学部教授 | 山口義二 | 立教大学経済学部教授 | スティーブン・ゴマノル | 駐日英國大使 | 中尾根康弘 | 元首相 | ハワード・H・ペイカ | 前駐日米大使 | 高木新一郎 | 前産業再生機構委員長 | 國部直明 | 日本経済新聞論説主幹 | 竹森俊平 | 慶應義塾大学教授 | 中西寛 | 東京大学教授 | 平野雅章 | 早稲田大学教授 | 米未来社全学者 | 米未来社全学者 | 伊藤昌之 | 山内昌之 | 若田部昌澄 | 早稲田大学教授 | 東京大学教授 | 東京大学准教授 | 野村詮義 | 千葉商科大学学長 | 山口光恒 | 常京大学教授 | 齊藤博 | 産業再生機構前社長 | 入江昭 | ハバード大学名譽教授 | 渡辺智之 | 一橋大学教授 |

|               |      |          |      |        |     |        |     |        |      |         |      |         |      |          |      |          |     |         |      |         |      |         |      |         |      |        |     |        |      |        |      |       |     |    |      |       |      |            |       |          |     |               |      |         |       |       |      |       |      |       |   |        |      |       |      |     |       |           |              |      |         |      |            |      |       |      |            |       |           |       |           |      |  |
|---------------|------|----------|------|--------|-----|--------|-----|--------|------|---------|------|---------|------|----------|------|----------|-----|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|--------|-----|--------|------|--------|------|-------|-----|----|------|-------|------|------------|-------|----------|-----|---------------|------|---------|-------|-------|------|-------|------|-------|---|--------|------|-------|------|-----|-------|-----------|--------------|------|---------|------|------------|------|-------|------|------------|-------|-----------|-------|-----------|------|--|
| クリスティーナ・アメリカン | 若宮啓文 | 朝日新聞本社主筆 | 植田和弘 | 京都大学教授 | 松木紘 | 京都大学総長 | 大西隆 | 東京大学教授 | 伊藤元重 | 東京大学元学長 | 吉川弘之 | 東京大学元学長 | 池尾和人 | 慶應義塾大学教授 | 細田衛士 | 慶應義塾大学教授 | 林良嗣 | 名古屋大学教授 | 吉川弘之 | 東京大学元学長 | 小黒二正 | 一橋大学准教授 | 庄司克宏 | 学習院大学教授 | 古谷浩一 | 朝日新聞記者 | 御厨貴 | 東京大学教授 | 田中明彦 | 東京大学教授 | 河野洋平 | 衆議院議員 | 堺星太 | 作家 | 栗栖弘臣 | 統合幕僚長 | 米川廣洋 | 組織工学院研究所所長 | 大来佐武郎 | 対外経済担当大臣 | 吉國隆 | 農林水産省大臣官房企画室長 | 天谷直弘 | 科学技術省長官 | 齊藤栄三郎 | 衆議院議員 | 浜田幸一 | 衆議院議員 | 鈴木俊一 | 東京都知事 | 元 | 通産省審議官 | 柳沢弘治 | 衆議院議員 | 木元教子 | 評論家 | 岡松壮三郎 | 通産省電子政策課長 | 野村総合研究所主任研究員 | 前川泰雄 | 前日本銀行總裁 | 稻川泰弘 | 通産省産業省政策局長 | 藤原弘達 | 政治評論家 | 山本幸助 | 通産省産業省政策局長 | 岡松壮三郎 | 通産省生活産業局長 | 網松壯三郎 | 通産省國際政治部長 | 山田勝之 |  |
|---------------|------|----------|------|--------|-----|--------|-----|--------|------|---------|------|---------|------|----------|------|----------|-----|---------|------|---------|------|---------|------|---------|------|--------|-----|--------|------|--------|------|-------|-----|----|------|-------|------|------------|-------|----------|-----|---------------|------|---------|-------|-------|------|-------|------|-------|---|--------|------|-------|------|-----|-------|-----------|--------------|------|---------|------|------------|------|-------|------|------------|-------|-----------|-------|-----------|------|--|

### 当会・講演会 講師(敬称略)

|      |         |      |          |     |               |      |        |      |        |     |               |     |        |      |        |      |       |     |    |      |       |      |            |       |          |     |               |      |         |       |       |      |       |      |       |   |        |      |       |      |     |       |           |              |      |         |      |            |      |       |      |            |       |           |       |           |      |  |
|------|---------|------|----------|-----|---------------|------|--------|------|--------|-----|---------------|-----|--------|------|--------|------|-------|-----|----|------|-------|------|------------|-------|----------|-----|---------------|------|---------|-------|-------|------|-------|------|-------|---|--------|------|-------|------|-----|-------|-----------|--------------|------|---------|------|------------|------|-------|------|------------|-------|-----------|-------|-----------|------|--|
| 浜田宏一 | エール大学教授 | 高安秀樹 | 明治大学客員教授 | 山西通 | 東京大学大学院情報学環教授 | 山内昌之 | 東京大学教授 | 藤原帰一 | 東京大学教授 | 西垣通 | 東京大学大学院情報学環教授 | 御厨貴 | 東京大学教授 | 田中明彦 | 東京大学教授 | 河野洋平 | 衆議院議員 | 堺星太 | 作家 | 栗栖弘臣 | 統合幕僚長 | 米川廣洋 | 組織工学院研究所所長 | 大来佐武郎 | 対外経済担当大臣 | 吉國隆 | 農林水産省大臣官房企画室長 | 天谷直弘 | 科学技術省長官 | 齊藤栄三郎 | 衆議院議員 | 浜田幸一 | 衆議院議員 | 鈴木俊一 | 東京都知事 | 元 | 通産省審議官 | 柳沢弘治 | 衆議院議員 | 木元教子 | 評論家 | 岡松壮三郎 | 通産省電子政策課長 | 野村総合研究所主任研究員 | 前川泰雄 | 前日本銀行總裁 | 稻川泰弘 | 通産省産業省政策局長 | 藤原弘達 | 政治評論家 | 山本幸助 | 通産省産業省政策局長 | 岡松壮三郎 | 通産省生活産業局長 | 網松壯三郎 | 通産省國際政治部長 | 山田勝之 |  |
|------|---------|------|----------|-----|---------------|------|--------|------|--------|-----|---------------|-----|--------|------|--------|------|-------|-----|----|------|-------|------|------------|-------|----------|-----|---------------|------|---------|-------|-------|------|-------|------|-------|---|--------|------|-------|------|-----|-------|-----------|--------------|------|---------|------|------------|------|-------|------|------------|-------|-----------|-------|-----------|------|--|

|      |       |      |             |     |        |      |           |      |         |      |            |      |               |      |         |       |              |      |              |      |         |      |         |     |          |       |             |      |               |      |        |               |      |           |      |       |      |         |      |         |       |              |      |             |      |          |      |              |      |            |     |        |       |        |      |       |      |            |     |        |      |        |      |          |       |         |      |     |      |            |      |         |     |     |       |         |      |       |      |                  |          |                      |      |         |      |       |           |          |      |          |      |       |      |         |      |             |          |      |         |      |              |
|------|-------|------|-------------|-----|--------|------|-----------|------|---------|------|------------|------|---------------|------|---------|-------|--------------|------|--------------|------|---------|------|---------|-----|----------|-------|-------------|------|---------------|------|--------|---------------|------|-----------|------|-------|------|---------|------|---------|-------|--------------|------|-------------|------|----------|------|--------------|------|------------|-----|--------|-------|--------|------|-------|------|------------|-----|--------|------|--------|------|----------|-------|---------|------|-----|------|------------|------|---------|-----|-----|-------|---------|------|-------|------|------------------|----------|----------------------|------|---------|------|-------|-----------|----------|------|----------|------|-------|------|---------|------|-------------|----------|------|---------|------|--------------|
| 梅沢節男 | 国税庁長官 | 田川誠一 | 進歩党代表 衆議院議員 | 森 宜 | 東京大学総長 | 大山晃人 | 元 NHK解説委員 | 水城武彦 | NHK解説委員 | 小浜維人 | 元 NHK解説委員長 | 青木匡光 | メディエイターハン間接着業 | 大山晃人 | NHK解説委員 | 斎藤榮三郎 | 国務大臣 科学技術庁長官 | 細谷典子 | 思(日本証券経済研究所) | 内田 满 | 早稲田大学教授 | 原田和明 | 三和綜合研究所 | 和田俊 | 朝日新聞編集委員 | 岡松壯三郎 | 通商産業省生活産業局長 | 水谷研治 | 東海銀行常務取締役調査部長 | 有馬朗人 | 東京大学総長 | アビ朝日ニュース・システム | 大山晃人 | 元 NHK解説委員 | 松本和男 | 経済評論家 | 木村時夫 | NHK解説委員 | 井浦康之 | 元日本銀行理事 | 水谷 研治 | 東海総合研究所前駐米大使 | 松永信雄 | 外務省顧問 前駐米大使 | 目良浩一 | 東京国際大学教授 | 電見芳浩 | ニコヨク市立大学大学院教 | 山村次郎 | 慶應義塾大学名誉教授 | 村松映 | 杏林大学教授 | 川崎眞一郎 | 立教大学教授 | 岩國哲人 | 前出雲市長 | 金子一義 | 國務大臣 主任研究員 | 岩保亘 | 上智大学教授 | 山口義行 | 立教大学教授 | 大山晃人 | 東京国際大学教授 | 斎藤精一郎 | NHK解説委幹 | 山田伸二 | 前大臣 | 吉田春樹 | 和光経済研究所理事長 | 山田伸二 | NHK解説委員 | 久保亘 | 前大臣 | 高木新一郎 | ㈱産業再生機構 | 副島隆彦 | 経済評論家 | 早坂茂三 | ㈱日本株運用ヘッド兼ストラジスト | 木下角栄 元秘書 | 佐々木和男 学校法人静岡理工科大学理事長 | 山田伸二 | NHK解説委員 | 中村敦夫 | 参議院議員 | 元三菱商事㈱本部長 | 元三菱商事㈱頭取 | 西澤宏繁 | 東京都民銀行頭取 | 亀井壽香 | 衆議院議員 | 石川一洋 | NHK解説委員 | 原田和明 | 三和綜合研究所特別顧問 | 元モスクワ支局長 | 山田伸二 | NHK解説委員 | 武者陵司 | ドチエ証券子会社ストラジ |
|------|-------|------|-------------|-----|--------|------|-----------|------|---------|------|------------|------|---------------|------|---------|-------|--------------|------|--------------|------|---------|------|---------|-----|----------|-------|-------------|------|---------------|------|--------|---------------|------|-----------|------|-------|------|---------|------|---------|-------|--------------|------|-------------|------|----------|------|--------------|------|------------|-----|--------|-------|--------|------|-------|------|------------|-----|--------|------|--------|------|----------|-------|---------|------|-----|------|------------|------|---------|-----|-----|-------|---------|------|-------|------|------------------|----------|----------------------|------|---------|------|-------|-----------|----------|------|----------|------|-------|------|---------|------|-------------|----------|------|---------|------|--------------|

出黒國山長海鈴前牛野中國加鹽天海南糸小藤太安斉士本稻吉井岩福田  
室田常松川場坂沢村藤屋谷野木川新  
英真郎助久郎男一雄彦如義夫寛一弘平郎一弘平郎夫得達芳議郎清郎  
N通通通大國東日外作中N慶作通科弁組日政大參科經本經日ソ當  
H産產產產藏企省生農業解產政委農業策治行務銀  
小H應學織本工經治議濟本二序說學頤長委教  
K務銀銀銀企銀銀銀企銀銀銀企銀銀  
解產官府都房銀銀銀銀銀銀銀銀銀  
農業院房行長委教  
業解大廳長委教  
省術議研新評院術評詳研行  
農業解大廳長委教  
委農業策治著長知總長委教  
員農業策治行總廳長委教  
議局局部議  
長官長長官官事裁問家官員授家聞官士長間家臣長官家長家事長取  
内閣總理大臣  
内閣總理大臣  
内閣總理大臣  
内閣總理大臣  
内閣總理大臣  
内閣總理大臣

### 講演会の主な講師（講演時役職）（敬称略）

林良造 東京大学教授  
中谷元 元防衛厅長官 衆議院議員  
渡辺喜美 みんなの党代表 衆議院議員  
中山崎淑行 N HK科学文化部記者  
中谷巖 一橋大学教授

元經濟產業省経済産業政策局長

通前藤子口井澤坂田島田保国藤良田田派全見永木馬来谷佐  
通相達也義一義靜宏茂晴隆伸宜人郎一明後人少浩雄夫人郎治宜男彦雄之人  
通商閣大蔵務教京應H京和ビ日レ駐村外海稻H  
通産省大蔵閣大議都治義治K國合二口大合  
通政理・学民塾講解藏K大際研解シ立、究學・研究  
研究大業経院銀大研究、説大學生行論学論委  
研究会生學術部講師頭教會メヌンセシ委  
大務研究所アソニ委大務省理總大事  
佐佐木大院顧事シム大院顧事シム  
バナーバー  
1) 官当授員取家授家員田長授長ノ長使授間長長臣長長授員長